

# EPSON

**EB-770Fi**

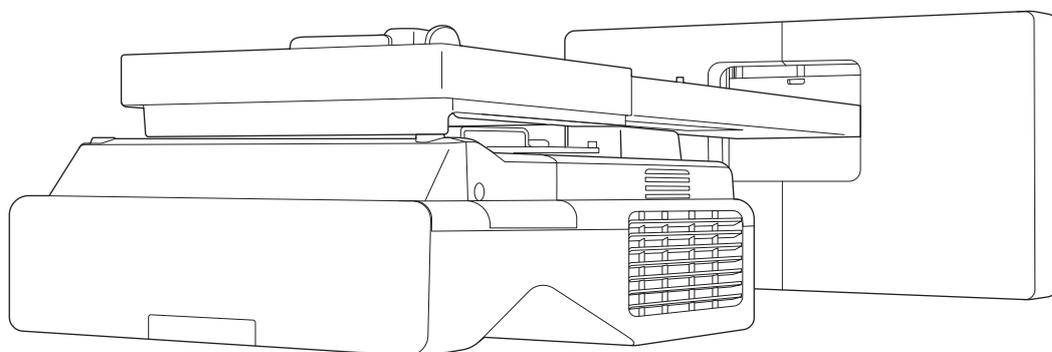
**EB-760Wi**

**ELPMB62**

**ELPFT01**

**ELPMB63**

設置工事説明書



## 本書の記載

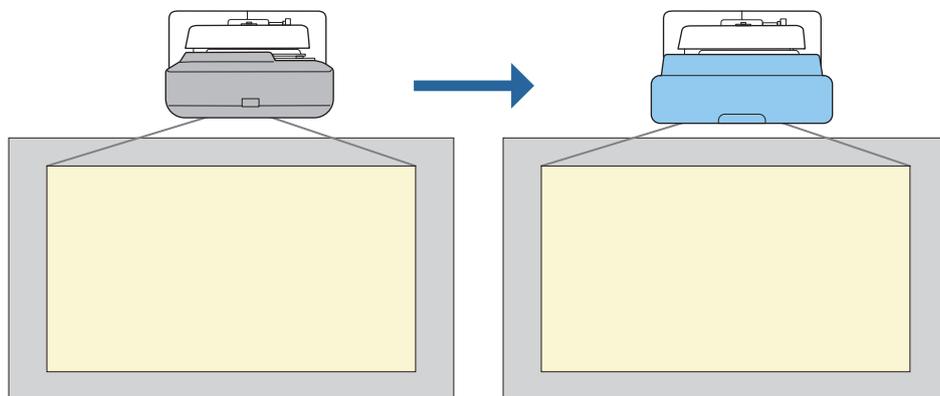
本書では下記の内容を説明しています。

- 壁掛け金具（ELPMB62）を使った超短焦点プロジェクター（EB-770Fi/EB-760Wi）の取り付け方法
- タッチユニット（ELPFT01）の取り付け方法
- タッチユニット取り付け金具（ELPMB63）を使ったタッチユニットの取り付け方法
- ペンスタンドの取り付け方法

同梱されていない機器や金具はオプション品としてお買い求めいただけます。

## 置き換え設置について

既に壁掛け設置されているプロジェクターをEB-770Fi/EB-760Wiに置き換えて使うことができます。



置き換え設置後は、投写映像の位置を微調整してください。

### 置き換え設置の条件

置き換え設置を行うときは、以下の条件に当てはまるか事前にご確認ください。

- 設置されているプロジェクターが以下のいずれかであること
  - EB-485WT
  - EB-485W
  - EB-480T
  - EB-480
  - EB-595WT
  - EB-590WT
  - EB-585W
  - EB-580
  - EB-695WT
  - EB-685WT
  - EB-685W
  - EB-680
  - EB-755F
  - EB-750F
  - EB-735Fi
  - EB-725Wi
  - EB-725W
- 設置されている壁掛け金具が以下のいずれかであること
  - ELPMB28
  - ELPMB43
  - ELPMB46
- 65～100型までのサイズで投写していること
- プロジェクター同士が同じ解像度であること

## 置き換え設置の流れ（一例）

置き換え設置は下記の流れで行います。お使いの金具やプロジェクターとイラストが異なる場合があります。金具の詳しい取扱方法や調整方法は、既に設置されているプロジェクターまたは壁掛け金具の『設置工事説明書』をご確認ください。

### 1 古いプロジェクターを取り外す

- エンドキャップを取り外す（必要に応じてウォールプレートカバーも取り外す）
- セッティングプレートから調整ユニットを取り外す

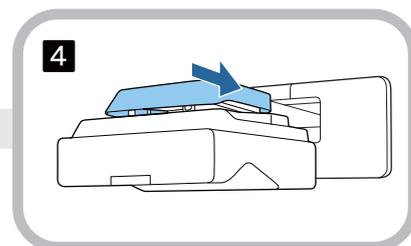
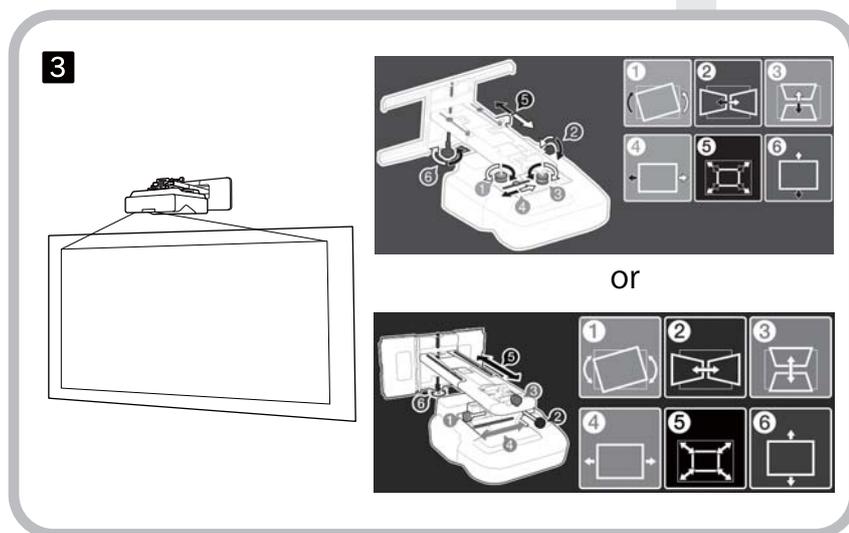
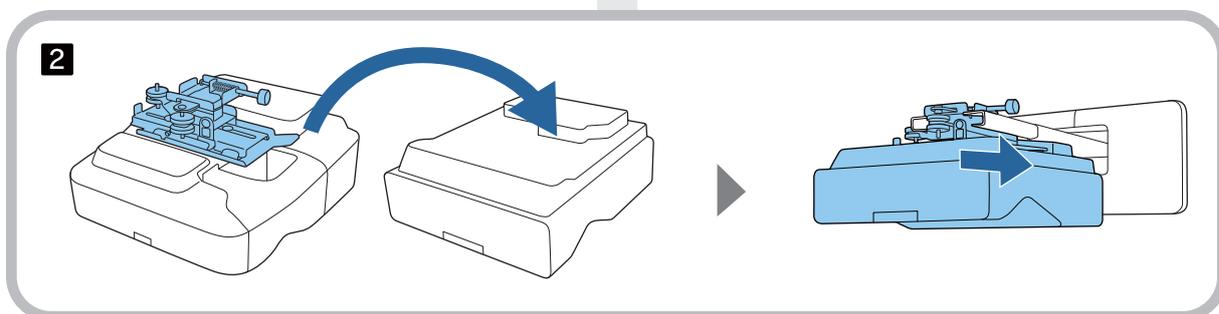
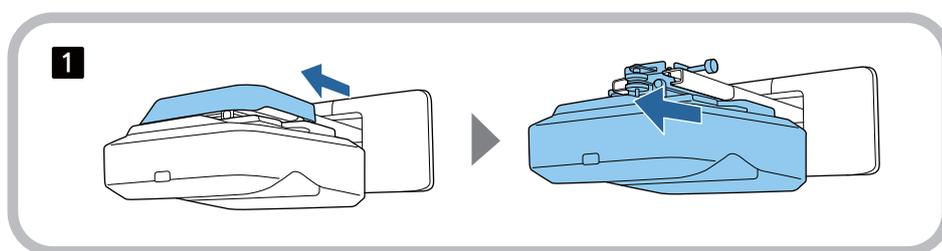
### 2 新しいプロジェクターを取り付ける

- 古いプロジェクターから調整ユニットを取り外し、新しいプロジェクターに取り付ける
- 調整ユニットをセッティングプレートに取り付ける

### 3 映像を微調整する

映像を投写して、金具の調整ダイヤルやプロジェクターの補正機能で映像の位置を微調整する

### 4 エンドキャップを取り付ける



## 本書について

本書の記載	1
置き換え設置について	2
置き換え設置の条件	2
置き換え設置の流れ（一例）	3

## はじめに

安全にお使いいただくために	6
安全に関する表示	6
記号の意味	6
同梱品一覧	7
壁掛け金具	7
金具本体	7
付属品	8
タッチユニット	9
タッチユニット取り付け金具※オプション品	10
ペンスタンド	10
準備が必要なもの	11
設置の流れ	12
取り付け寸法図	13
複数台のプロジェクターを近くに設置するときは	14
複数台のタッチユニットを近くに設置するときは	15

## 壁掛け金具設置

壁掛け金具の設置に関するご注意	16
壁掛け金具の設置場所に関するご注意	19
壁掛け金具仕様	21
外形寸法	22
調整範囲	25
上下スライド	25
水平スライド	25
前後スライド	26
ミニPC取り付け用プレート	27
アクセサリ取り付け部	27

壁掛け金具取り付け手順	28
金具の取り付け	29
設置位置を決める（投写距離表）	29
EB-770Fi	33
EB-760Wi	47
調整ユニットをプロジェクターに取り付ける	55
ウォールプレートを壁に取り付ける	56
セッティングプレートをウォールプレートに取り付ける	59
セッティングプレートに調整ユニットを取り付ける	64
周辺機器を取り付ける	65
投写映像の位置調整	68
調整前の準備	70
Epson Setting Assistantによる調整	70
自動画面調整	72
セッティングプレート調整ガイドを使った手動調整	76
プロジェクターメニューを使った調整	79
カバーの取り付け	85
セキュリティーケーブルの取り付け	86

## ペンスタンド設置

ペンスタンドに関するご注意	88
ペンスタンド仕様	89
外形寸法	89
ペンスタンド取り付け手順	90
マグネットで固定する場合	90
ネジで固定する場合	91

## インタラクティブペン調整

インタラクティブペンの位置合わせ	93
手動ペン位置合わせ	93
自動ペン位置合わせ	95

## タッチユニット設置

タッチユニットに関するご注意	97
電波障害自主規制について	97

<b>タッチユニットの設置場所</b> .....	<b>98</b>
タッチユニット取り付け金具に関するご注意 .....	99
<b>レーザーに関するご注意</b> .....	<b>100</b>
添付のラベルについて .....	100
レーザー照射口 .....	100
<b>タッチユニット仕様</b> .....	<b>101</b>
外形寸法 .....	101
<b>タッチユニット取り付け金具仕様</b> .....	<b>102</b>
外形寸法 .....	102
調整範囲 .....	103
<b>旧モデルのタッチユニットをお使いのときは</b> .....	<b>104</b>
<b>タッチユニット取り付け手順</b> .....	<b>105</b>
赤外線ディフレックターを取り付ける .....	105
赤外線ディフレックターの必要本数 .....	105
タッチユニットを取り付ける .....	107
取り付け金具を使わずに投写面に取り付ける場合 .....	107
取り付け金具を使って投写面以外に取り付ける場合 .....	110
セキュリティーケーブルを取り付ける ...	115
タッチユニットの電源を入れる .....	116
レーザーの角度を調整する（タッチユニット自動調整） .....	117
自動調整に失敗したときは .....	122
指タッチ操作の位置合わせ .....	131

## プロジェクター設定

<b>一括設定機能</b> .....	<b>134</b>
USBメモリーを使って設定する .....	134
設定値をUSBメモリーに保存する .....	134
保存した設定値を他のプロジェクターに反映する .....	136
コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する .....	137
設定値をコンピューターに保存する ...	137
保存した設定値を他のプロジェクターに反映する .....	138
設定がうまくいかないときは .....	139

<b>本機を複数台並べて設置する（マルチプロジェクション）</b> .....	<b>141</b>
プロジェクターIDの設定 .....	141
マルチプロジェクションの映像調整 .....	143
EB-770Fiをお使いの場合 .....	143
EB-760Wiをお使いの場合 .....	144

## 付録

<b>安全規格対応シンボルマークと説明</b> .....	<b>145</b>
<b>商標について</b> .....	<b>148</b>

## 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、お使いの前に必ず本書をお読みください。本書の内容に反した取り扱いが故障や事故の原因となります。本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

プロジェクターの『取扱説明書』と『安全にお使いいただくために』も合わせてご確認ください、取り扱いの注意事項をお守りください。

### 安全に関する表示

取扱説明書および本製品には、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 記号の意味

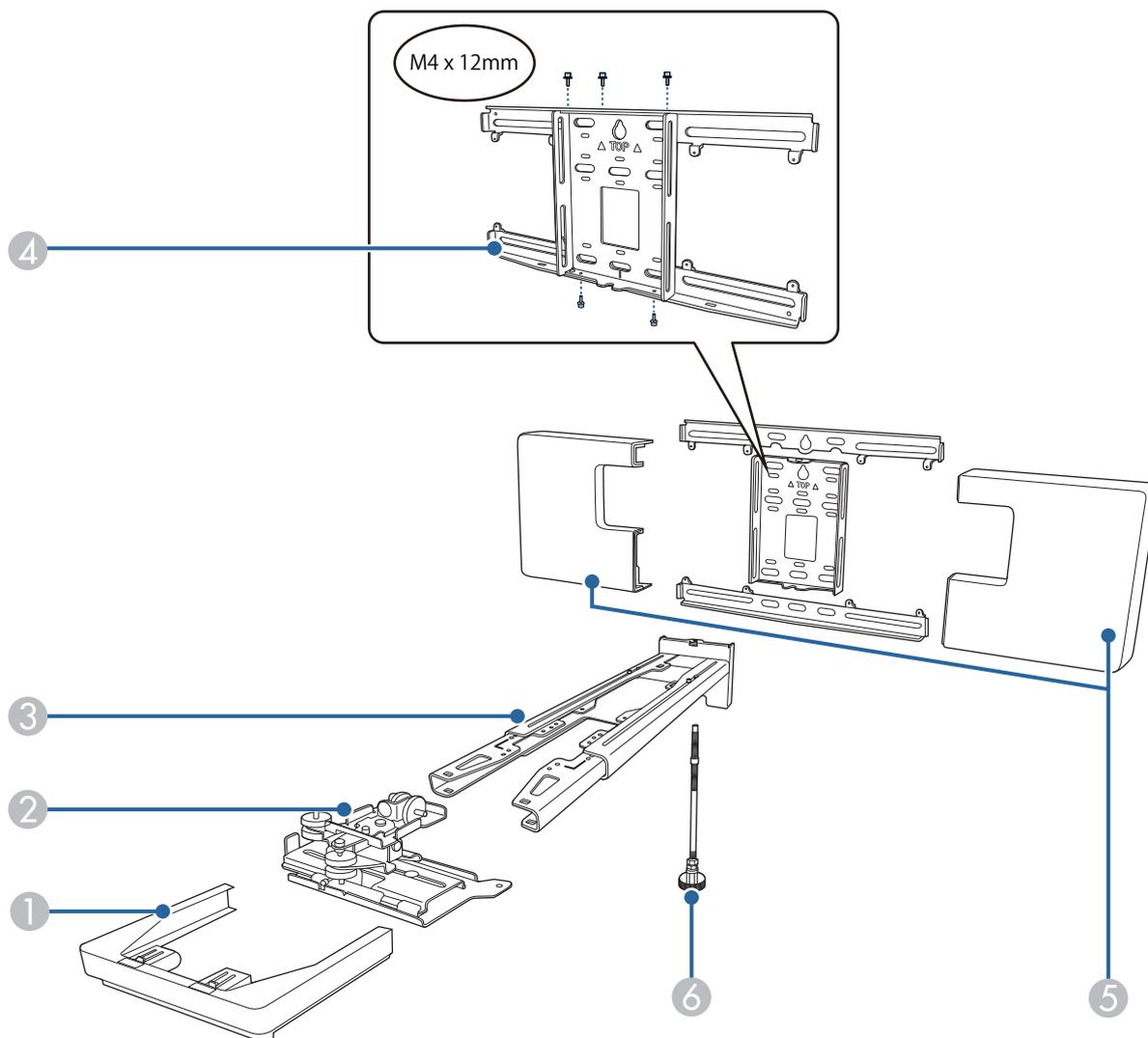
記号	意味
	行為を禁止する記号
	行為を指示する記号
	関連する情報や知っておくと便利な情報

## 同梱品一覧

取り付けに必要な同梱品がすべて揃っていることをご確認ください。

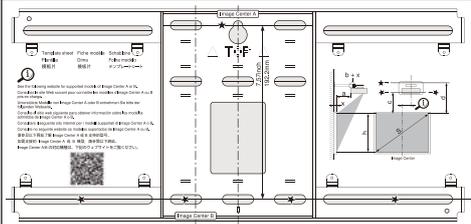
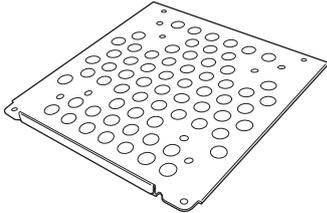
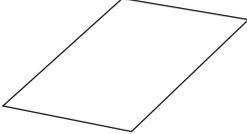
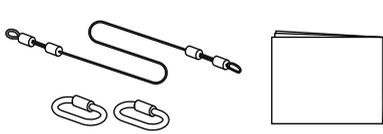
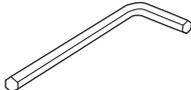
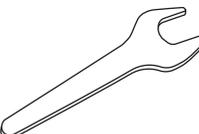
### 壁掛け金具

#### 金具本体



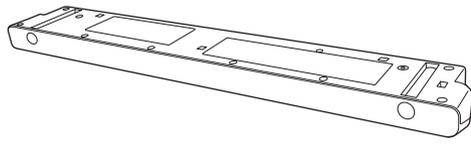
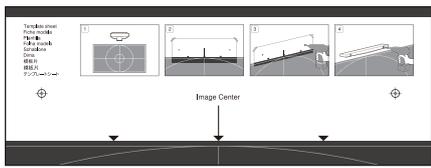
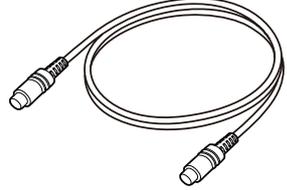
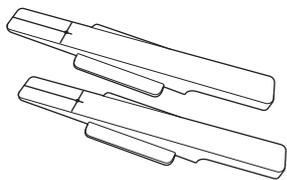
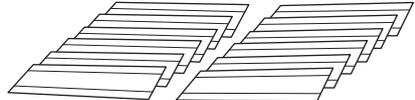
No.	パーツ名
①	エンドキャップ
②	調整ユニット
③	セッティングプレート
④	ウォールプレート
⑤	ウォールプレートカバー
⑥	六角軸

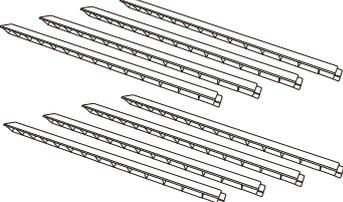
## ■ 付属品

パーツ	名称	用途
	テンプレートシート	ウォールプレートを取り付ける前に壁に貼りつけて、必要なネジ穴を開けるために使います。
	ミニPC用プレート	ミニPCやスティックPCを取り付けるときに、ウォールプレートに取り付けます。
	ミニPC用ベルト	ネジ固定ができないミニPCやスティックPCを取り付けるときに、PCをプレートに固定するために使います。
	ケーブル結束用ベルト	配線後に余ったケーブルを束ねます。
	目隠しシール	設置後にセッティングプレートの隙間が気になるときに貼りつけます。
	セーフティワイヤーセット	プロジェクターの落下を防ぐために、壁掛け金具とプロジェクターを繋ぎます。詳しい使い方はセーフティワイヤーセットに付属の取扱説明書をご確認ください。
	六角レンチ (M4 用)	-
	スパナ (呼び13、M6 用)	-
	M4 x 12mm 六角穴付きボルト ワッシャー/スプリングワッシャーあり (13本)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• p.7で示した図の通り、ウォールプレートを組み立てるために使います (5本)</li> <li>• 調整ユニットをプロジェクターに固定するために使います (4本)</li> <li>• 調整ユニットをセッティングプレートに固定するために使います (4本)</li> </ul>

パーツ	名称	用途
	M6 x 20mm 六角段付きボルト ワッシャー/スプリングワッシャーあり (1本)	セッティングプレートウォールプレートに固定するために使います。
	M6 x 20mm 十字穴付き段付きネジ プラスチックワッシャーあり (3本)	
	M3 x 6mm 十字穴付きネジ (4本)	ミニPC用プレートウォールプレートに固定するために使います。

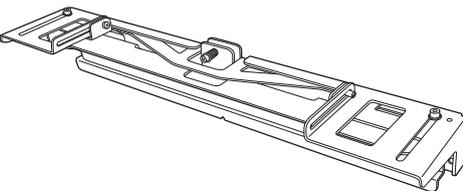
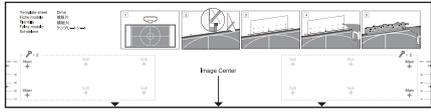
## タッチユニット

パーツ	名称	用途
	タッチユニット本体	-
	テンプレートシート (タッチユニットネジ固定用)	タッチユニットをネジで固定する場合に事前に貼りつけて、必要なネジ穴を開けるために使います。
	タッチユニット接続ケーブル (約1.8m)	タッチユニットをプロジェクターに接続するために使います。
	マーカー2個	タッチユニットから照射されるレーザーの角度調整を行うときに使います。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> お使いいただく中で指タッチ操作がうまく動かなくなった場合、レーザーの再調整を行うときにマーカーを再度使います。設置後も保管してください。</div>
	マーカー固定用テープ (約6cm) 12枚	マーカーを投写面に固定するために使います。

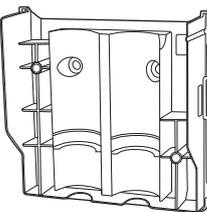
パーツ	名称	用途
	赤外線ディフレクター (約28.5cm) 8本	投写面の下部にトレイやフレームがあるときに使います。レーザーの反射による誤動作を防ぎます。
	ネジ穴用スペーサー 3個	タッチユニットをネジで固定するときに、ネジ穴に貼りつけます。
	目印ラベル4枚	タッチユニットをマグネットで固定したあとに貼りつけます。使用中に位置がずれて再設置するときの目印になります。

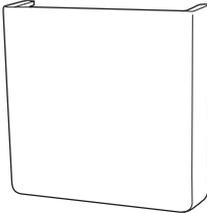
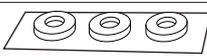
## タッチユニット取り付け金具※オプション品

タッチユニットを投写面以外に取り付けるときに使います。

パーツ	名称	用途
	タッチユニット取り付け金具本体	-
	テンプレートシート (タッチユニット取り付け金具用)	取り付け金具を固定する前に貼りつけて、必要なネジ穴を開けるために使います。
	六角穴付きボルト M4 x 25mm 2本	取り付け金具にタッチユニットを固定するために使います。
	六角レンチ (M4 用)	-

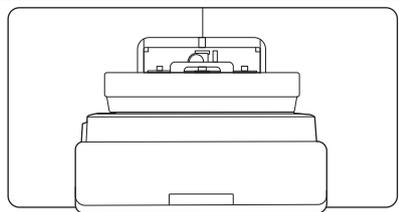
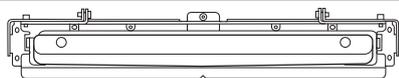
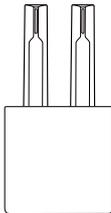
## ペンスタンド

パーツ	名称	用途
	本体	-

パーツ	名称	用途
	カバー	ペンスタンドの前面に取り付けます。
	ネジ穴用スペーサー 3個	ペンスタンドをネジで固定するとき、ネジ穴に貼りつけます。

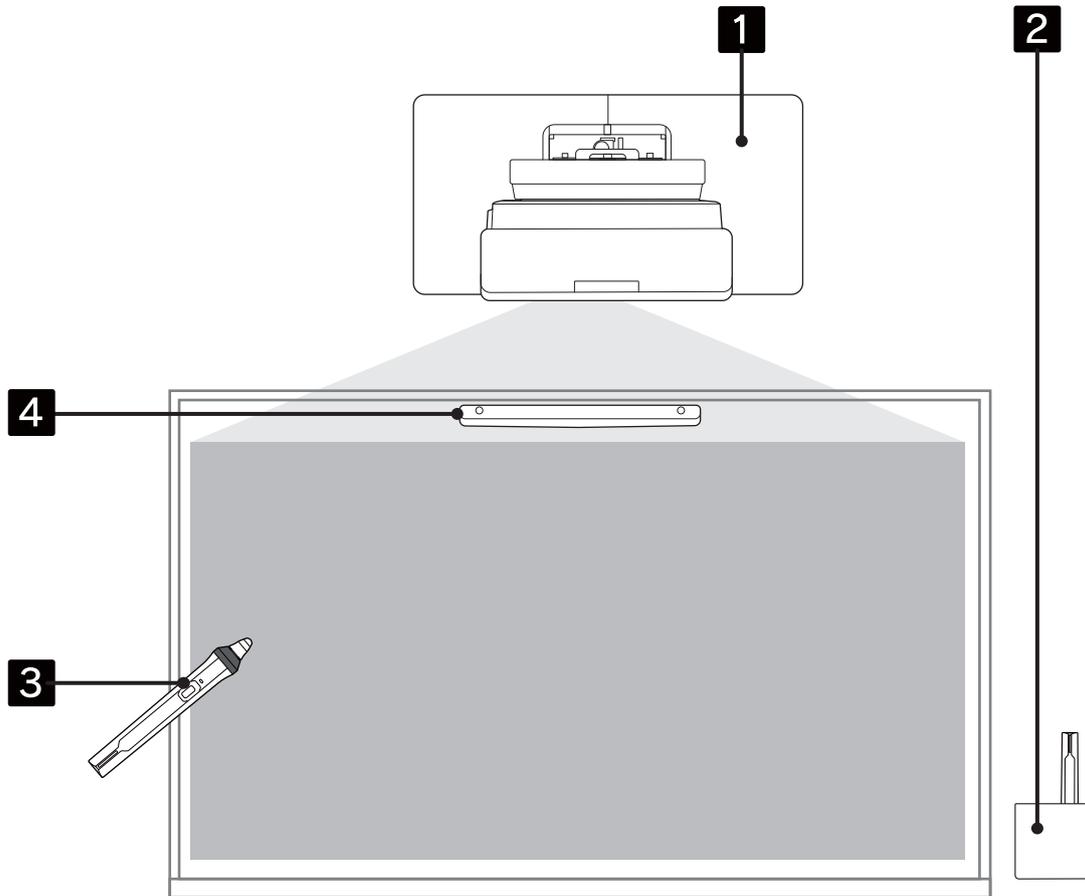
## 準備が必要なもの

同梱品以外に、別途準備が必要なネジ類や工具は以下のとおりです。

対象パーツ	必要なもの
	<b>壁掛け金具用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• M10 または3/8インチx 60mmアンカーボルト（ウォールプレート固定用：4本以上）</li> <li>• M10ネジ（ウォールプレート仮留め用：1本）</li> <li>• 17mm ラチェットレンチ（六角軸の調整用）</li> <li>• プロジェクターと接続するケーブル類</li> <li>• ミニPC等の機器類</li> </ul>
	<b>タッチユニット用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• M4ネジ（タッチユニット固定用：2本）</li> </ul>
	<b>タッチユニット取り付け金具用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 金具固定用のアンカーボルトまたはネジ（取り付ける面の材質に応じて） <ul style="list-style-type: none"> <li>• M4のアンカーボルト（4本）</li> <li>• 直径3.8mm、全長45mm以上の木ネジ（4本）</li> </ul> </li> </ul>
	<b>ペンスタンド用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• M4 x 20mmネジ（2本）</li> </ul>

## ■ 設置の流れ

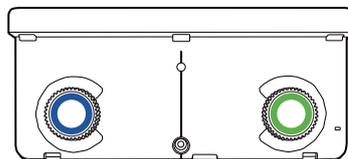
プロジェクターや周辺機器の取り付けは、下記の順番で行うことをお勧めします。



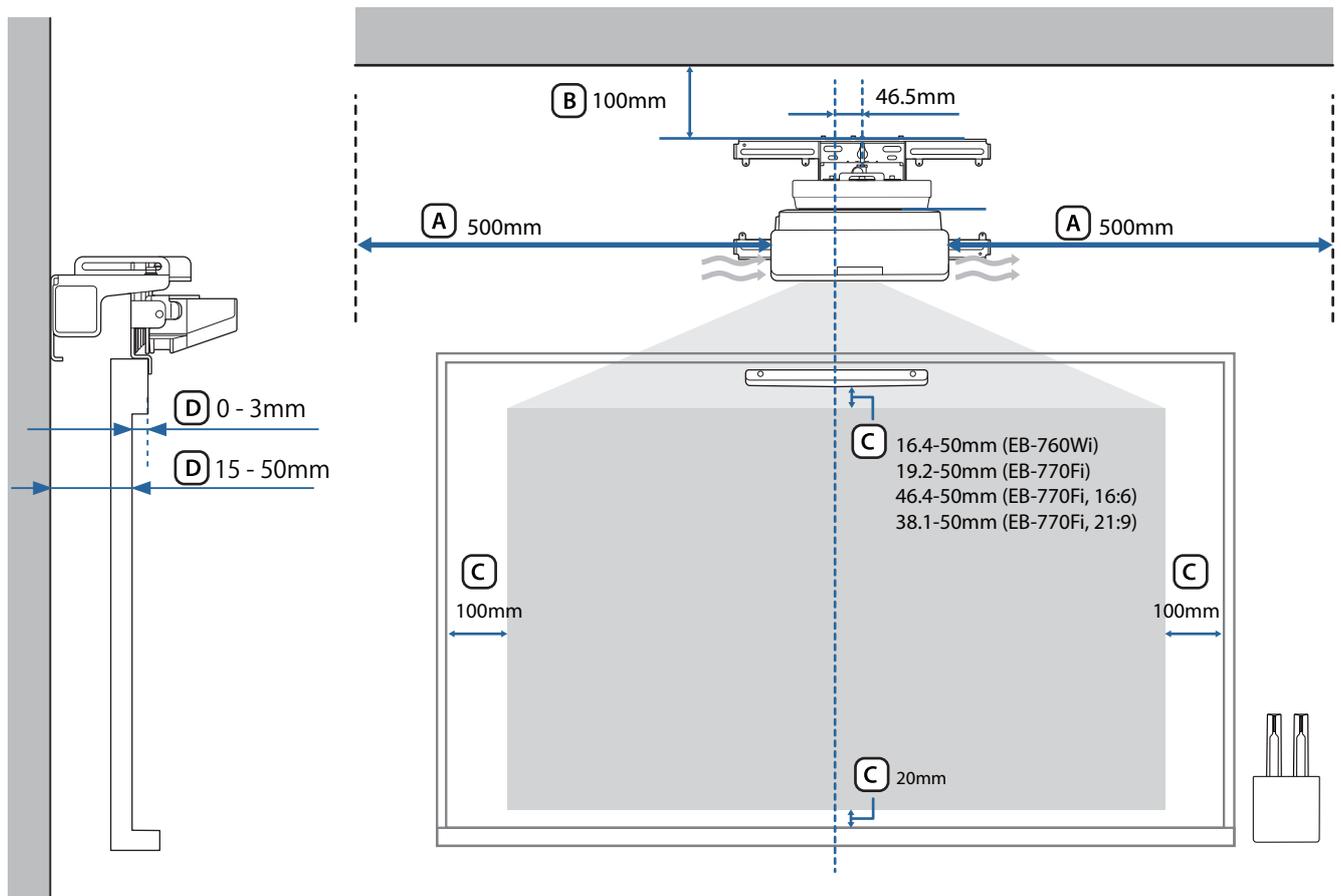
- 1 プロジェクターの壁掛けと調整 (☞ p.16)
- 2 ペンスタンドの取り付け (☞ p.88)
- 3 ペンの位置合わせ (☞ p.93)
- 4 タッチユニットの取り付けと調整 (☞ p.97)



設置済みのタッチユニット (下図参照) をそのまま使う場合は、レーザーの角度調整 (p.117) から実施してください。



## 取り付け寸法図



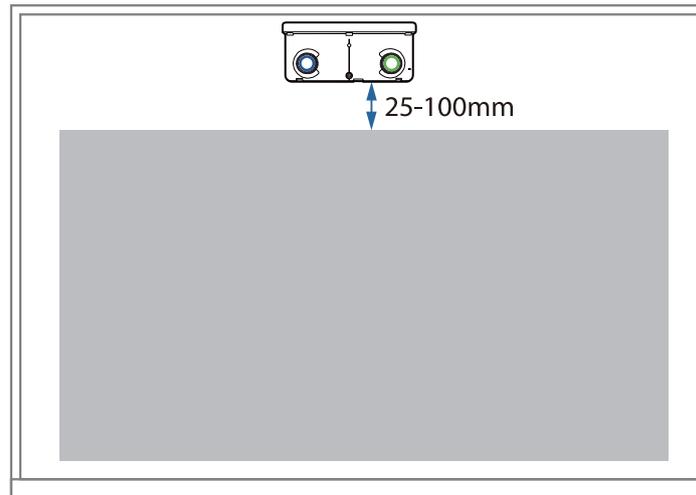
### ⚠ 注意

- プロジェクターを設置するときは、プロジェクターの排気口や吸気口を壁などから離してください。(上図 (A) 参照)
- タッチユニットを使用する場合は、タッチユニットとの間隔は50mmを目安として、上図 (C) の範囲で調整してください。
- タッチユニット取り付け金具を使ってタッチユニットを取り付ける場合は、スクリーン周囲の枠の厚みと、取り付け面からスクリーン表面までの長さを確認してください。(上図 (D) 参照)



天井からウォールプレート上端までの間を約100mm空けると、プロジェクターの設置や取り外し時に作業しやすくなります。(上図 (B) 参照)

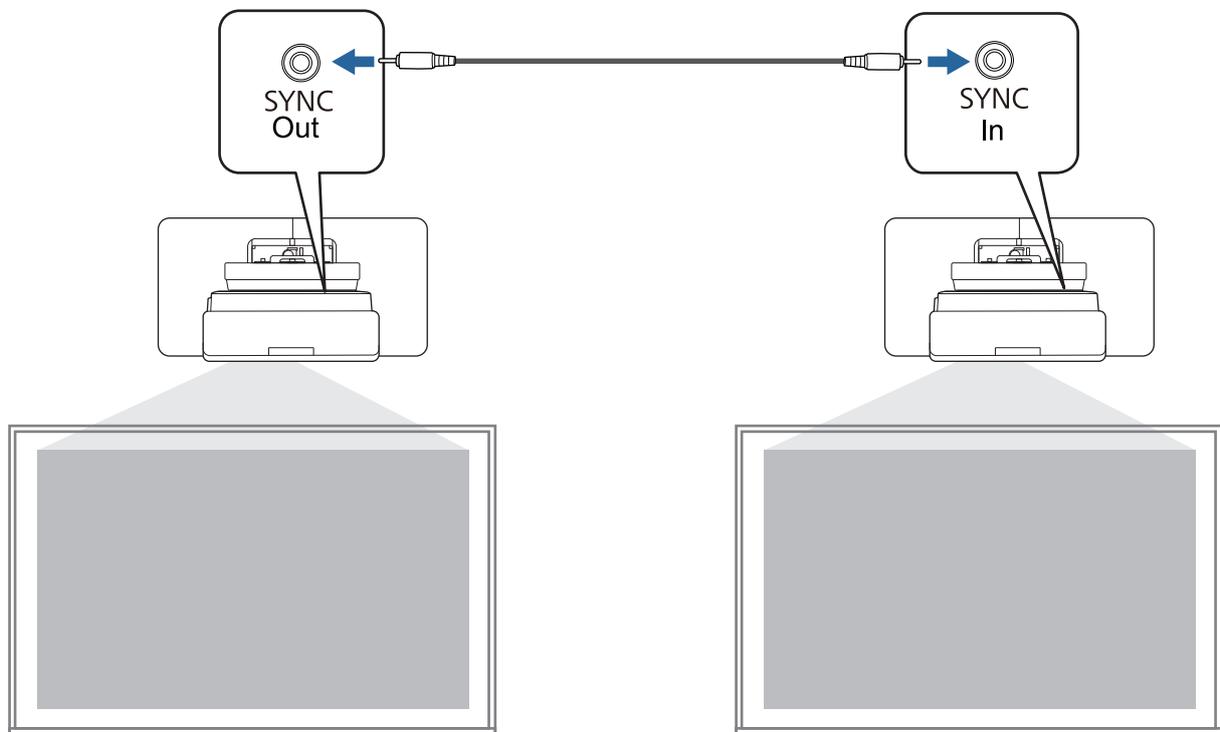
設置済みのタッチユニット（旧モデル）をそのまま使う場合は、タッチユニット下端から映像上端までの間を25～100mm空けてください。投写サイズやアスペクト比を変えて投写する場合は、タッチユニットの再設置が必要になることがあります。



### 複数台の 프로젝ターを近くに設置するときは

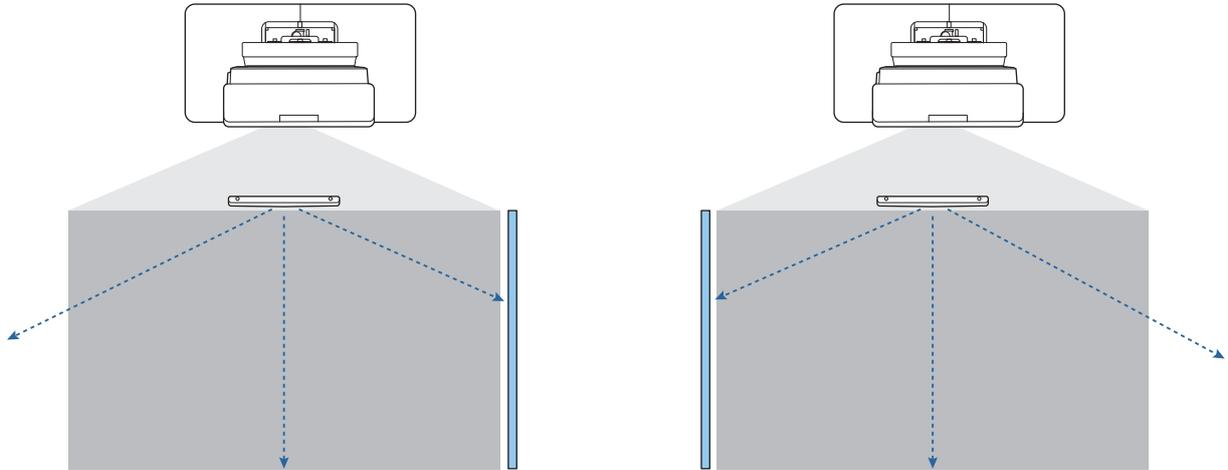
近くに設置した 프로젝ター同士でインタラクティブペンの操作がうまくいかないときは、市販のステレオミニジャックケーブル（φ3.5mm、抵抗なし）を使って 프로젝ター同士を接続してください。

接続してから [ペン/指タッチ] メニューの [複数台設置] - [複数台同期] を [有線接続] に設定すると、インタラクティブペン動作が安定します。

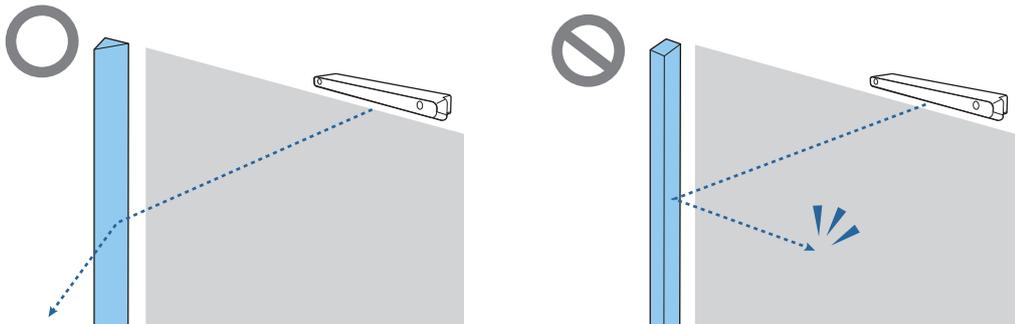


## 複数台のタッチユニットを近くに設置するときは

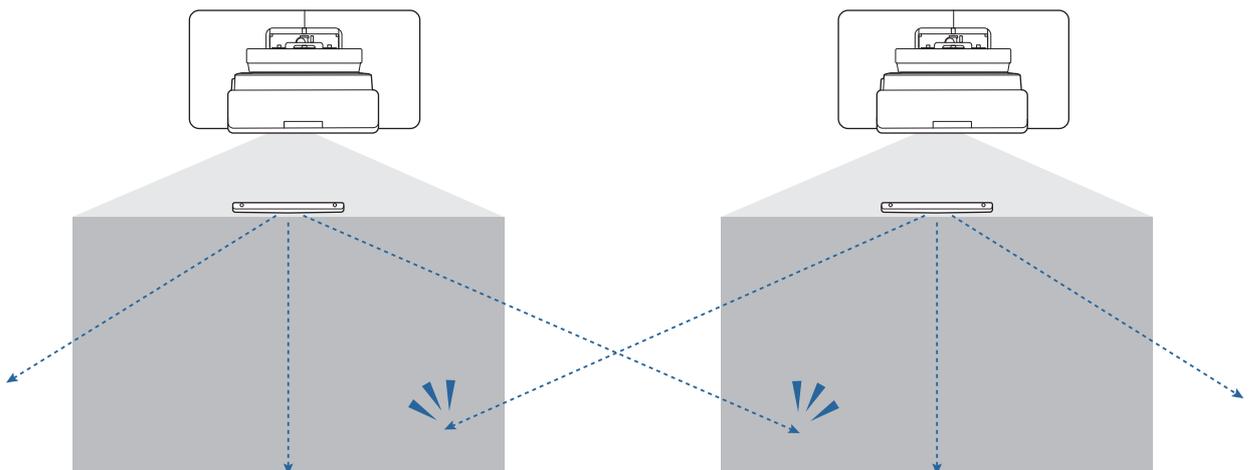
同じ壁面に複数台のタッチユニットを設置するときは、隣の投写面にレーザーが届かないように、同梱の赤外線ディフレクターを仕切りとして取り付けることをお勧めします。



- 赤外線ディフレクター以外のものを仕切りとして使うときは、下図のように傾斜のついたものをご用意ください。



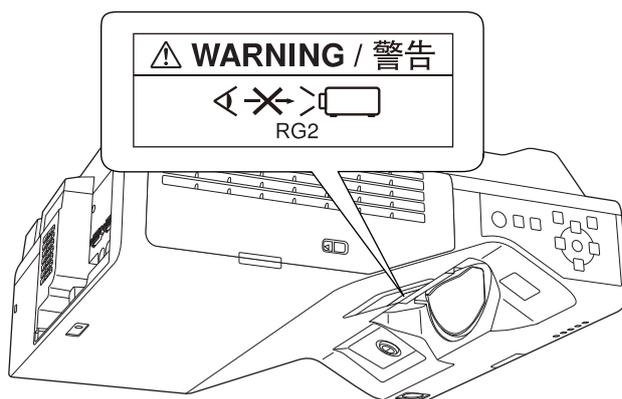
- 仕切りを取り付けない場合、タッチユニットのレーザーが隣の投写面に届き、指タッチ操作がうまくできないことがあります。



## 壁掛け金具の設置に関するご注意

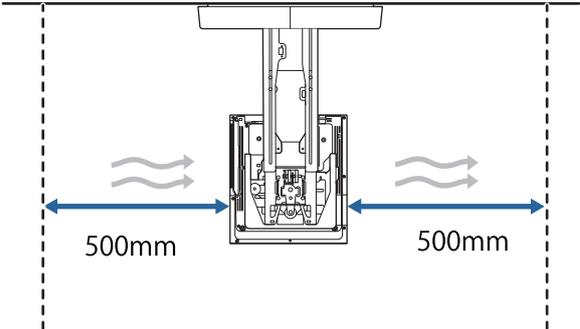
 警告	
<p>壁掛け金具はプロジェクターの壁掛け設置専用用品です。プロジェクター以外のものを取り付けるとその重さによっては破損することがあります。</p> <p>本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	
<p>壁への取り付け（壁掛け設置）工事は、特別な技術が必要です。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。</p>	
<p>壁掛け設置工事は、本書で指定したボルトやネジを使用して、本書に記載の手順で行ってください。</p> <p>記載事項を守らないと、本製品が落下し、けがや事故の原因となります。</p>	
<p>電源コードの取り扱いには注意してください。</p> <p>取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。取り扱いの際には、次の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。</li> <li>• 破損や加工した電源コードを使用しない。</li> <li>• 電源コードをセッティングプレートに通すときは、強い力で引っ張らない。</li> </ul>	
<p>振動や衝撃が伝わる不安定な場所には設置しないでください。</p> <p>本製品や設置面が破損するおそれがあります。また、本製品が落下して人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	
<p>壁に取り付ける際は、プロジェクターと壁掛け金具の質量および横揺れにも十分耐えられるように取り付けてください。ナット・ボルト等はM10または3/8インチx60mmを使用してください。</p> <p>M10または3/8インチx60mmより小さいと落下事故の原因となります。取り付けの強度不足等による落下事故につきましては、当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。</p>	
<p>本製品は必ず二人以上の専門業者で設置してください。設置中にネジ類を緩めるときは、本製品が落下しないように取り扱いってください。</p> <p>本製品が落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	
<p>本製品を壁に取り付けるときは、プロジェクターと壁掛け金具を支えるために壁には十分な強度が必要です。</p> <p>本製品はコンクリートの壁に取り付けてください。</p> <p>プロジェクターと壁掛け金具の最大総重量は、約15.2 kgです（ケーブル類含まず）。</p> <p>本製品を壁に設置する前に、壁の強度を確保してください。強度不足のときは、十分に補強してから設置してください。</p>	
<p>定期的に、破損箇所やネジ類の緩みがないか点検してください。</p> <p>破損箇所があるときはすぐに使用を中止してください。本製品が落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	
<p>本製品の分解・改造は絶対にしないでください。</p> <p>内部には電圧の高い部分が多くあり、火災・感電・事故の原因となります。</p>	
<p>本製品にぶら下がらないでください。また、重い物をぶら下げないでください。</p> <p>本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	

 <b>警告</b>	
<p>壁掛け金具の設置や調整を行うときは、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。</p> <p>プロジェクターの金具固定部にネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。</p>	
<p>調整後はすべてのネジを完全に締め直してください。</p> <p>十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。</p>	
<p>設置後は、ボルト・ナットを絶対に緩めないでください。</p> <p>また、定期的にネジ類の緩みがないことを確認してください。万一、緩みがあるときは、確実に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。</p>	
<p>ケーブルはネジやボルトを避けて配線してください。</p> <p>ケーブルの取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。</p>	
<p>プロジェクターの電源を入れるときは、絶対に投写窓をのぞかないでください。</p> <p>強い光で目を痛めるなどの原因となります。小さなお子様のいる場所では特に注意してください。離れた場所からリモコンを使ってプロジェクターの電源を入れるときは、投写窓をのぞいている人がいないことを確認してから電源を入れてください。</p>	
<p>プロジェクターを使用するときは、プロジェクターの投写窓にものを置いたり、手を近づけたりしないでください。</p> <p>投写光が集束するため高温になり危険です。</p>	
<p>可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。</p> <p>プロジェクター内部が高温になっているため、引火による火災の原因となります。</p>	
<p>プロジェクターのメンテナンスや修理をするときは、必ず工事専門業者がプロジェクターの取り外しと再設置を行ってください。</p> <p>プロジェクターのメンテナンスおよび修理の方法は、プロジェクターの『取扱説明書』を参照してください。</p>	
<p>本製品に異常が発生したときは、すぐに本製品に接続しているケーブルを抜いて、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。</p> <p>そのまま使用を続けると、火災・感電・視力障害の原因となります。</p>	
<p>本機にはレーザー警告ラベルが貼られています。</p> <p>投写中は、投写窓から放射されるレーザービームをのぞかないでください。(JIS C 6802:2014に準拠)</p>	



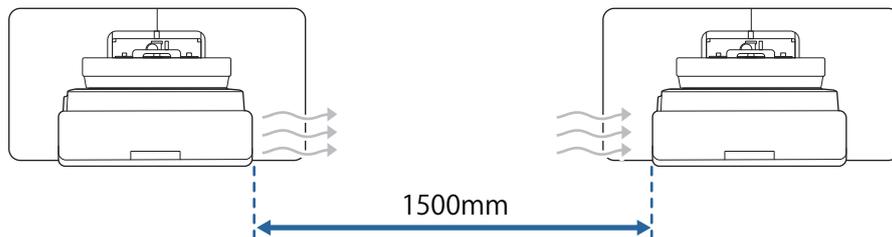
 警告	
<p>本機のケースを開けないでください。 内部に高出力レーザー製品が組み込まれています。</p>	
<p>本機の光源を直接見ないでください。 強い光が視力障害などの原因となります。</p>	
 注意	
<p>ご使用になるプロジェクター機種の使用温度範囲を超える場所には設置しないでください。 故障の原因となります。</p>	
<p>レンズや内部の光学部品に汚れが付着しないように、ホコリや湿気の少ないところに設置してください。</p>	
<p>本製品を調整するときは無理な力を加えないでください。 本製品が壊れてけがの原因となることがあります。</p>	
<p>本機はJIS C 6802:2014に適合したクラス1レーザー製品です。</p>	
<p>電源プラグをつなぐ前に、必ず接地接続を行ってください。また、接地接続を外すときは、電源プラグを外してから行ってください。</p>	
<p>本機を廃棄する場合は分解しないでください。 国や地域の法令や条例に従って廃棄してください。</p>	

## 壁掛け金具の設置場所に関するご注意

 警告	
<p>油煙やイベント用スモークがあたる場所に設置しないでください。</p> <p>プロジェクターの金具固定部に油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。</p>	
 注意	
<p>太陽光が直接当たる場所には、プロジェクターやスクリーンを設置しないでください。</p> <p>太陽光がプロジェクターやスクリーンに直接当たると、インタラクティブ機能が正しく動作しないことがあります。</p>	
<p>プロジェクターを設置する場所に、あらかじめ電源工事を済ませておいてください。</p>	
<p>プロジェクターを設置する場所は、蛍光灯・エアコンなど他の電気製品から離してください。</p> <p>蛍光灯の種類によっては、リモコンやペンが誤動作することがあります。</p>	
<p>プロジェクターを設置するときは、プロジェクターの排気口や吸気口を壁などから下図のとおり離してください。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	
<p>2台以上のプロジェクターを並べて設置するときは、35℃以下の環境に設置してください。</p> <p>高温の環境で使用すると、プロジェクターが高温になり突然電源が切れることがあります。</p>	

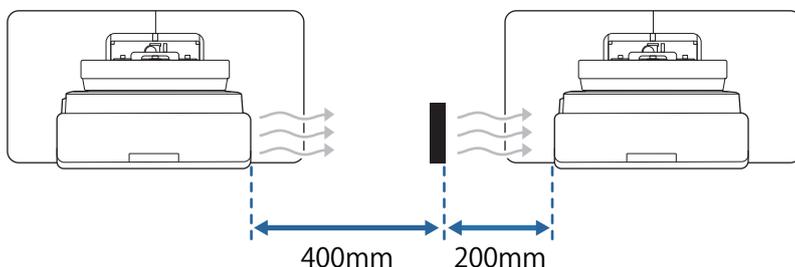
**!** 注意

2台以上のプロジェクターを並べて設置するときは、プロジェクター同士の間を約1500mm空けてください。



約1200mmのスペースを確保できない場合は、排気口から出た熱を遮るための仕切りを取り付けます。

仕切りは排気口よりも縦横それぞれ約20mm大きくし、排気口から約400mm、吸気口から約200mmの位置に取り付けます。



プロジェクターの設置・調整は、実際の使用環境に近い室温で行ってください。

温度が変化すると、映像の位置がずれたりペンの精度が悪化したりする可能性があります。



プロジェクターの傾きが、スクリーンに対してタテ・ヨコ+3度または-3度以内になるように設置してください。



インタラクティブ機能を使用するときは、手の届く範囲に投写されるように設置してください。



貼付型スクリーン、またはボード型スクリーンの使用をお勧めします。

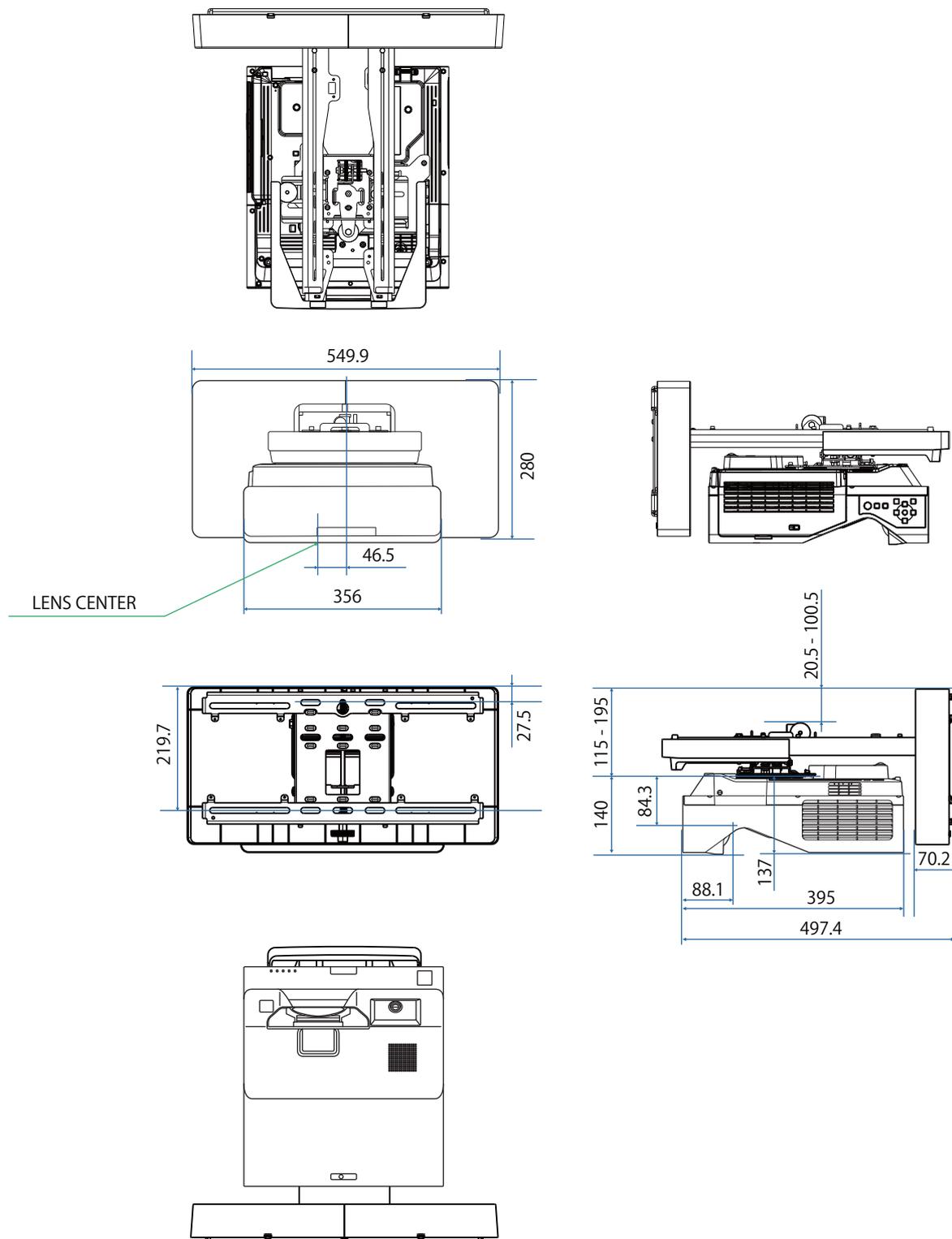


## 壁掛け金具仕様

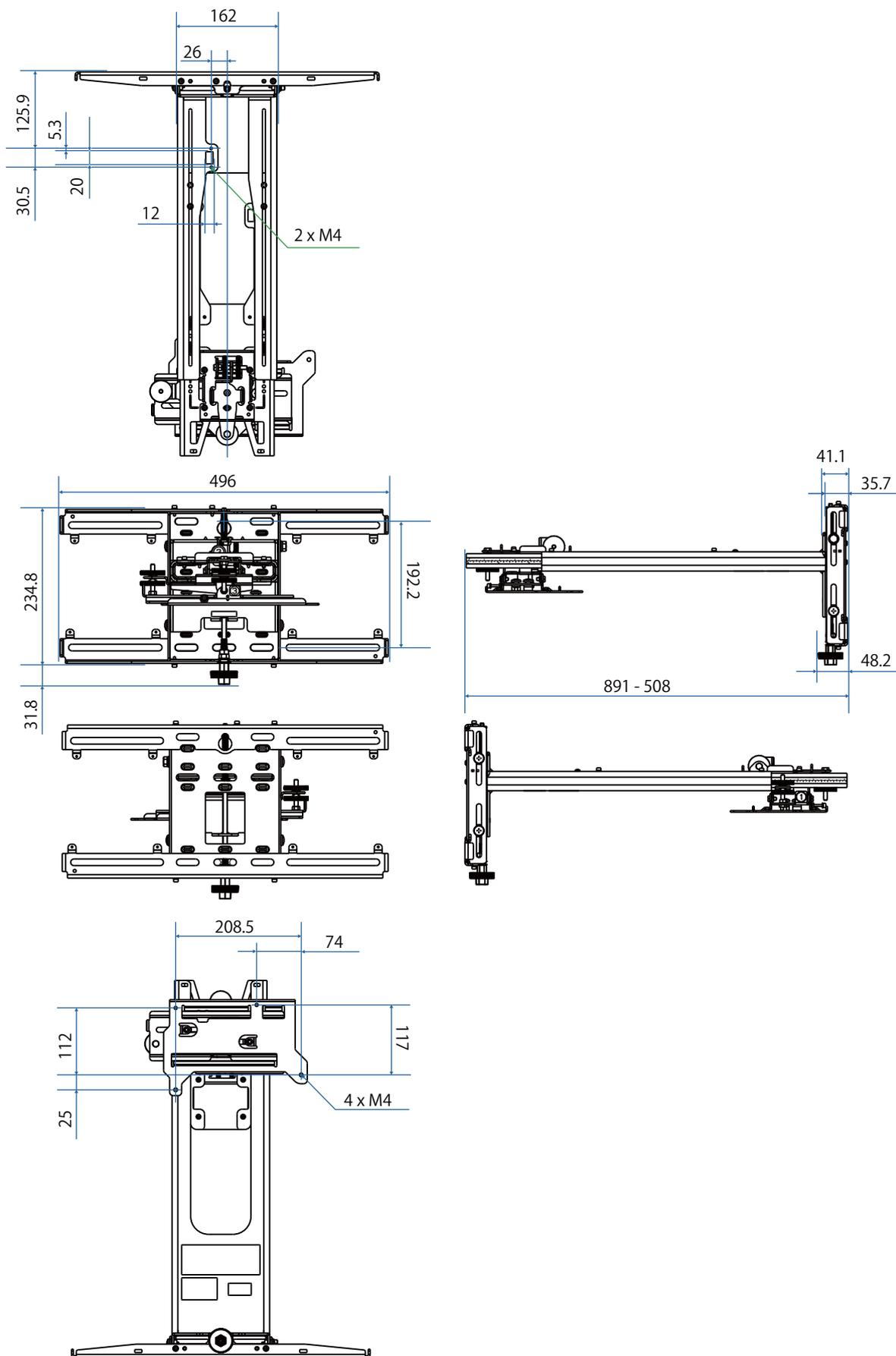
項目	仕様
壁掛け金具質量（セッティングプレート、六角軸、調整ユニット、ウォールプレート、ウォールプレートカバー、エンドキャップ）	約9.2kg
耐荷重	約15.0kg

# 外形寸法

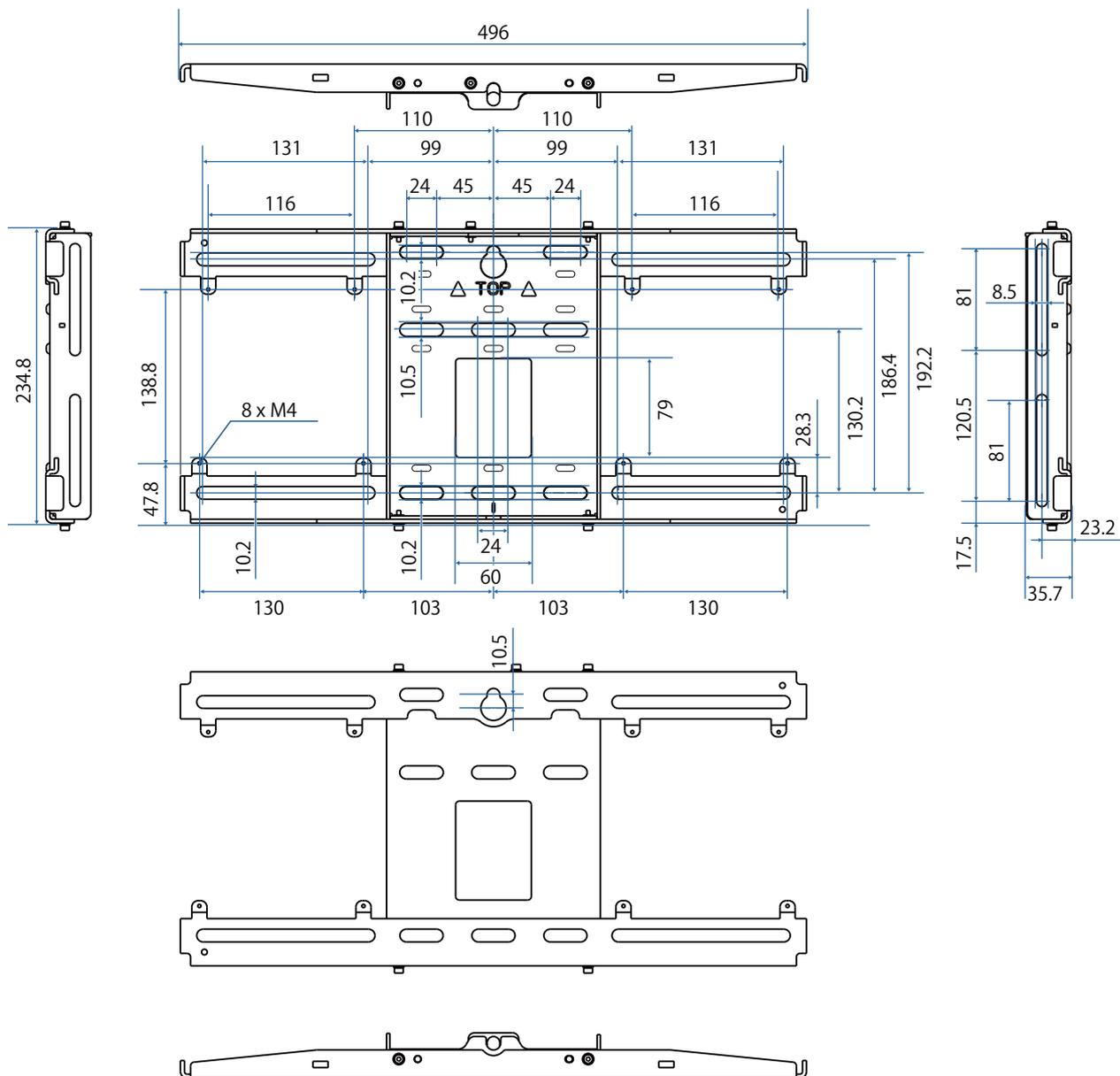
[単位 : mm]



[単位 : mm]



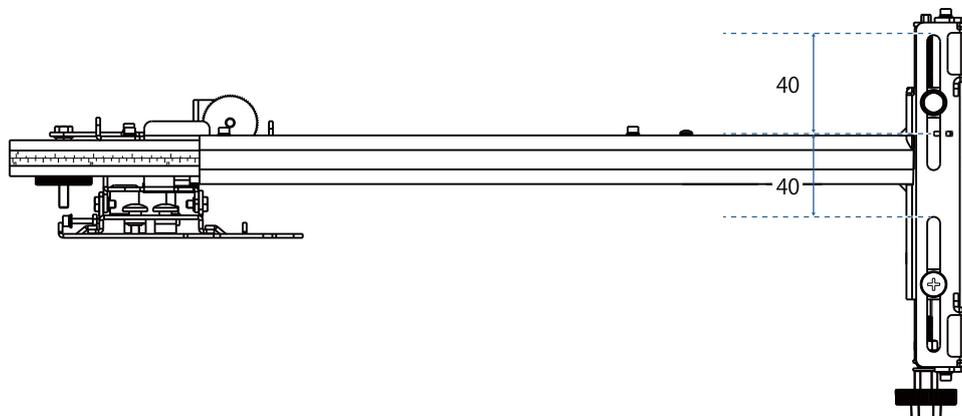
[単位 : mm]



## 調整範囲

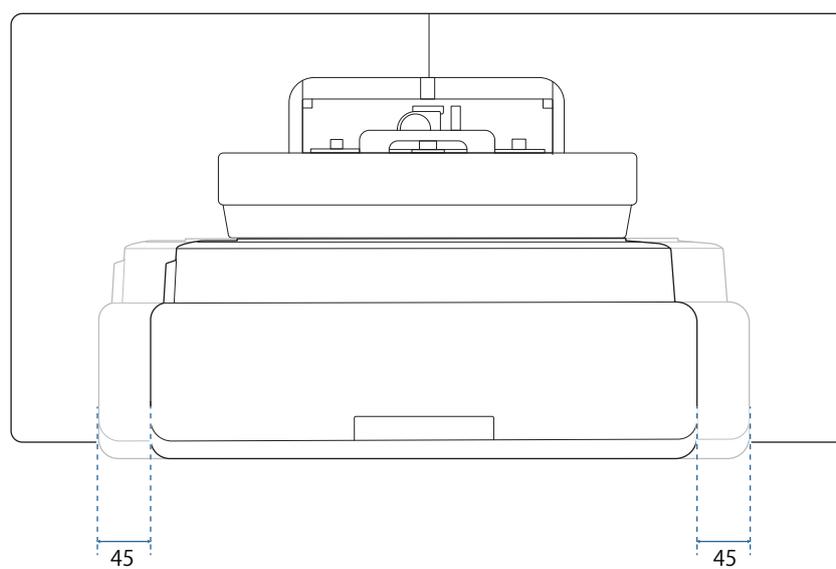
### ■ 上下スライド

[単位 : mm]



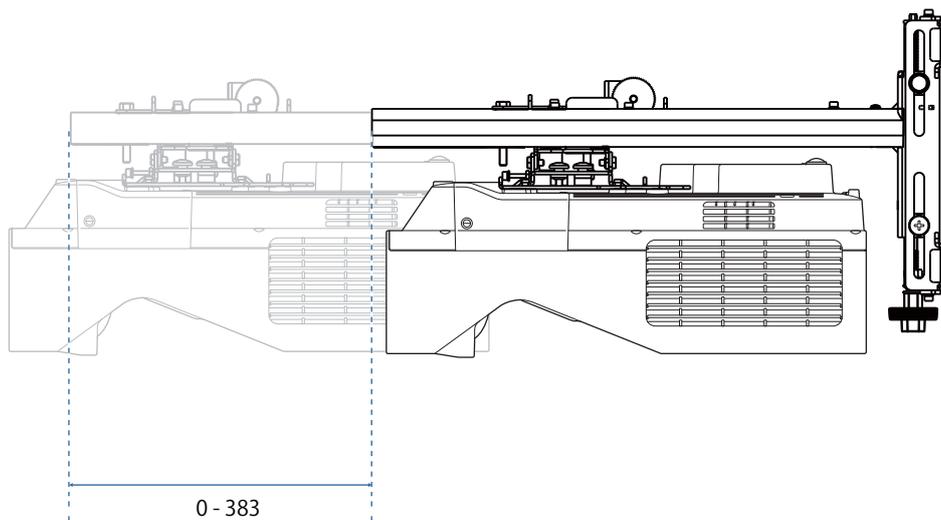
### ■ 水平スライド

[単位 : mm]



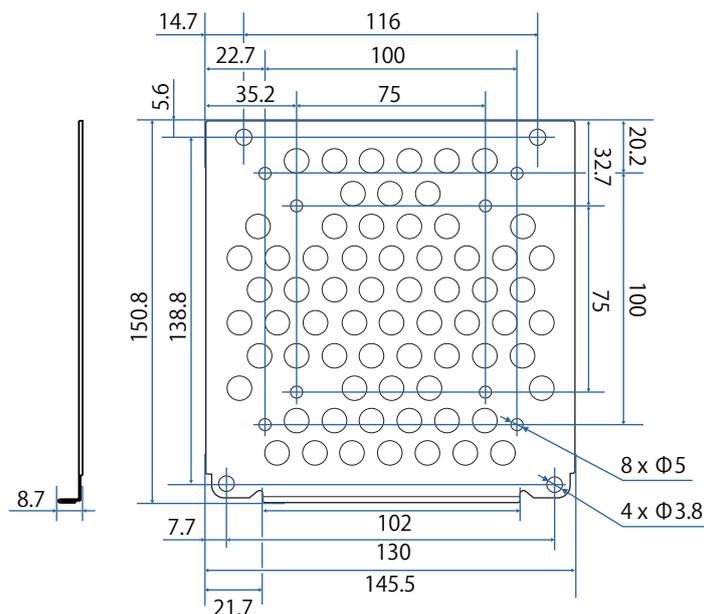
## ■ 前後スライド

[単位 : mm]



## ミニPC取り付け用プレート

[単位 : mm]

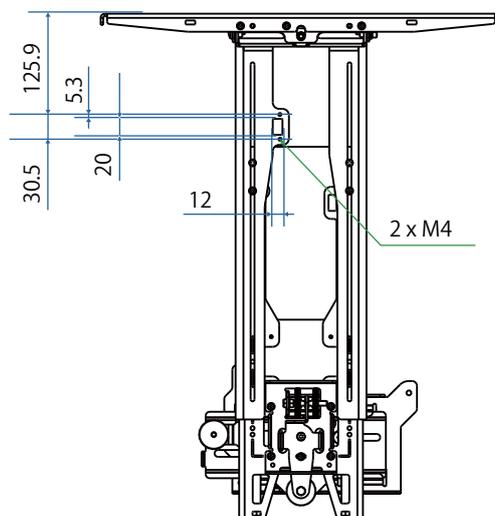


項目	仕様
PC取り付け用ネジ穴 (VESA規格対応)	75mm x 75mm 100mm x 100mm
取り付け可能なPCサイズ	150mm x 150mm x 44mm以内
取り付け可能なPC重量	0.7kg以下

## アクセサリ取り付け部

スイッチャーやチューナーを取り付けるときは、下図のネジ穴を使って固定してください。

[単位 : mm]



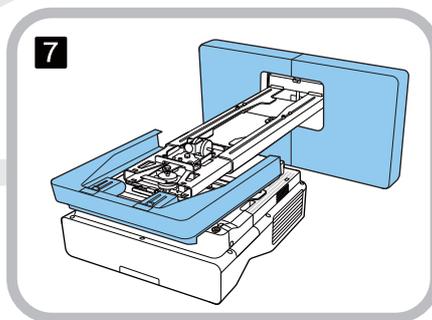
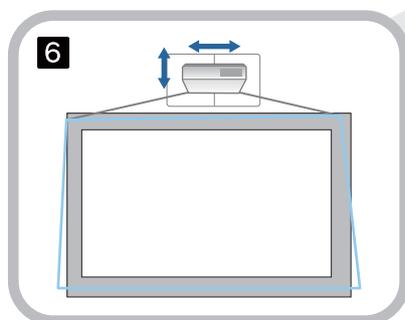
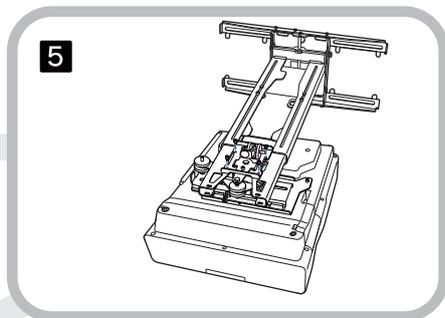
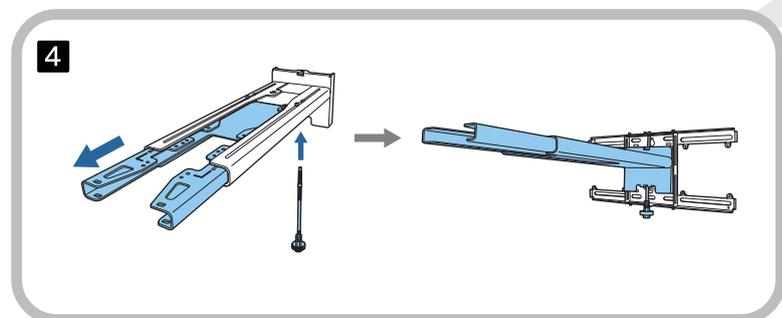
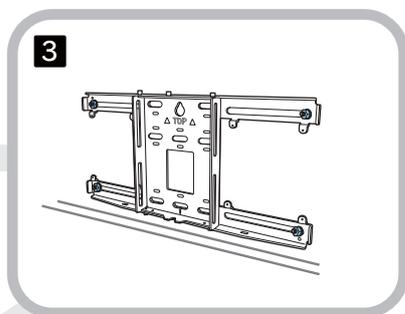
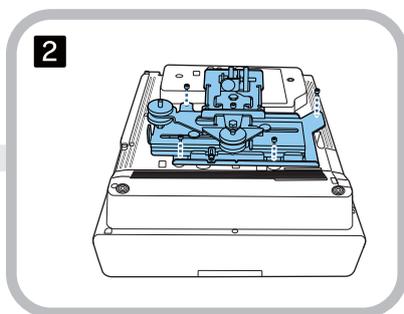
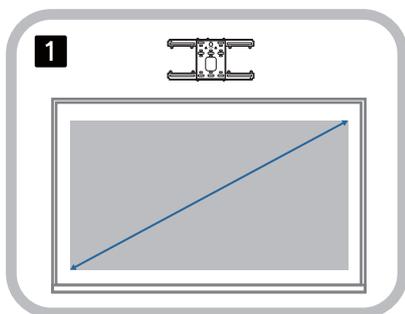
取り付ける前に、プロジェクターや接続ケーブルを含めた総重量が壁掛け金具の耐荷重に収まることを確認してください。(☛「壁掛け金具仕様」 p.21)

## 壁掛け金具取り付け手順

壁掛け金具は以下の流れで取り付けます。

ケーブル類の配線は金具を取り付ける前に済ませてください。

- 1 投写距離表を確認して設置位置を決める (☞ p.29)
- 2 調整ユニットをプロジェクターに取り付ける (☞ p.55)
- 3 ウォールプレートを取り付ける (☞ p.56)
- 4 セッティングプレートのアームの長さを調整してから、ウォールプレートに取り付ける (☞ p.59)
- 5 セッティングプレートに調整ユニットを取り付けて、ケーブルや周辺機器を接続する (☞ p.64)
- 6 映像の位置を調整する (☞ p.68)
- 7 カバー類を取り付ける (☞ p.85)



## 金具の取り付け

### ■ 設置位置を決める（投写距離表）

投写したい画面サイズ（S）に合わせて、ウォールプレートの設置位置を決めます。下図を参考に、a～dまでの数値を確認してください。セッティングプレートがウォールプレートの中央にあるとき（下図 ☆ 参照）の値です。

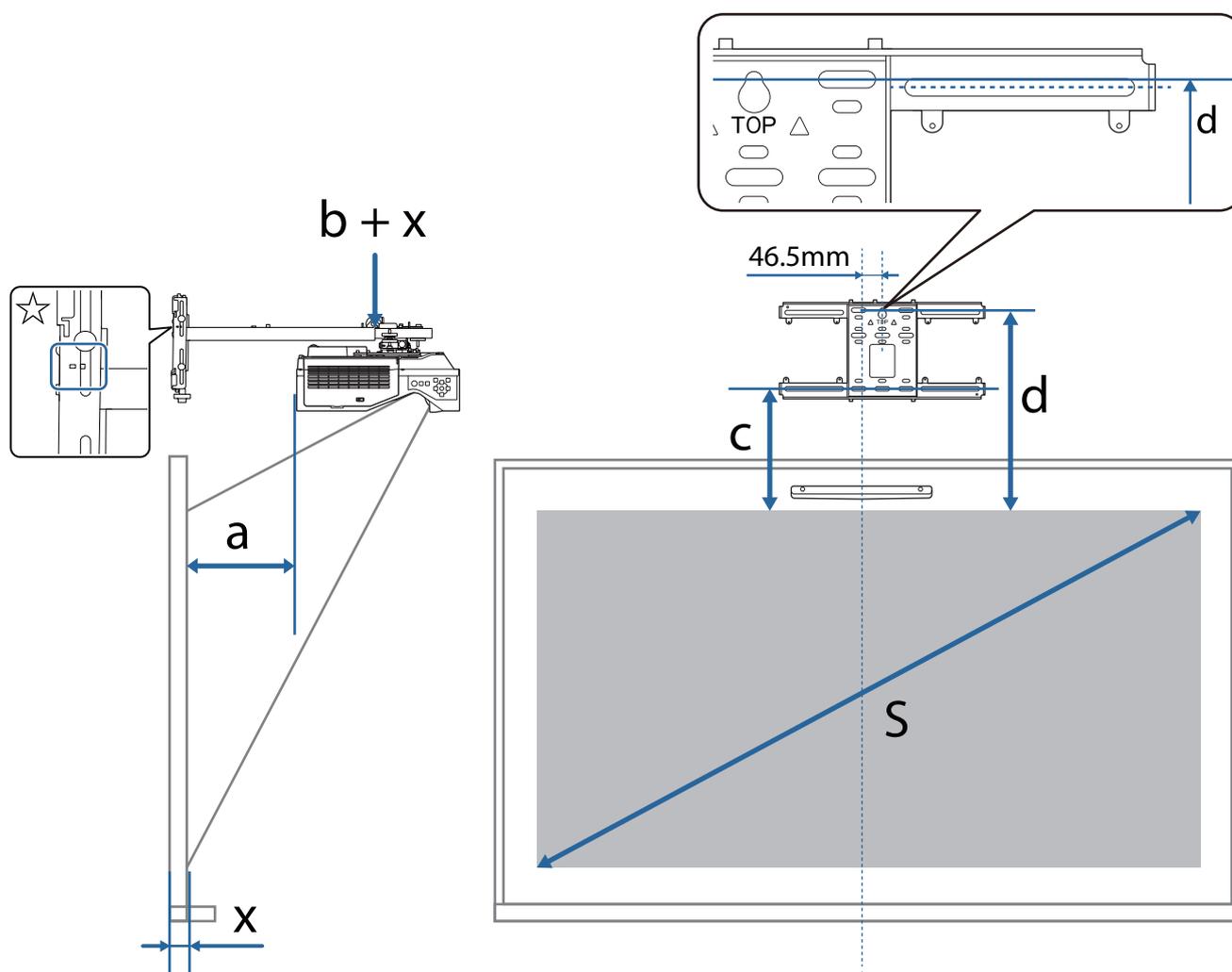
投写する画面の中心とウォールプレートの中心のオフセット値は46.5mmです。



프로젝터를正面からみて投写面がウォールプレートより前にある場合、最小/最大投写サイズは、小さくなります。

프로젝터를正面からみて投写面がウォールプレートより後ろにある場合、最小/最大投写サイズは、大きくなります。

最小/最大投写サイズの下限值、上限値は、仕様書に記載の【内部仕様】項のスクリーンサイズをご確認ください。



a: 投写距離最短（ワイド）

b+x: セッティングプレートのアームスライド目盛りの数値（最大533mm）

c: 映像上端からウォールプレート取り付けネジ穴（下側）までの距離

d: 映像上端からウォールプレート仮留め用ネジ穴までの距離

x: ウォールプレート取り付け面から投写面  
までの厚み  
(タッチユニット取り付け金具を使用す  
る場合は15 - 50mm ([p.13](#)))

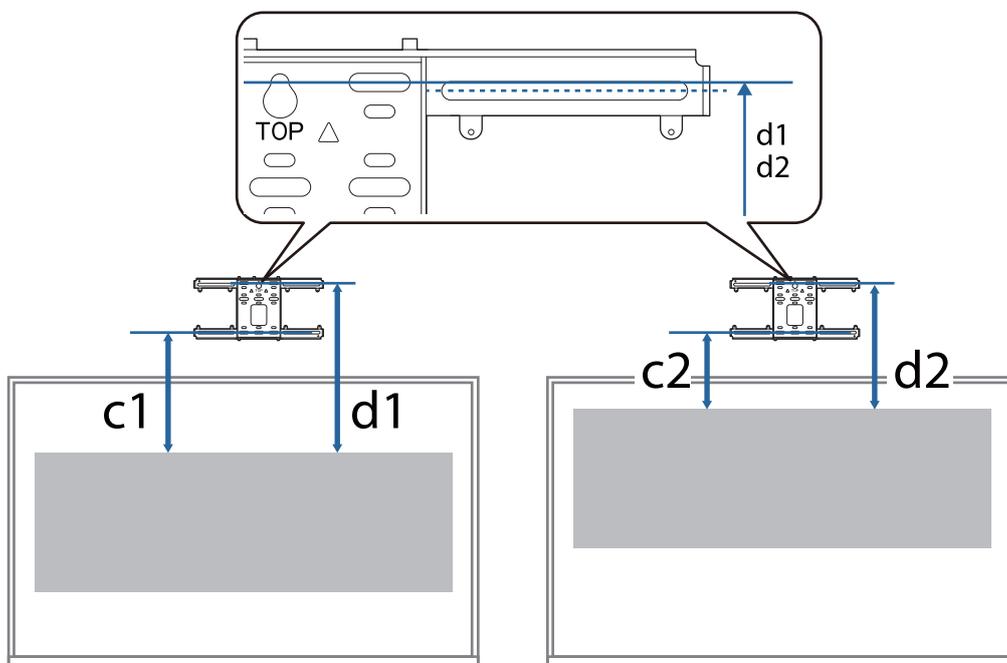
S: 投写する画面サイズ

16:6のアスペクト比で投写する場合のcとdの値は下記を参照してください。

16:6のアスペクト比でインタラクティブ機能を使うときは、[スクリーン位置] を中央より上に設定します。

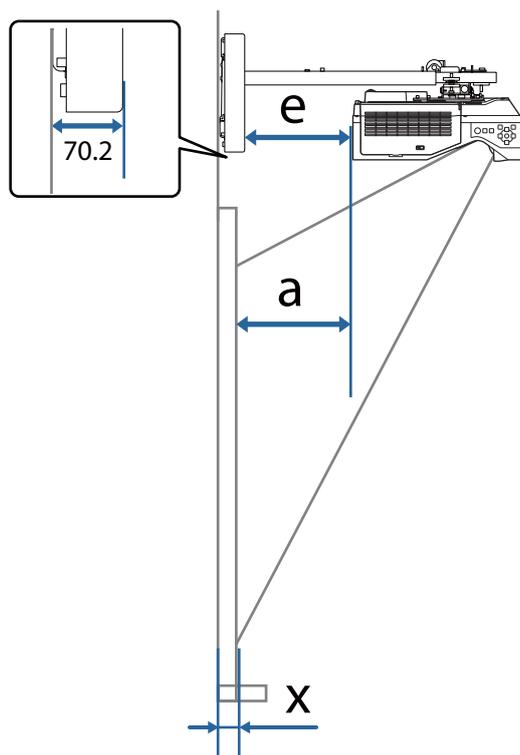
(EB-770Fiをお使いの場合)

- c1/d1 : [スクリーン位置] が中央のとき
- c2/d2 : [スクリーン位置] が上端のとき



投写サイズが小さいときは、プロジェクターの背面にケーブル接続用のスペースが十分に確保できないことがあります。

投写距離 (a) が決まったら下図を参考に (e) の距離を計算して、お使いのケーブルがプロジェクターの背面に収まるかどうかを事前に確認してください。



- a: 投写距離最短 (ワイド)
- e: ウォールプレートカバー前面からプロジェクター背面までの距離  
(計算式 :  $e = a - 70.2 \text{ mm} + x$ )
- x: ウォールプレート取り付け面から投写面までの厚み

## ■ EB-770Fi

## 16 : 9投写画面

インタラクティブ機能を使用する場合の最大投写サイズは100型です。

[単位 : mm]

S	a	b	c	d	x
74 型	107	166	230	422	-5 ~ +367
75 型	113	172	233	425	-11 ~ +361
76 型	119	178	236	428	-17 ~ +355
77 型	126	185	239	431	-24 ~ +348
78 型	132	191	242	434	-30 ~ +342
79 型	138	197	245	437	-36 ~ +336
80 型	145	203	248	440	-42 ~ +330
81 型	151	210	251	443	-49 ~ +323
82 型	157	216	254	446	-55 ~ +317
83 型	164	222	257	449	-61 ~ +311
84 型	170	229	260	452	-68 ~ +304
85 型	176	235	263	455	-74 ~ +298
86 型	182	241	266	458	-80 ~ +292
87 型	189	248	269	461	-87 ~ +285
88 型	195	254	272	464	-93 ~ +279
89 型	201	260	275	467	-99 ~ +273
90 型	208	180	278	470	-30 ~ +353
91 型	214	186	281	473	-36 ~ +347
92 型	220	192	283	476	-42 ~ +341
93 型	227	198	286	479	-49 ~ +335
94 型	233	205	289	482	-55 ~ +328
95 型	239	211	292	485	-61 ~ +322
96 型	246	217	295	488	-67 ~ +316
97 型	252	224	298	491	-74 ~ +309
98 型	258	230	301	494	-80 ~ +303
99 型	264	236	304	497	-86 ~ +297
100 型	271	243	307	500	-93 ~ +290
101 型	277	249	310	502	-99 ~ +284

S	a	b	c	d	x
102 型	283	255	313	505	-105 ~ +278
103 型	290	262	316	508	-112 ~ +271
104 型	296	268	319	511	-118 ~ +265
105 型	302	274	322	514	-124 ~ +259
106 型	309	280	325	517	-130 ~ +253
107 型	315	287	328	520	-137 ~ +246
108 型	321	293	331	523	-143 ~ +240
109 型	328	299	334	526	-149 ~ +234
110 型	334	306	337	529	-156 ~ +227
111 型	340	312	340	532	-162 ~ +221
112 型	346	318	343	535	-168 ~ +215
113 型	353	325	346	538	-175 ~ +208
114 型	359	331	349	541	-181 ~ +202
115 型	365	337	352	544	-187 ~ +196
116 型	372	344	355	547	-194 ~ +189
117 型	378	350	358	550	-200 ~ +183
118 型	384	356	361	553	-206 ~ +177
119 型	391	362	364	556	-212 ~ +171
120 型	397	369	367	559	-219 ~ +164
121 型	403	375	370	562	-225 ~ +158
122 型	410	381	373	565	-231 ~ +152
123 型	416	388	376	568	-238 ~ +145
124 型	422	394	379	571	-244 ~ +139
125 型	428	400	382	574	-250 ~ +133
126 型	435	407	385	577	-257 ~ +126
127 型	441	413	388	580	-263 ~ +120
128 型	447	419	391	583	-269 ~ +114
129 型	454	426	394	586	-276 ~ +107

S	a	b	c	d	x
130 型	460	432	397	589	-282 ~ +101
131 型	466	438	400	592	-288 ~ +95
132 型	473	444	403	595	-294 ~ +89
133 型	479	451	406	598	-301 ~ +82
134 型	485	457	409	601	-307 ~ +76
135 型	492	463	411	604	-313 ~ +70
136 型	498	470	414	607	-320 ~ +63
137 型	504	476	417	610	-326 ~ +57
138 型	510	482	420	613	-332 ~ +51
139 型	517	489	423	616	-339 ~ +44
140 型	523	495	426	619	-345 ~ +38
141 型	529	501	429	622	-351 ~ +32
142 型	536	508	432	625	-358 ~ +26
143 型	542	514	435	628	-364 ~ +19
144 型	548	520	438	630	-370 ~ +13
145 型	555	526	441	633	-376 ~ +7
146 型	561	533	444	636	-383 ~ +0

## 4：3投写画面

インタラクティブ機能を使用する場合の最大投写サイズは100型です。

[単位：mm]

S	a	b	c	d	x
60 型	103	162	228	420	-1 ~ +371
61 型	111	170	232	424	-9 ~ +363
62 型	119	177	235	428	-16 ~ +356
63 型	126	185	239	431	-24 ~ +348
64 型	134	193	243	435	-32 ~ +340
65 型	142	201	246	439	-40 ~ +332
66 型	150	208	250	442	-47 ~ +325
67 型	157	216	254	446	-55 ~ +317
68 型	165	224	257	450	-63 ~ +309
69 型	173	232	261	453	-71 ~ +301
70 型	180	239	265	457	-78 ~ +294
71 型	188	247	268	460	-86 ~ +286
72 型	196	255	272	464	-94 ~ +278
73 型	204	262	276	468	-101 ~ +271
74 型	211	270	279	471	-109 ~ +263
75 型	219	278	283	475	-117 ~ +255
76 型	227	286	287	479	-125 ~ +247
77 型	234	293	290	482	-132 ~ +240
78 型	242	301	294	486	-140 ~ +232
79 型	250	309	297	490	-148 ~ +224
80 型	258	316	301	493	-155 ~ +217
81 型	265	324	305	497	-163 ~ +209
82 型	273	332	308	501	-171 ~ +201
83 型	281	340	312	504	-179 ~ +193
84 型	288	347	316	508	-186 ~ +186
85 型	296	355	319	511	-194 ~ +178
86 型	304	363	323	515	-202 ~ +170
87 型	312	370	327	519	-209 ~ +163

S	a	b	c	d	x
88 型	319	378	330	522	-217 ~ +155
89 型	327	386	334	526	-225 ~ +147
90 型	335	307	338	530	-157 ~ +226
91 型	342	314	341	533	-164 ~ +219
92 型	350	322	345	537	-172 ~ +211
93 型	358	330	348	541	-180 ~ +203
94 型	366	337	352	544	-188 ~ +196
95 型	373	345	356	548	-195 ~ +188
96 型	381	353	359	552	-203 ~ +180
97 型	389	361	363	555	-211 ~ +172
98 型	397	368	367	559	-218 ~ +165
99 型	404	376	370	562	-226 ~ +157
100 型	412	384	374	566	-234 ~ +149
101 型	420	392	378	570	-242 ~ +141
102 型	427	399	381	573	-249 ~ +134
103 型	435	407	385	577	-257 ~ +126
104 型	443	415	389	581	-265 ~ +118
105 型	451	422	392	584	-272 ~ +111
106 型	458	430	396	588	-280 ~ +103
107 型	466	438	399	592	-288 ~ +95
108 型	474	446	403	595	-296 ~ +87
109 型	481	453	407	599	-303 ~ +80
110 型	489	461	410	603	-311 ~ +72
111 型	497	469	414	606	-319 ~ +64
112 型	505	476	418	610	-326 ~ +57
113 型	512	484	421	613	-334 ~ +49
114 型	520	492	425	617	-342 ~ +41
115 型	528	500	429	621	-350 ~ +33
116 型	535	507	432	624	-357 ~ +26
117 型	543	515	436	628	-365 ~ +18
118 型	551	523	440	632	-373 ~ +10
119 型	559	530	443	635	-381 ~ +3

## 16:10投写画面

インタラクティブ機能を使用する場合の最大投写サイズは100型です。

[単位：mm]

S	a	b	c	d	x
68 型	104	163	228	421	-2 ~ +370
69 型	111	169	232	424	-8 ~ +364
70 型	117	176	235	427	-15 ~ +357
71 型	124	183	238	430	-22 ~ +350
72 型	131	190	241	434	-29 ~ +343
73 型	138	197	245	437	-36 ~ +336
74 型	145	203	248	440	-42 ~ +330
75 型	151	210	251	443	-49 ~ +323
76 型	158	217	254	446	-56 ~ +316
77 型	165	224	257	450	-63 ~ +309
78 型	172	231	261	453	-70 ~ +302
79 型	179	238	264	456	-77 ~ +295
80 型	186	244	267	459	-83 ~ +289
81 型	192	251	270	462	-90 ~ +282
82 型	199	258	274	466	-97 ~ +275
83 型	206	265	277	469	-104 ~ +268
84 型	213	272	280	472	-111 ~ +261
85 型	220	278	283	475	-117 ~ +255
86 型	226	285	286	479	-124 ~ +248
87 型	233	292	290	482	-131 ~ +241
88 型	240	299	293	485	-138 ~ +234
89 型	247	306	296	488	-145 ~ +227
90 型	254	226	299	491	-76 ~ +307
91 型	261	232	302	495	-82 ~ +301
92 型	267	239	306	498	-89 ~ +294
93 型	274	246	309	501	-96 ~ +287
94 型	281	253	312	504	-103 ~ +280
95 型	288	260	315	508	-110 ~ +273

S	a	b	c	d	x
96 型	295	266	319	511	-116 ~ +267
97 型	301	273	322	514	-123 ~ +260
98 型	308	280	325	517	-130 ~ +253
99 型	315	287	328	520	-137 ~ +246
100 型	322	294	331	524	-144 ~ +239
101 型	329	301	335	527	-151 ~ +232
102 型	336	307	338	530	-157 ~ +226
103 型	342	314	341	533	-164 ~ +219
104 型	349	321	344	537	-171 ~ +212
105 型	356	328	348	540	-178 ~ +205
106 型	363	335	351	543	-185 ~ +198
107 型	370	341	354	546	-191 ~ +192
108 型	376	348	357	549	-198 ~ +185
109 型	383	355	360	553	-205 ~ +178
110 型	390	362	364	556	-212 ~ +171
111 型	397	369	367	559	-219 ~ +164
112 型	404	376	370	562	-226 ~ +157
113 型	411	382	373	565	-232 ~ +151
114 型	417	389	376	569	-239 ~ +144
115 型	424	396	380	572	-246 ~ +137
116 型	431	403	383	575	-253 ~ +130
117 型	438	410	386	578	-260 ~ +123
118 型	445	416	389	582	-266 ~ +117
119 型	451	423	393	585	-273 ~ +110
120 型	458	430	396	588	-280 ~ +103
121 型	465	437	399	591	-287 ~ +96
122 型	472	444	402	594	-294 ~ +89
123 型	479	451	405	598	-301 ~ +82

S	a	b	c	d	x
124 型	486	457	409	601	-307 ~ +76
125 型	492	464	412	604	-314 ~ +69
126 型	499	471	415	607	-321 ~ +62
127 型	506	478	418	611	-328 ~ +55
128 型	513	485	422	614	-335 ~ +48
129 型	520	491	425	617	-341 ~ +42
130 型	526	498	428	620	-348 ~ +35
131 型	533	505	431	623	-355 ~ +28
132 型	540	512	434	627	-362 ~ +21
133 型	547	519	438	630	-369 ~ +14
134 型	554	526	441	633	-376 ~ +7
135 型	561	532	444	636	-382 ~ +1

## 16 : 6投写画面

インタラクティブ機能を使用する場合の最大投写サイズは110型です。

[単位 : mm]

S	a	b	c	d	x
69 型	108	166	384	576	-5 ~ +367
70 型	114	173	390	582	-12 ~ +360
71 型	121	180	395	587	-19 ~ +353
72 型	128	187	400	593	-26 ~ +346
73 型	135	194	406	598	-33 ~ +339
74 型	141	200	411	603	-39 ~ +333
75 型	148	207	417	609	-46 ~ +326
76 型	155	214	422	614	-53 ~ +319
77 型	162	221	428	620	-60 ~ +312
78 型	169	227	433	625	-66 ~ +306
79 型	175	234	438	631	-73 ~ +299
80 型	182	241	444	636	-80 ~ +292
81 型	189	248	449	641	-87 ~ +285
82 型	196	255	455	647	-94 ~ +278
83 型	202	261	460	652	-100 ~ +272
84 型	209	268	466	658	-107 ~ +265
85 型	216	275	471	663	-114 ~ +258
86 型	223	282	476	669	-121 ~ +251
87 型	230	288	482	674	-127 ~ +245
88 型	236	295	487	679	-134 ~ +238
89 型	243	302	493	685	-141 ~ +231
90 型	250	222	498	690	-72 ~ +311
91 型	257	229	504	696	-79 ~ +304
92 型	263	235	509	701	-85 ~ +298
93 型	270	242	514	707	-92 ~ +291
94 型	277	249	520	712	-99 ~ +284
95 型	284	256	525	717	-106 ~ +277
96 型	291	262	531	723	-112 ~ +271

S	a	b	c	d	x
97 型	297	269	536	728	-119 ~ +264
98 型	304	276	542	734	-126 ~ +257
99 型	311	283	547	739	-133 ~ +250
100 型	318	289	552	745	-140 ~ +244
101 型	324	296	558	750	-146 ~ +237
102 型	331	303	563	755	-153 ~ +230
103 型	338	310	569	761	-160 ~ +223
104 型	345	317	574	766	-167 ~ +216
105 型	352	323	580	772	-173 ~ +210
106 型	358	330	585	777	-180 ~ +203
107 型	365	337	590	783	-187 ~ +196
108 型	372	344	596	788	-194 ~ +189
109 型	379	350	601	793	-201 ~ +183
110 型	385	357	607	799	-207 ~ +176
111 型	392	364	612	804	-214 ~ +169
112 型	399	371	618	810	-221 ~ +162
113 型	406	378	623	815	-228 ~ +155
114 型	412	384	628	821	-234 ~ +149
115 型	419	391	634	826	-241 ~ +142
116 型	426	398	639	831	-248 ~ +135
117 型	433	405	645	837	-255 ~ +128
118 型	440	411	650	842	-262 ~ +122
119 型	446	418	656	848	-268 ~ +115
120 型	453	425	661	853	-275 ~ +108
121 型	460	432	666	859	-282 ~ +101
122 型	467	439	672	864	-289 ~ +94
123 型	473	445	677	869	-295 ~ +88
124 型	480	452	683	875	-302 ~ +81

S	a	b	c	d	x
125 型	487	459	688	880	-309 ~ +74
126 型	494	466	693	886	-316 ~ +67
127 型	501	472	699	891	-323 ~ +61
128 型	507	479	704	897	-329 ~ +54
129 型	514	486	710	902	-336 ~ +47
130 型	521	493	715	907	-343 ~ +40
131 型	528	500	721	913	-350 ~ +33
132 型	534	506	726	918	-356 ~ +27
133 型	541	513	731	924	-363 ~ +20
134 型	548	520	737	929	-370 ~ +13
135 型	555	527	742	935	-377 ~ +6

## 21:9投写画面

インタラクティブ機能を使用する場合の最大投写サイズは110型です。

[単位：mm]

S	a	b	c	d	x
70 型	106	165	339	531	-3 ~ +369
71 型	112	171	344	536	-10 ~ +362
72 型	119	178	348	540	-17 ~ +355
73 型	126	184	353	545	-23 ~ +349
74 型	132	191	358	550	-30 ~ +342
75 型	139	198	362	555	-37 ~ +335
76 型	146	204	367	559	-43 ~ +329
77 型	152	211	372	564	-50 ~ +322
78 型	159	218	376	569	-57 ~ +315
79 型	166	224	381	573	-63 ~ +309
80 型	172	231	386	578	-70 ~ +302
81 型	179	238	391	583	-77 ~ +295
82 型	185	244	395	587	-83 ~ +289
83 型	192	251	400	592	-90 ~ +282
84 型	199	258	405	597	-97 ~ +275
85 型	205	264	409	602	-103 ~ +269
86 型	212	271	414	606	-110 ~ +262
87 型	219	278	419	611	-117 ~ +255
88 型	225	284	423	616	-123 ~ +249
89 型	232	291	428	620	-130 ~ +242
90 型	239	211	433	625	-61 ~ +323
91 型	245	217	438	630	-67 ~ +316
92 型	252	224	442	634	-74 ~ +309
93 型	259	230	447	639	-80 ~ +303
94 型	265	237	452	644	-87 ~ +296
95 型	272	244	456	649	-94 ~ +289
96 型	279	250	461	653	-100 ~ +283
97 型	285	257	466	658	-107 ~ +276

S	a	b	c	d	x
98 型	292	264	470	663	-114 ~ +269
99 型	299	270	475	667	-120 ~ +263
100 型	305	277	480	672	-127 ~ +256
101 型	312	284	485	677	-134 ~ +249
102 型	319	290	489	681	-140 ~ +243
103 型	325	297	494	686	-147 ~ +236
104 型	332	304	499	691	-154 ~ +229
105 型	338	310	503	696	-160 ~ +223
106 型	345	317	508	700	-167 ~ +216
107 型	352	324	513	705	-174 ~ +209
108 型	358	330	518	710	-180 ~ +203
109 型	365	337	522	714	-187 ~ +196
110 型	372	344	527	719	-194 ~ +189
111 型	378	350	532	724	-200 ~ +183
112 型	385	357	536	729	-207 ~ +176
113 型	392	364	541	733	-214 ~ +170
114 型	398	370	546	738	-220 ~ +163
115 型	405	377	550	743	-227 ~ +156
116 型	412	383	555	747	-233 ~ +150
117 型	418	390	560	752	-240 ~ +143
118 型	425	397	565	757	-247 ~ +136
119 型	432	403	569	761	-253 ~ +130
120 型	438	410	574	766	-260 ~ +123
121 型	445	417	579	771	-267 ~ +116
122 型	452	423	583	776	-273 ~ +110
123 型	458	430	588	780	-280 ~ +103
124 型	465	437	593	785	-287 ~ +96
125 型	471	443	597	790	-293 ~ +90

S	a	b	c	d	x
126 型	478	450	602	794	-300 ~ +83
127 型	485	457	607	799	-307 ~ +76
128 型	491	463	612	804	-313 ~ +70
129 型	498	470	616	808	-320 ~ +63
130 型	505	477	621	813	-327 ~ +56
131 型	511	483	626	818	-333 ~ +50
132 型	518	490	630	823	-340 ~ +43
133 型	525	497	635	827	-347 ~ +37
134 型	531	503	640	832	-353 ~ +30
135 型	538	510	644	837	-360 ~ +23
136 型	545	516	649	841	-366 ~ +17
137 型	551	523	654	846	-373 ~ +10
138 型	558	530	659	851	-380 ~ +3

## ■ EB-760Wi

## 16:10投写画面

インタラクティブ機能を使用する場合の最大投写サイズは100型です。

[単位：mm]

S	a	b	c	d	x
71 型	105	164	209	401	-2 ~ +370
72 型	111	170	212	404	-9 ~ +363
73 型	118	177	214	407	-16 ~ +356
74 型	124	183	217	409	-22 ~ +350
75 型	131	190	220	412	-29 ~ +343
76 型	137	196	223	415	-35 ~ +337
77 型	144	203	226	418	-42 ~ +330
78 型	150	209	228	421	-48 ~ +324
79 型	157	216	231	423	-55 ~ +317
80 型	163	222	234	426	-61 ~ +311
81 型	170	229	237	429	-68 ~ +304
82 型	177	235	240	432	-74 ~ +298
83 型	183	242	242	435	-81 ~ +291
84 型	190	248	245	437	-87 ~ +285
85 型	196	255	248	440	-94 ~ +278
86 型	203	262	251	443	-101 ~ +271
87 型	209	268	254	446	-107 ~ +265
88 型	216	275	256	449	-114 ~ +258
89 型	222	281	259	451	-120 ~ +252
90 型	229	201	262	454	-51 ~ +332
91 型	235	207	265	457	-57 ~ +326
92 型	242	214	268	460	-64 ~ +319
93 型	248	220	271	463	-70 ~ +313
94 型	255	227	273	466	-77 ~ +306
95 型	262	233	276	468	-83 ~ +300
96 型	268	240	279	471	-90 ~ +293
97 型	275	246	282	474	-96 ~ +287
98 型	281	253	285	477	-103 ~ +280

S	a	b	c	d	x
99 型	288	259	287	480	-110 ~ +274
100 型	294	266	290	482	-116 ~ +267
101 型	301	273	293	485	-123 ~ +260
102 型	307	279	296	488	-129 ~ +254
103 型	314	286	299	491	-136 ~ +247
104 型	320	292	301	494	-142 ~ +241
105 型	327	299	304	496	-149 ~ +234
106 型	333	305	307	499	-155 ~ +228
107 型	340	312	310	502	-162 ~ +221
108 型	346	318	313	505	-168 ~ +215
109 型	353	325	315	508	-175 ~ +208
110 型	360	331	318	510	-181 ~ +202
111 型	366	338	321	513	-188 ~ +195
112 型	373	344	324	516	-194 ~ +189
113 型	379	351	327	519	-201 ~ +182
114 型	386	358	329	522	-208 ~ +176
115 型	392	364	332	524	-214 ~ +169
116 型	399	371	335	527	-221 ~ +162
117 型	405	377	338	530	-227 ~ +156
118 型	412	384	341	533	-234 ~ +149
119 型	418	390	343	536	-240 ~ +143
120 型	425	397	346	538	-247 ~ +136
121 型	431	403	349	541	-253 ~ +130
122 型	438	410	352	544	-260 ~ +123
123 型	444	416	355	547	-266 ~ +117
124 型	451	423	357	550	-273 ~ +110
125 型	458	429	360	552	-279 ~ +104
126 型	464	436	363	555	-286 ~ +97

S	a	b	c	d	x
127 型	471	442	366	558	-292 ~ +91
128 型	477	449	369	561	-299 ~ +84
129 型	484	456	371	564	-306 ~ +77
130 型	490	462	374	566	-312 ~ +71
131 型	497	469	377	569	-319 ~ +64
132 型	503	475	380	572	-325 ~ +58
133 型	510	482	383	575	-332 ~ +51
134 型	516	488	386	578	-338 ~ +45
135 型	523	495	388	581	-345 ~ +38
136 型	529	501	391	583	-351 ~ +32
137 型	536	508	394	586	-358 ~ +25
138 型	543	514	397	589	-364 ~ +19
139 型	549	521	400	592	-371 ~ +12
140 型	556	527	402	595	-377 ~ +6

## 4：3投写画面

インタラクティブ機能を使用する場合の最大投写サイズは100型です。

[単位：mm]

S	a	b	c	d	x
63 型	107	166	210	402	-5 ~ +367
64 型	114	173	213	405	-12 ~ +360
65 型	122	180	216	408	-19 ~ +353
66 型	129	188	219	411	-27 ~ +345
67 型	136	195	222	415	-34 ~ +338
68 型	144	203	226	418	-42 ~ +330
69 型	151	210	229	421	-49 ~ +323
70 型	159	217	232	424	-56 ~ +316
71 型	166	225	235	427	-64 ~ +308
72 型	173	232	238	430	-71 ~ +301
73 型	181	240	241	434	-79 ~ +293
74 型	188	247	245	437	-86 ~ +286
75 型	196	254	248	440	-93 ~ +279
76 型	203	262	251	443	-101 ~ +271
77 型	210	269	254	446	-108 ~ +264
78 型	218	277	257	450	-116 ~ +256
79 型	225	284	261	453	-123 ~ +249
80 型	233	291	264	456	-130 ~ +242
81 型	240	299	267	459	-138 ~ +234
82 型	247	306	270	462	-145 ~ +227
83 型	255	314	273	465	-153 ~ +219
84 型	262	321	276	469	-160 ~ +212
85 型	270	328	280	472	-167 ~ +205
86 型	277	336	283	475	-175 ~ +197
87 型	284	343	286	478	-182 ~ +190
88 型	292	351	289	481	-190 ~ +182
89 型	299	358	292	484	-197 ~ +175
90 型	307	278	295	488	-128 ~ +255

S	a	b	c	d	x
91 型	314	286	299	491	-136 ~ +247
92 型	321	293	302	494	-143 ~ +240
93 型	329	301	305	497	-151 ~ +232
94 型	336	308	308	500	-158 ~ +225
95 型	344	315	311	504	-165 ~ +218
96 型	351	323	314	507	-173 ~ +210
97 型	358	330	318	510	-180 ~ +203
98 型	366	338	321	513	-188 ~ +195
99 型	373	345	324	516	-195 ~ +188
100 型	380	352	327	519	-202 ~ +181
101 型	388	360	330	523	-210 ~ +173
102 型	395	367	334	526	-217 ~ +166
103 型	403	375	337	529	-225 ~ +159
104 型	410	382	340	532	-232 ~ +151
105 型	417	389	343	535	-239 ~ +144
106 型	425	397	346	538	-247 ~ +136
107 型	432	404	349	542	-254 ~ +129
108 型	440	412	353	545	-262 ~ +122
109 型	447	419	356	548	-269 ~ +114
110 型	454	426	359	551	-276 ~ +107
111 型	462	434	362	554	-284 ~ +99
112 型	469	441	365	558	-291 ~ +92
113 型	477	449	368	561	-299 ~ +85
114 型	484	456	372	564	-306 ~ +77
115 型	491	463	375	567	-313 ~ +70
116 型	499	471	378	570	-321 ~ +62
117 型	506	478	381	573	-328 ~ +55
118 型	514	486	384	577	-336 ~ +48
119 型	521	493	388	580	-343 ~ +40
120 型	528	500	391	583	-350 ~ +33
121 型	536	508	394	586	-358 ~ +25
122 型	543	515	397	589	-365 ~ +18
123 型	551	523	400	592	-373 ~ +11
124 型	558	530	403	596	-380 ~ +3

## 16 : 9投写画面

インタラクティブ機能を使用する場合の最大投写サイズは100型です。

[単位 : mm]

S	a	b	c	d	x
69 型	104	163	256	449	-2 ~ +370
70 型	111	170	260	452	-9 ~ +363
71 型	118	176	263	456	-15 ~ +357
72 型	124	183	267	459	-22 ~ +350
73 型	131	190	271	463	-29 ~ +343
74 型	138	197	274	466	-36 ~ +336
75 型	144	203	278	470	-42 ~ +330
76 型	151	210	281	474	-49 ~ +323
77 型	158	217	285	477	-56 ~ +316
78 型	165	223	288	481	-62 ~ +310
79 型	171	230	292	484	-69 ~ +303
80 型	178	237	296	488	-76 ~ +296
81 型	185	244	299	491	-83 ~ +289
82 型	191	250	303	495	-89 ~ +283
83 型	198	257	306	499	-96 ~ +276
84 型	205	264	310	502	-103 ~ +269
85 型	212	270	314	506	-109 ~ +263
86 型	218	277	317	509	-116 ~ +256
87 型	225	284	321	513	-123 ~ +249
88 型	232	291	324	516	-130 ~ +242
89 型	238	297	328	520	-136 ~ +236
90 型	245	217	331	524	-67 ~ +316
91 型	252	224	335	527	-74 ~ +309
92 型	259	230	339	531	-81 ~ +303
93 型	265	237	342	534	-87 ~ +296
94 型	272	244	346	538	-94 ~ +289
95 型	279	251	349	541	-101 ~ +282
96 型	285	257	353	545	-107 ~ +276

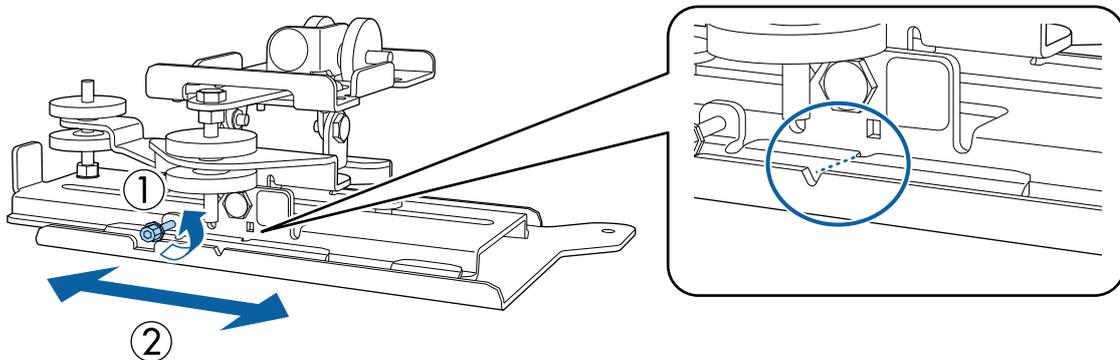
S	a	b	c	d	x
97 型	292	264	356	549	-114 ~ +269
98 型	299	271	360	552	-121 ~ +262
99 型	306	277	364	556	-128 ~ +256
100 型	312	284	367	559	-134 ~ +249
101 型	319	291	371	563	-141 ~ +242
102 型	326	298	374	566	-148 ~ +235
103 型	332	304	378	570	-154 ~ +229
104 型	339	311	381	574	-161 ~ +222
105 型	346	318	385	577	-168 ~ +215
106 型	353	325	389	581	-175 ~ +208
107 型	359	331	392	584	-181 ~ +202
108 型	366	338	396	588	-188 ~ +195
109 型	373	345	399	591	-195 ~ +188
110 型	380	351	403	595	-201 ~ +182
111 型	386	358	406	599	-208 ~ +175
112 型	393	365	410	602	-215 ~ +168
113 型	400	372	414	606	-222 ~ +161
114 型	406	378	417	609	-228 ~ +155
115 型	413	385	421	613	-235 ~ +148
116 型	420	392	424	617	-242 ~ +141
117 型	427	398	428	620	-248 ~ +135
118 型	433	405	431	624	-255 ~ +128
119 型	440	412	435	627	-262 ~ +121
120 型	447	419	439	631	-269 ~ +114
121 型	453	425	442	634	-275 ~ +108
122 型	460	432	446	638	-282 ~ +101
123 型	467	439	449	642	-289 ~ +94
124 型	474	445	453	645	-295 ~ +88

S	a	b	c	d	x
125 型	480	452	456	649	-302 ~ +81
126 型	487	459	460	652	-309 ~ +74
127 型	494	466	464	656	-316 ~ +67
128 型	500	472	467	659	-322 ~ +61
129 型	507	479	471	663	-329 ~ +54
130 型	514	486	474	667	-336 ~ +47
131 型	521	492	478	670	-342 ~ +41
132 型	527	499	482	674	-349 ~ +34
133 型	534	506	485	677	-356 ~ +27
134 型	541	513	489	681	-363 ~ +20
135 型	547	519	492	684	-369 ~ +14
136 型	554	526	496	688	-376 ~ +7
137 型	561	533	499	692	-383 ~ +0

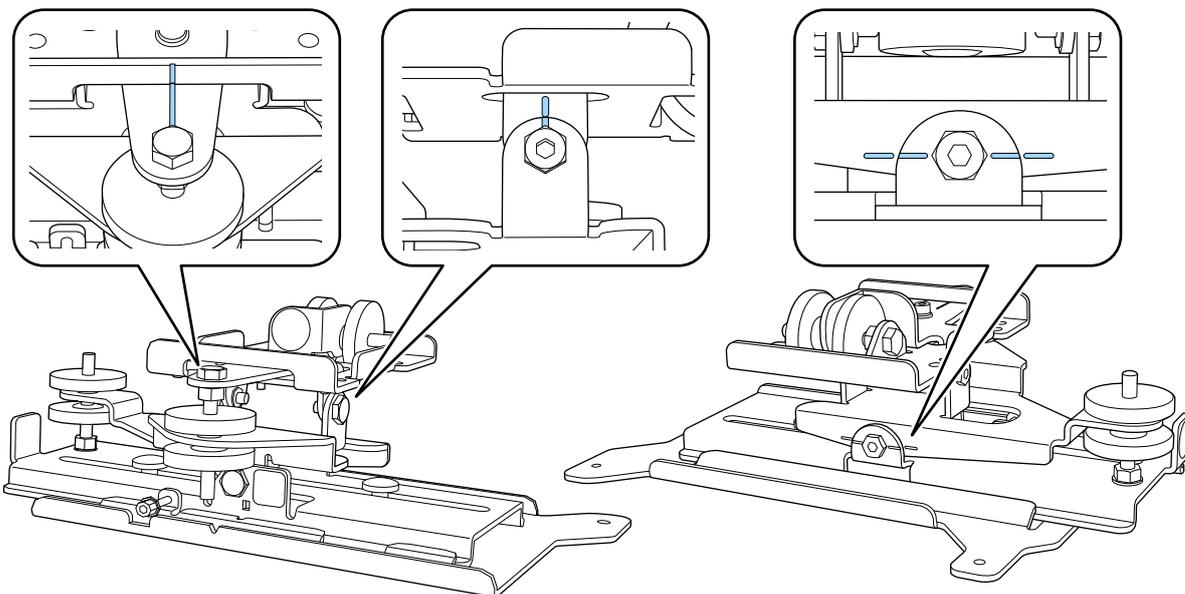
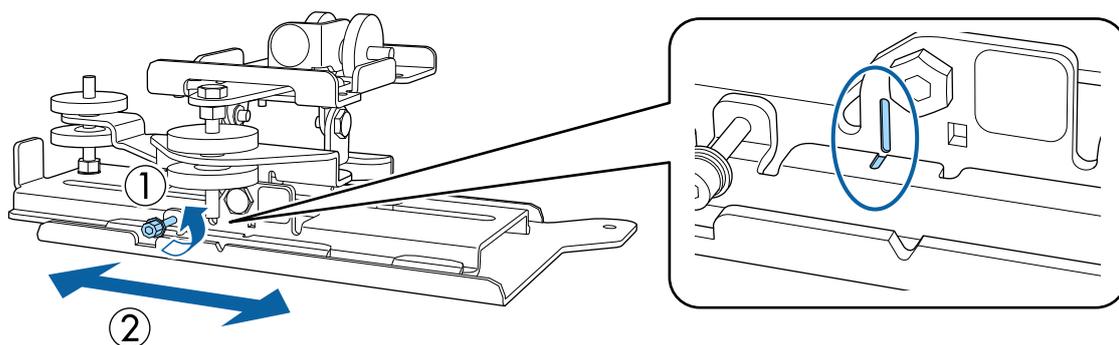
## ■ 調整ユニットをプロジェクターに取り付ける

1 調整ユニットのM4ボルトを緩めてから、各パーツの目印の位置を合わせる  
位置が合ったらM4ボルトを締め直します。

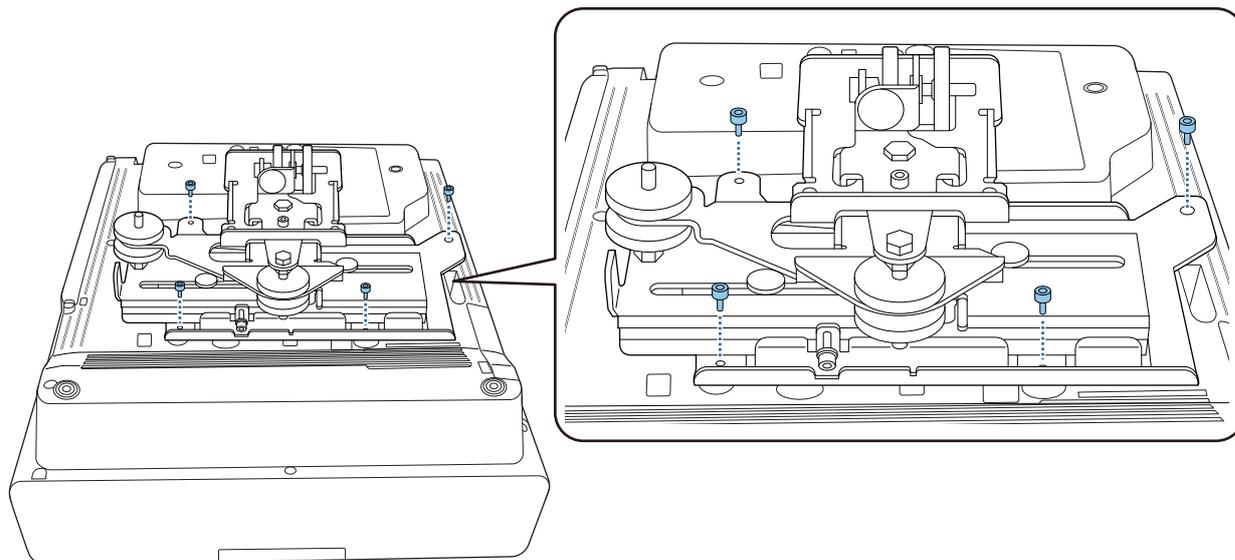
- 調整ユニットに刻印がないモデル



- 調整ユニットに刻印があるモデル  
刻印の中心が合うように調整します。



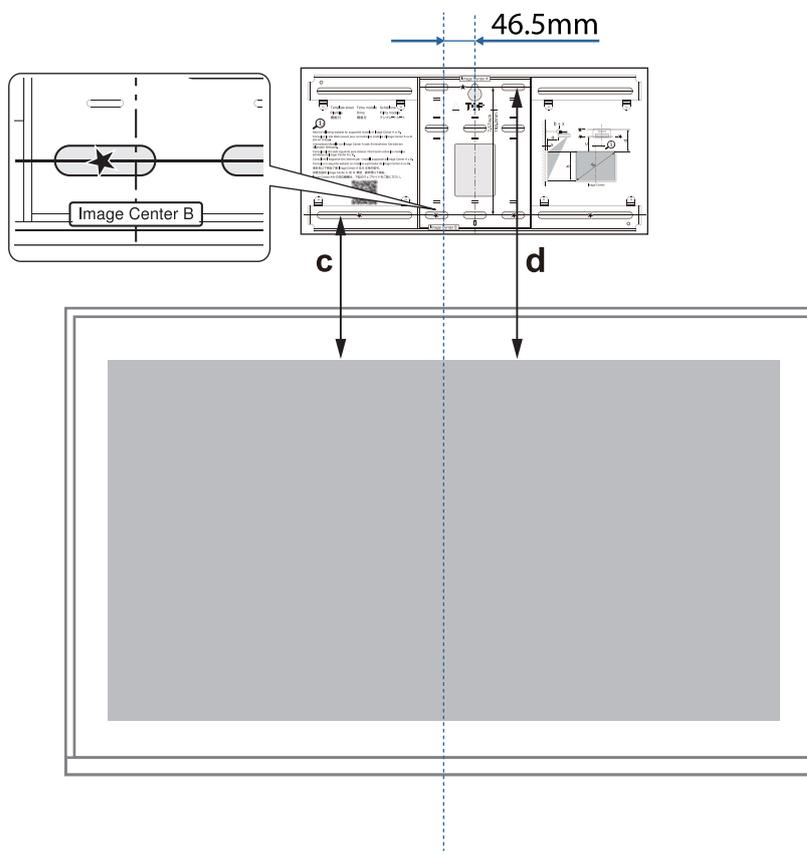
- 2 同梱のM4 x 12mmボルト (4本) で、調整ユニットをプロジェクターの底面に固定する



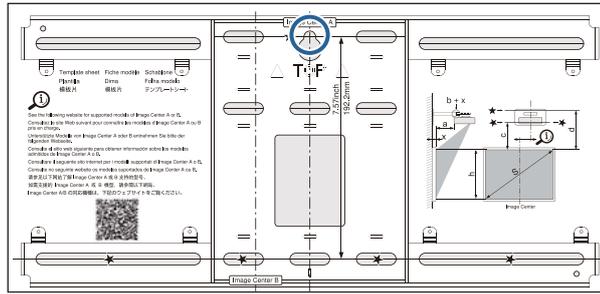
## ■ ウォールプレートを壁に取り付ける

- 1 テンプレートシートを壁に貼る

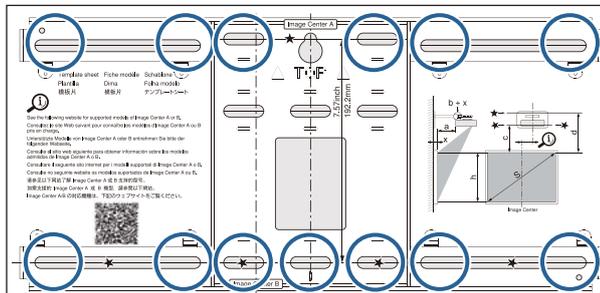
投写距離表 ( p.29 ) で確認した設置位置に合わせて、テンプレートシートを貼りつけます。  
 投写する画面の中心位置を、テンプレートシートのImage Center B に合わせてください。



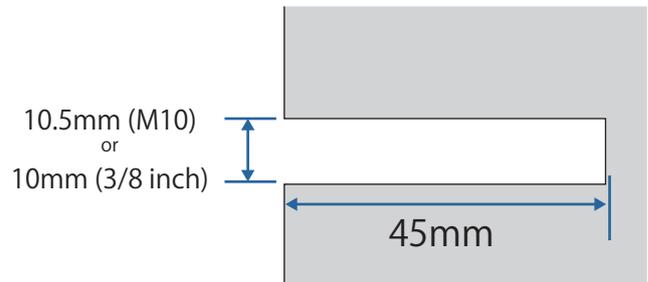
**2** ウォールプレートの仮留め用ネジ穴の位置に市販のM10ネジを打つ  
壁とネジ頭部の間を6mm以上空けてください。



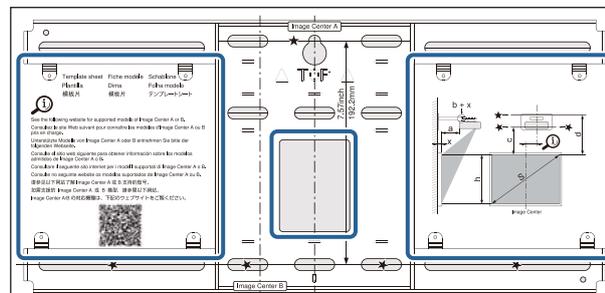
**3** ウォールプレートの取り付け穴をあける位置を決める  
下図のネジ穴の中から、上下左右で均等にバランスがとれる4箇所以上を固定してください。



**4** ドリルで壁に穴をあける  
ドリル径：10.5mm (M10)または10mm (3/8インチ)  
下穴深さ：45mm  
埋込深さ：40mm



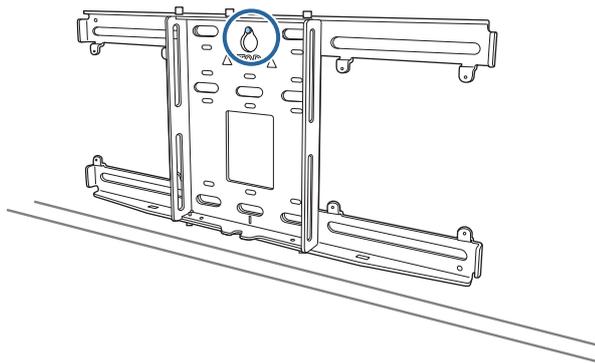
 プロジェクターに配線するケーブルを壁の中に通すときは、下図で示す範囲内に穴をあけて、ケーブル配線穴として使用できます。



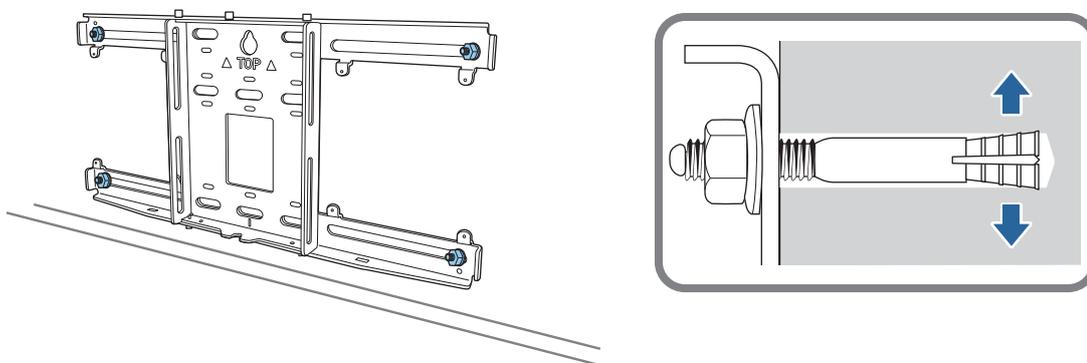
ミニPC・スティックPCを取り付ける場合は、ケーブル配線穴をあける前にミニPC用プレートを確認する位置をご確認ください。( p.65)

**5** テンプレートシートを取り外す

6 手順2で打った仮留め用のM10ネジにウォールプレートをはっかけて配置する



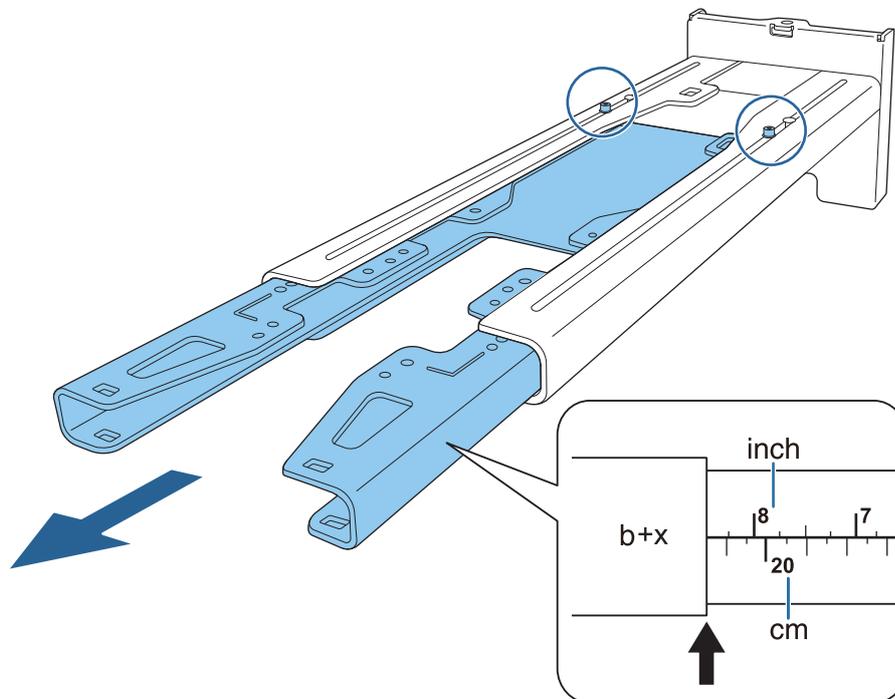
7 手順4であけた穴を使って、ウォールプレートを市販のM10または3/8インチ x 60mmアンカーボルトで固定する



## ■ セッティングプレートウォールプレートに取り付ける

### 1 M4 x 12mmボルト (2本) を緩めてから、セッティングプレートのアームスライドを引き出す

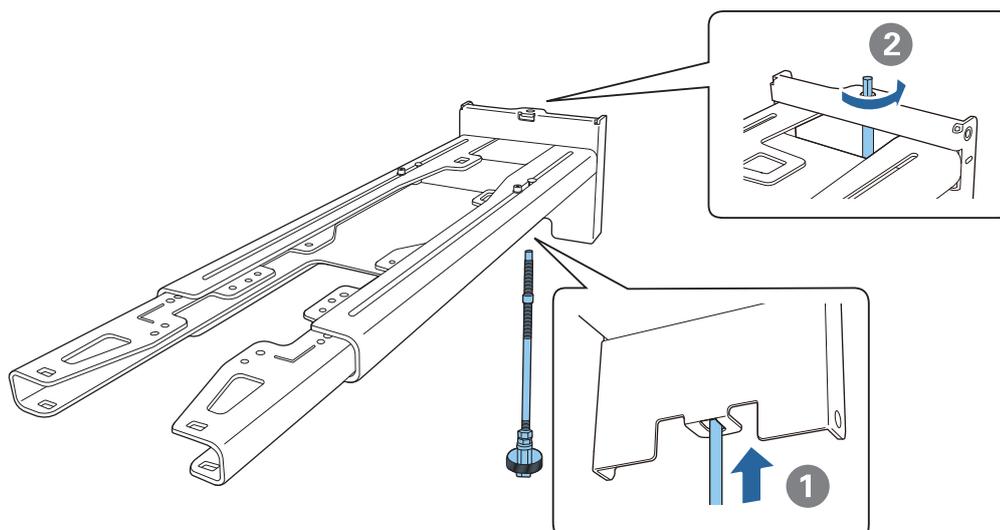
投写距離表 ( p.29 ) で確認した ( b ) の値に、ウォールプレート取り付け面から投写面までの厚み ( x ) を足した合計距離をスライダーの目盛りに合わせます。



### 2 六角軸をセッティングプレートに差し込む

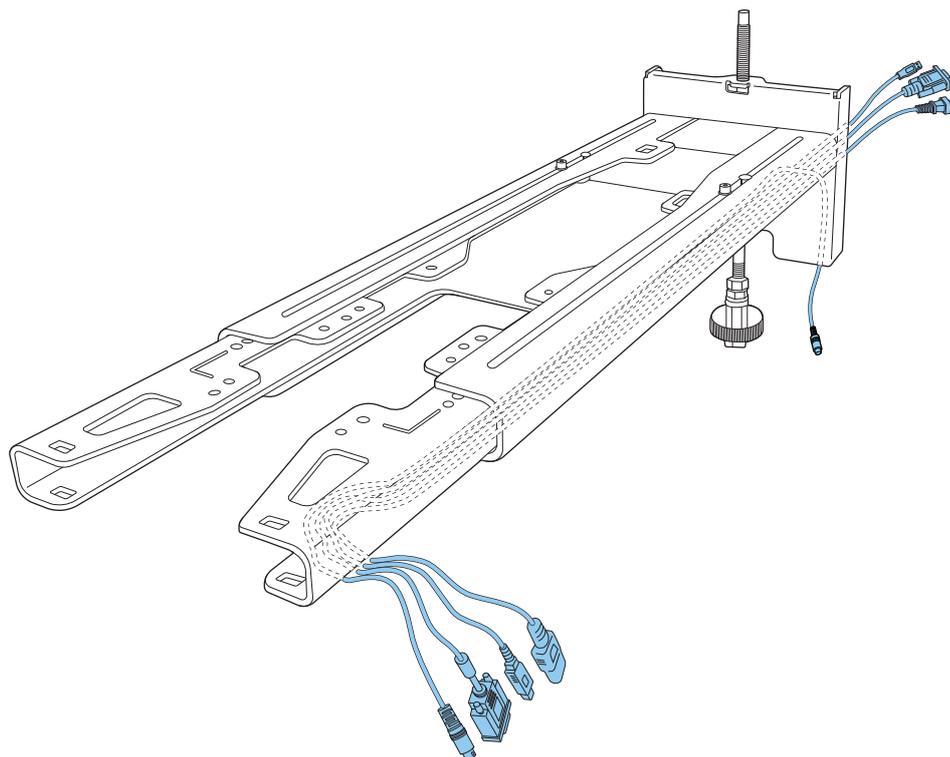
六角軸に白い目印\*がある場合は、目印をセッティングプレート上端に合わせます。

\*目印は削れることがありますが、金具の不具合ではありません。



3

必要なケーブル類をセッティングプレート内に通す



 警告

余ったケーブルをセッティングプレートの上に乗せないでください。落下事故の原因となります。



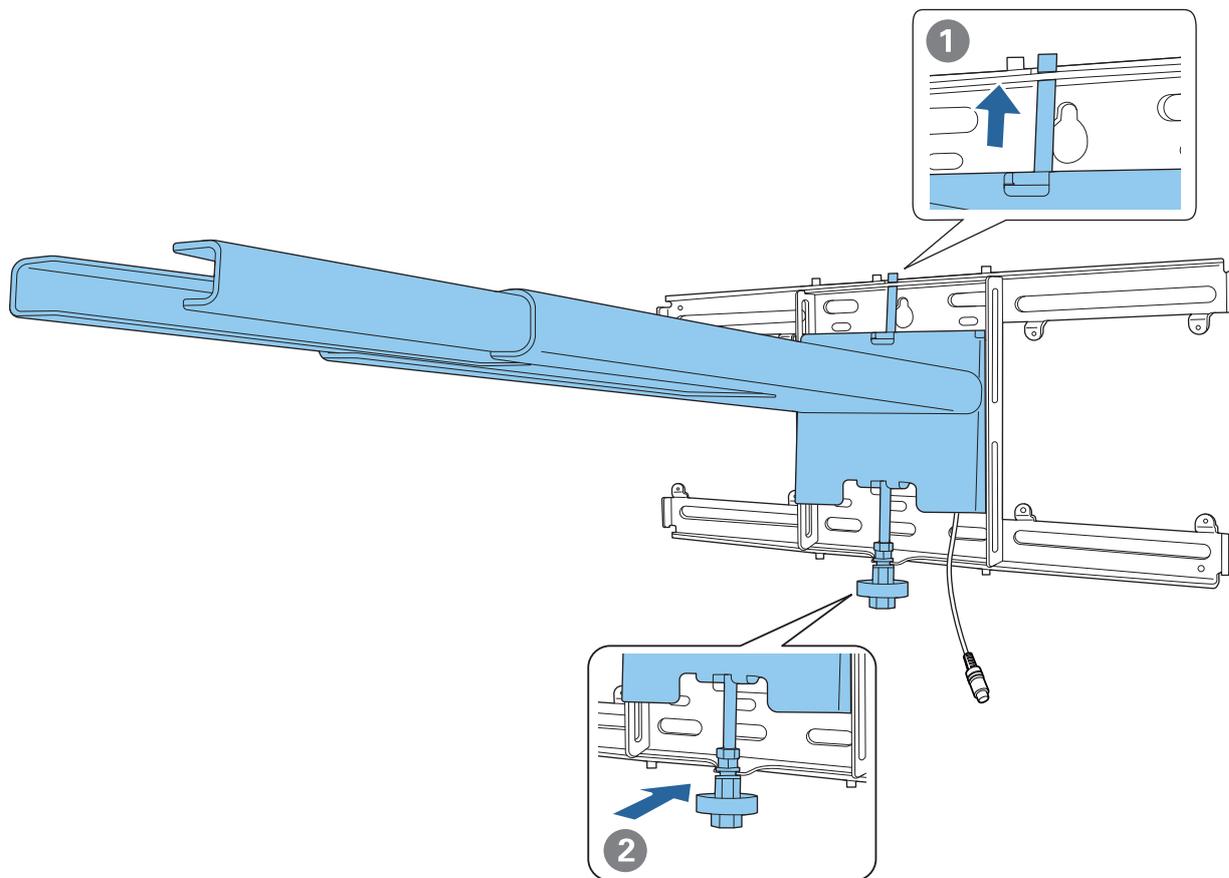
以下の端子は、壁内等に通さずセッティングプレートの下方へ出るようにしてください。

- タッチユニットに接続する端子
- ミニPC等、周辺機器に接続する端子

4

### セッティングプレートウォールプレートに組み付ける

六角軸の上部を差し込んでから、下部を差し込みます。

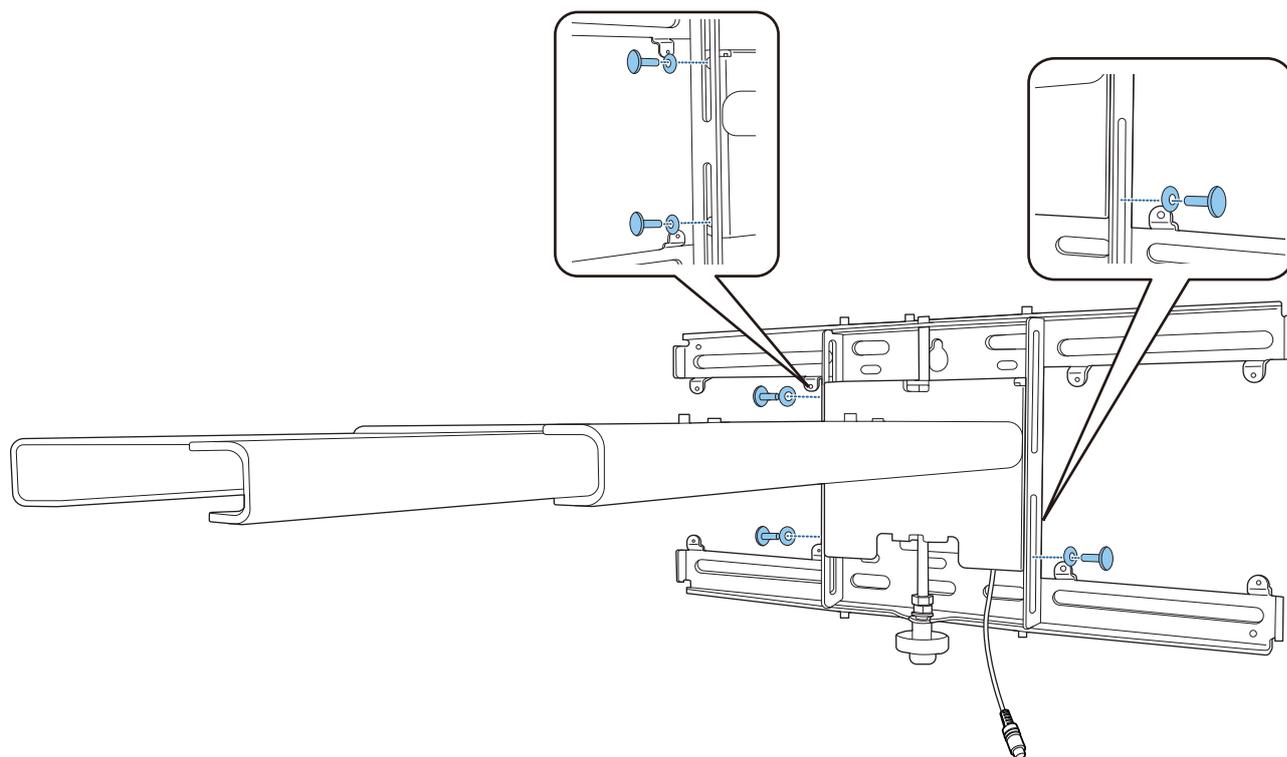


**⚠ 注意**

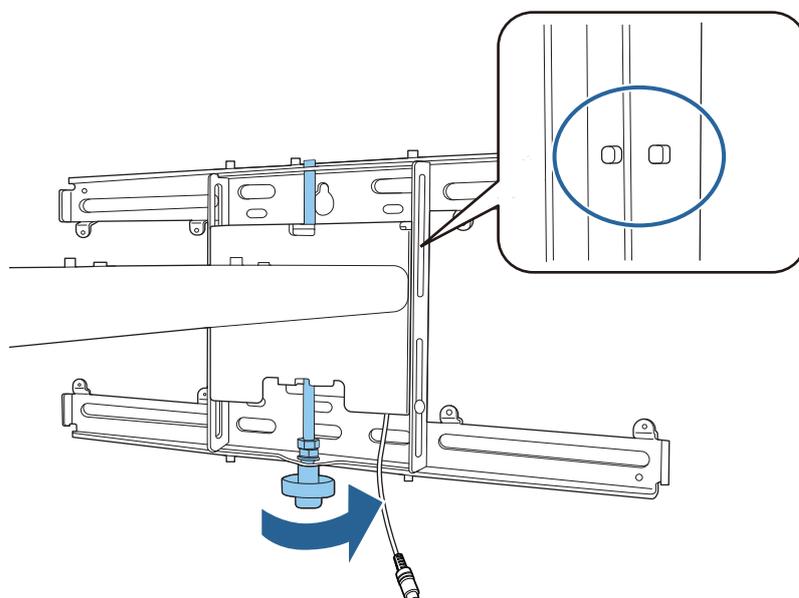
セッティングプレートとウォールプレートの上にケーブル類を挟まないように注意してください。

**5** セッティングプレートを仮固定する

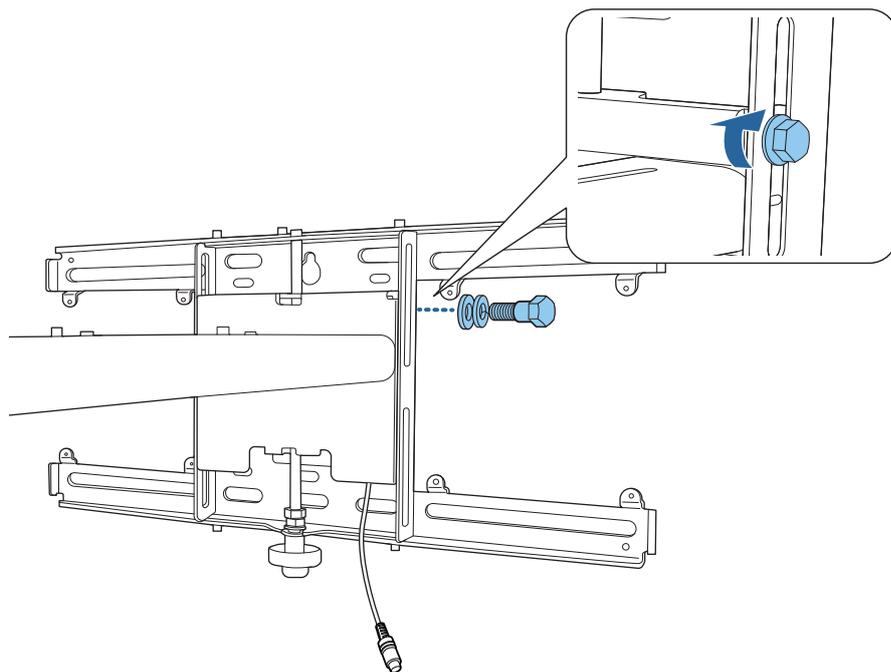
同梱のM6ネジ（3本）で、3箇所を固定します。



**6** ラチェットレンチ（17mm）で六角軸の下部を回して、ウォールプレートとセッティングプレートの目印の位置を合わせる



7 M6ボルト（1本）で、セッティングプレートの位置を固定する

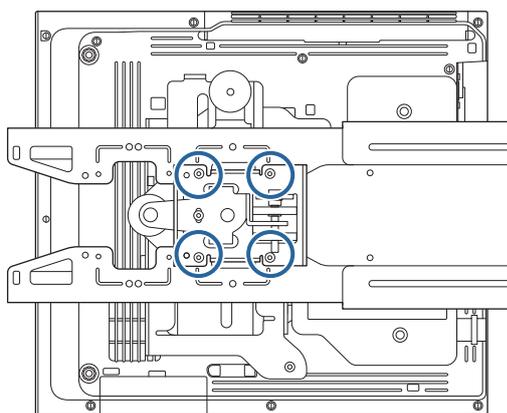


## ■ セッティングプレートに調整ユニットを取り付ける

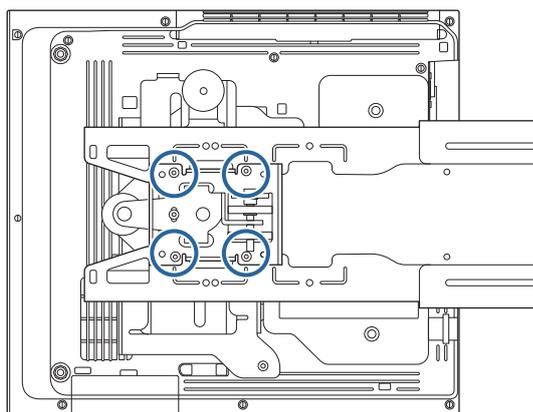
### 1 調整ユニットの取り付け位置を確認する

取り付け位置はセッティングプレートに目印が刻印されています。投写したい画面サイズに合わせて適切な位置に取り付けます。

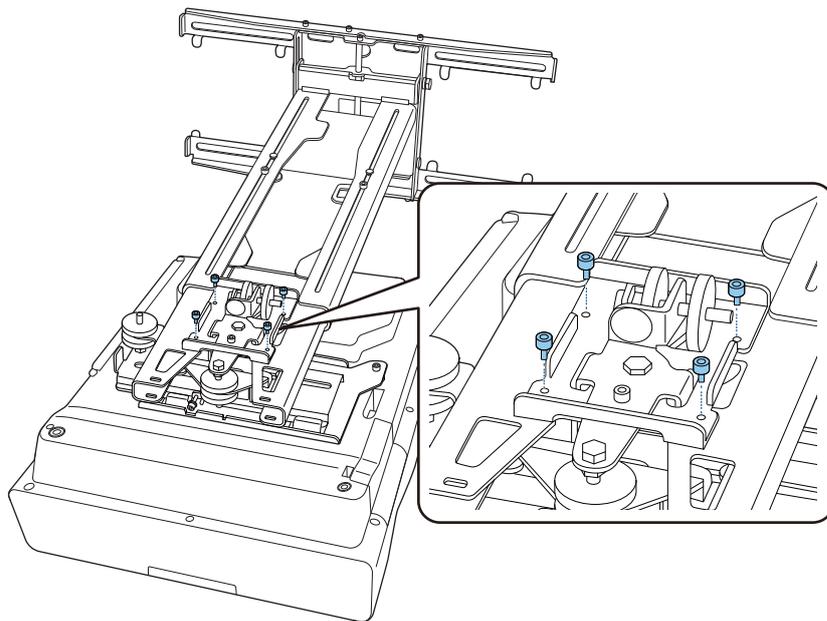
- 90型未満の画面を投写する場合：○の箇所に取り付けます。



- 90型以上の画面を投写する場合：○○の箇所に取り付けます。



- 2 同梱のM4 x 12mmボルト（4本）で、調整ユニットをセッティングプレートに固定する

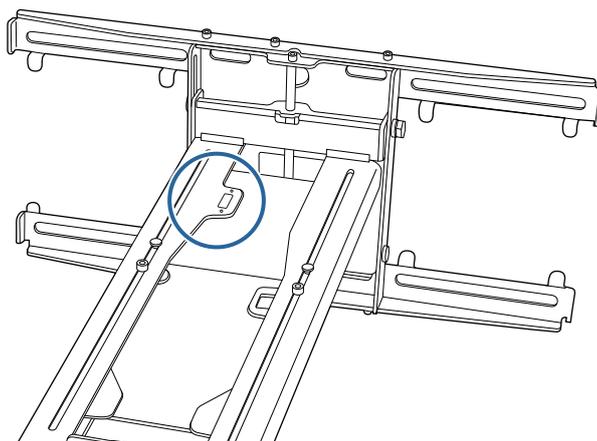


- 3 ケーブル類をプロジェクターに接続する  
電源コードは最後に接続してください。

## ■ 周辺機器を取り付ける

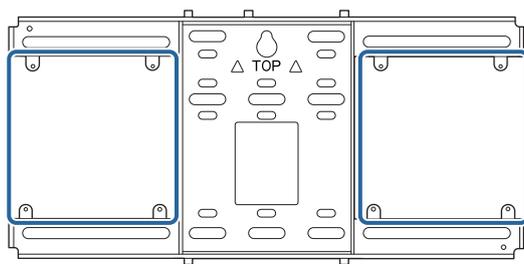
### スイッチャーやチューナーを取り付ける

スイッチャーやチューナーは、下図のネジ穴に市販のM4ネジで固定します。



### ミニPC・スティックPCを取り付ける

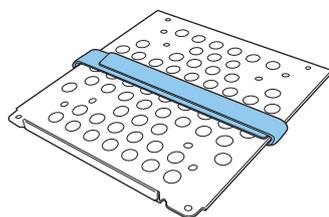
ミニPC・スティックPCは、ミニPC用プレートに取り付けてウォールプレートの左右いずれかに固定します。



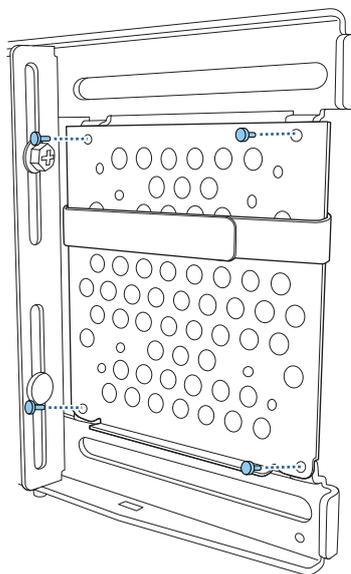
PCの吸排気口をふさがらない向きで取り付けてください。  
上側に排気口、下側に吸気口が来るように設置することをお勧めします。

## ミニPC用ベルトで固定する場合

### 1 ミニPC用プレートにベルトを巻きつける

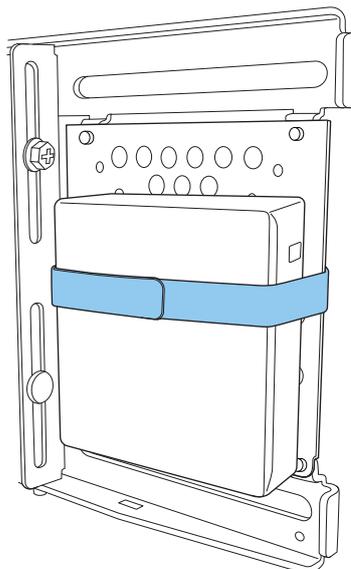


### 2 同梱のM3x6mmネジ（4本）を使って、ミニPC用プレートをウォールプレートに固定する



3

ミニPC用プレートの下側の突起にPC本体をのせて、ベルトで固定する

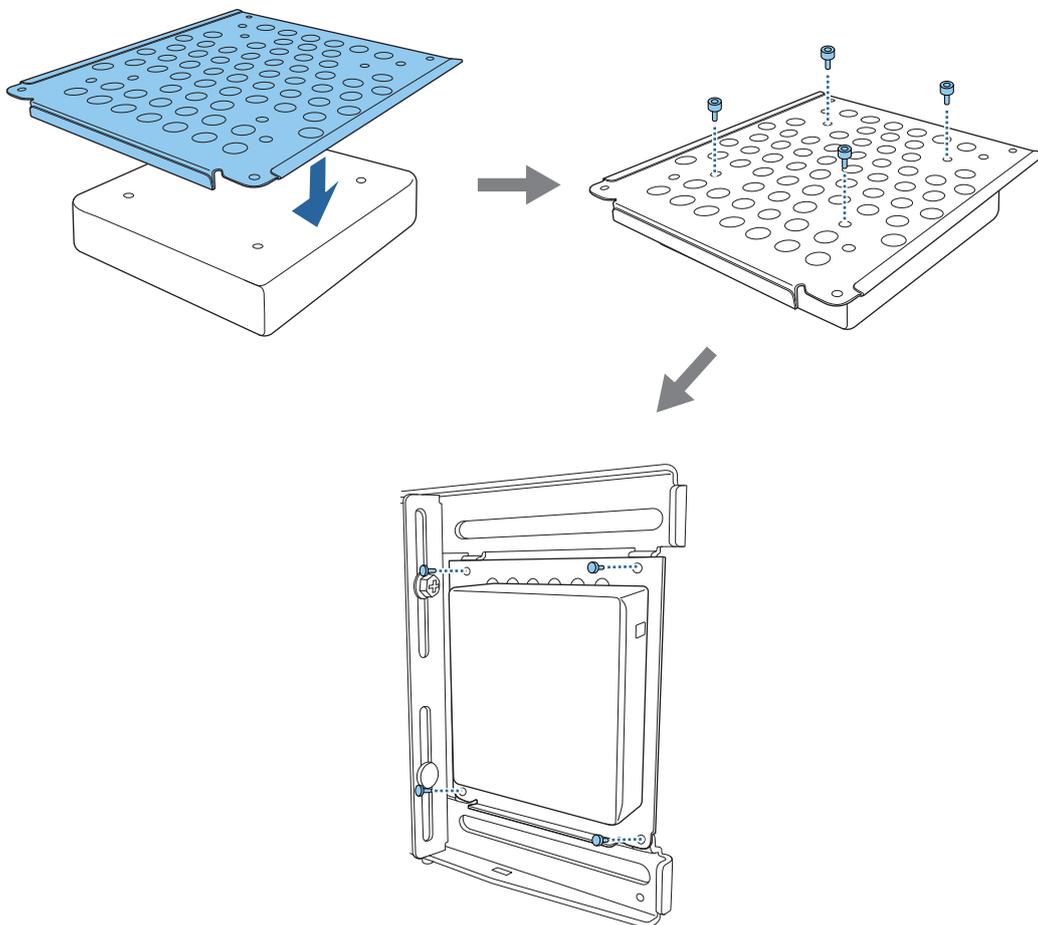


### ネジで固定する場合

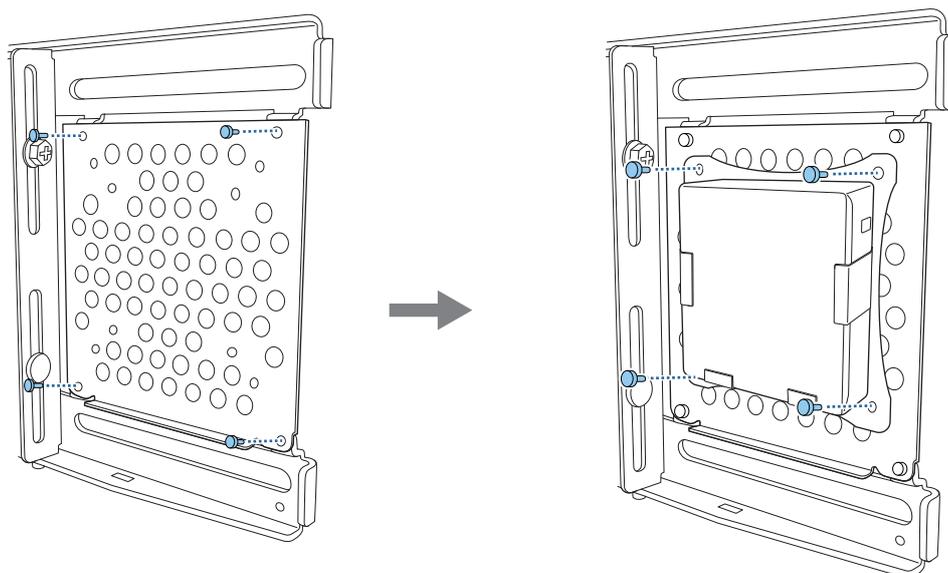
お使いのミニPCの形状やネジ穴の向きによって、取り付ける順番が異なります。事前に取り付け手順をご確認ください。

### 取り付け例

- PCを取り付けたミニPC用プレートを、同梱のM3x6mmネジ（4本）を使ってウォールプレートに固定する



- 同梱のM3x6mmネジ（4本）を使ってウォールプレートにミニPC用プレートを固定してから、PCを取り付ける



## 投写映像の位置調整

投写映像の位置調整は、下記のいずれかの方法で行います。

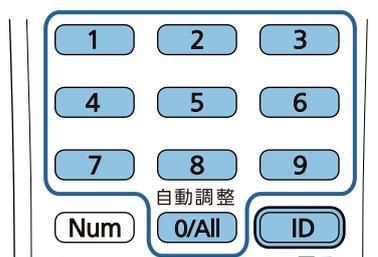


同じ部屋に複数台のプロジェクターを設置しているときは、リモコンの干渉を防ぐためにプロジェクターIDを設定することをお勧めします。

プロジェクターの電源をオンにして、[設置] - [プロジェクターID] でプロジェクターにID番号を設定します。

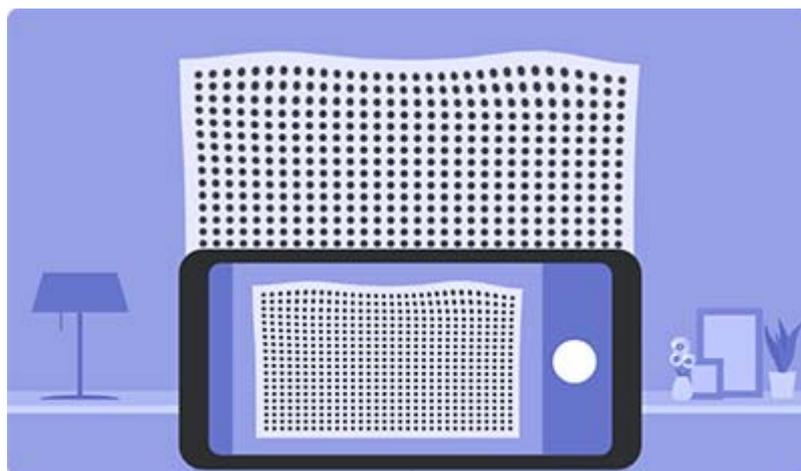
(EB-770Fiをお使いの場合は、[マルチプロジェクション] - [プロジェクターID] から設定します。)

対象のプロジェクターを操作するときは、リモコンの【ID】ボタンを押したまま、対象のプロジェクターのIDと同じ数字のボタンを押します。



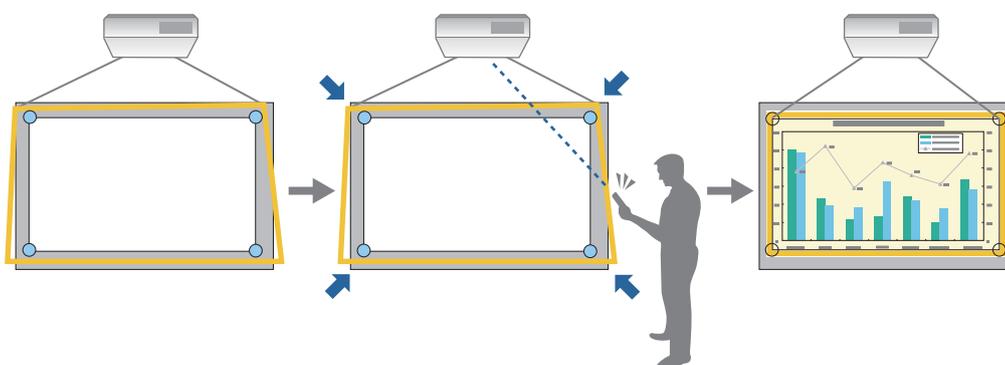
- Epson Setting Assistantによる調整 ( p.70)

Epson Setting Assistantを使用して投写位置を調整します。Epson Setting Assistantアプリをインストールしてご使用ください。アプリのインストールは、初期設定ウィザードの投写画面に表示されるQRコードからダウンロードできます。



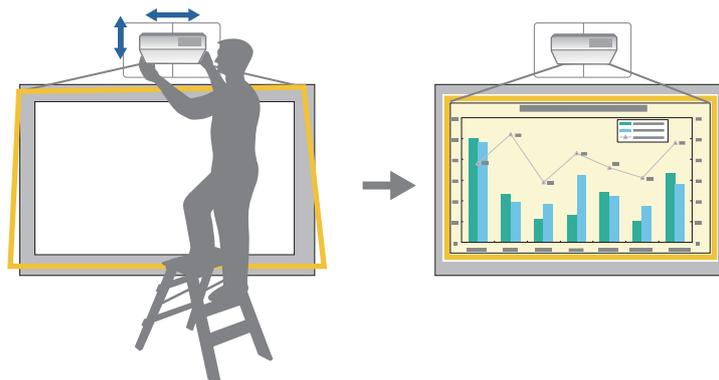
- 自動画面調整 ( p.72)

投写する位置の四隅にコーナーマーカー（プロジェクターに同梱）を貼りつけて、映像の位置を自動で調整します。指定の位置に大まかに合わせて調整したいときに便利です。



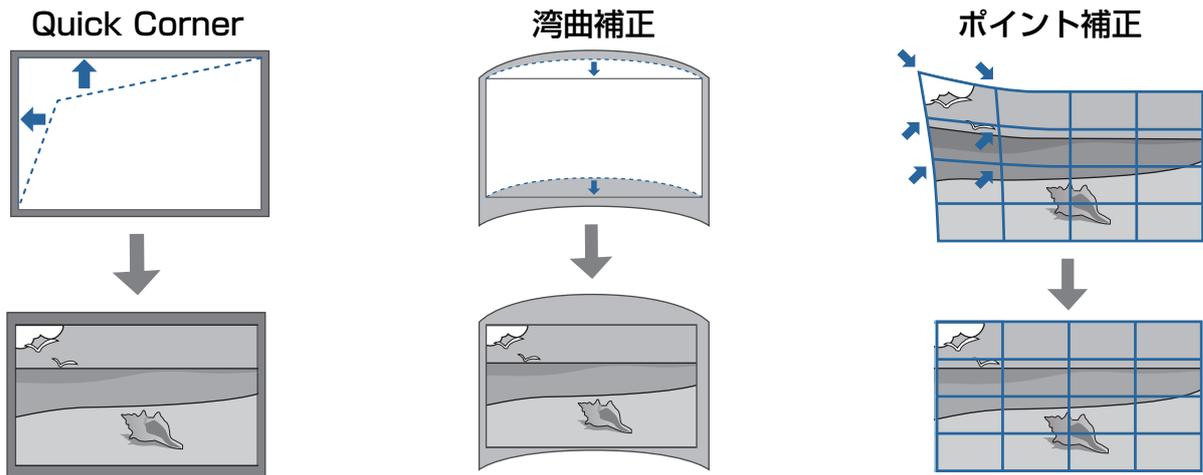
- セッティングプレート調整ガイドによる調整 ( p.76)

表示されるガイド画面に合わせて、金具の位置を手動で調整します。画質を維持したままで投写位置を細かく調整したいときに便利です。



- プロジェクターメニューによる調整 ( p.79)

調整したいエリアを選択して、手動で映像を補正します。設置ガイドで調整を行った後、投写位置を微調整するとき便利です。



- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写開始後、30分以上経ってから映像の調整を行ってください。
- プロジェクターの設置・調整は、実際の使用環境に近い室温で行ってください。温度が変化すると、映像の位置がずれたりペンの精度が悪化したりする可能性があります。
- 本機を2台以上設置する場合に、一括設定機能を使って設定を行うときは、投写画面を調整する前に行ってください。
- 映像の画質を維持するためには、金具の位置を動かして映像を調整することをお勧めします。

## ■ 調整前の準備

最初に本機の電源を入れたときには、初期設定ウィザードが表示されます。

上下左右ボタンと【Enter】ボタンを使って、[設置モード]、[言語]、[日付&時刻]、[スクリーンタイプ] を設定してください。その後、映像の位置調整の方法を選択します。

## ■ Epson Setting Assistantによる調整

Epson Setting Assistantアプリの画面に従って操作することで映像の位置を自動で調整します。

初期設定ウィザードの[映像の位置を調整します]で[アプリを使って自動で調整する]を選択して、[幾何学歪み補正ウィザード]に進んでください。

調整するときには以下の点について注意してください。

### 全体の注意事項

- プロジェクターのファームウェアが最新であること



プロジェクターの機種によっては、ファームウェアのアップデートが必要です。

- アプリとの接続が切断されるため、アプリ利用中はプロジェクターのリモコンを操作しないこと
- 補正した結果が初期化されるため、[スクリーンタイプ]を変更したり、[スクリーン位置]を調整したりしないこと
- 湾曲補正以外の補正方法と組み合わせて使用しないこと

### 投写面の注意事項

- 投写面に模様や汚れ、障害物がないこと

- 黒板やホワイトボードに投写する場合は、消し忘れや汚れがないこと
- 設置面にそりや歪みがなく平らで、表面の凹凸が5mm以下であること
- 曲面や極端な凹凸、ざらざらした質感でないこと
- 照明などの映り込みがないこと
- プロジェクタースクリーンに投写する場合は、枠にゆがみがないこと

### 投写方法の注意事項

- リアスクリーンの裏側から映像を左右反転して投写する、リア設置モードではないこと
- プロジェクターを縦に設置する、縦置き設置ではないこと

### 投写映像の注意事項

- 投写したい領域より大きく投写すること

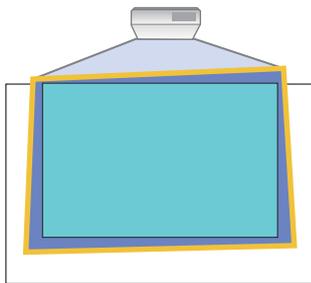


自動調整後は画像が少し小さくなります。

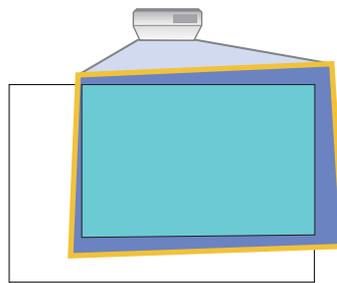
- 合わせたい枠より大きく投写すること

投写映像をプロジェクタースクリーンや黒板、ホワイトボードなどの枠と合わせたいときは、投写映像が合わせたい枠の上下左右のいずれか1辺以上の外側まで投写されるように設置してください。

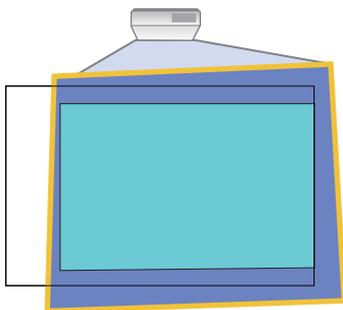
1辺を合わせたい場合



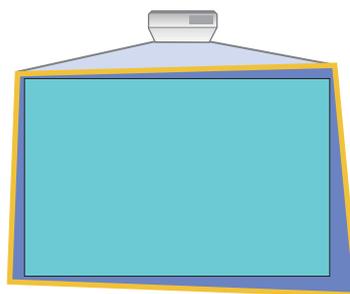
2辺を合わせたい場合



3辺を合わせたい場合

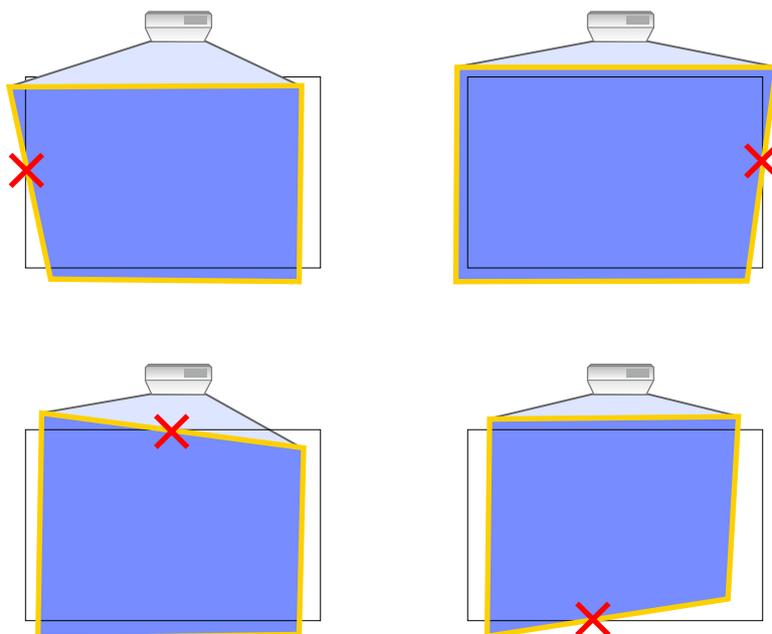


4辺を合わせたい場合



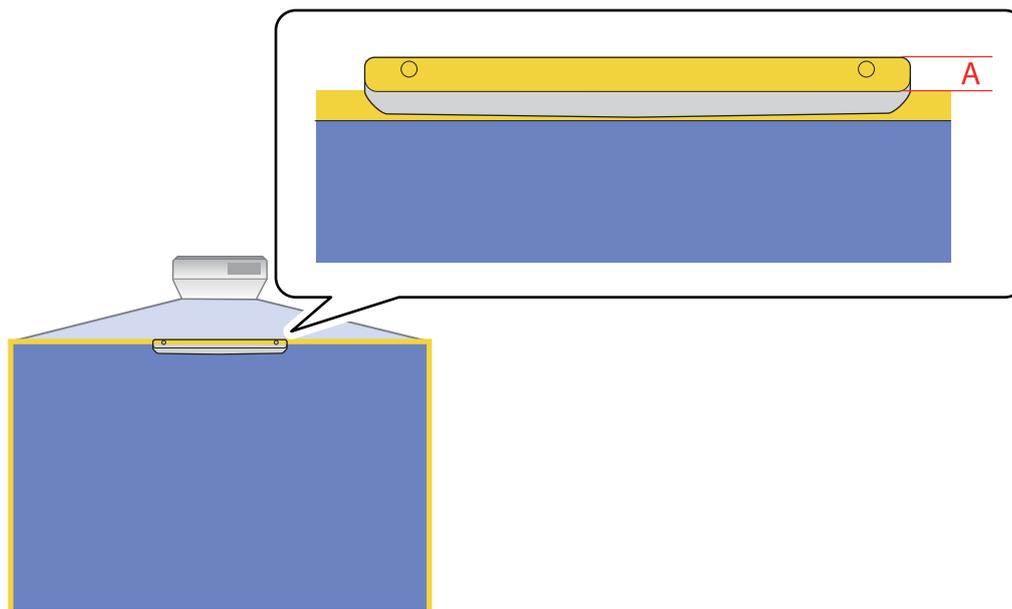
- 映像が枠と交差しないように投写すること

投写映像とプロジェクタースクリーンや黒板、ホワイトボードの上辺と上側の枠、左辺と左側の枠などのように、対応する投写映像の辺と物理的な枠が交差していないことを確認してください。



• 設置済みのタッチユニットを使う場合

プロジェクターの置き換え設置でタッチユニットを接続し直して使う場合、タッチユニットが投写映像の内側にあるときは、プロジェクターの初期設定ウィザードで表示される投写映像の黄色の線がタッチユニットに重なるようにしてください。(図のA内を目安)



■ 自動画面調整

投写する位置の四隅にコーナーマーカー（プロジェクターに同梱）を貼りつけて、映像の位置を自動で調整します。

自動画面調整が正しく動作する条件は以下のとおりです。

- 投写サイズ：100インチ以下
- プロジェクターの設置角度：上下左右 $\pm 1^\circ$ 以内

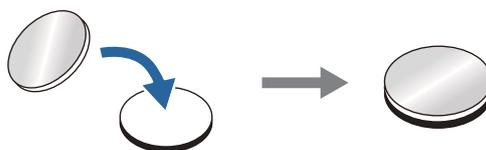


- 投写面の状態によっては、自動画面調整がうまく動作しないことがあります。自動画面調整を行うために必要な条件は以下のとおりです。
  - 投写面が平らであること
  - 投写面に模様や汚れ、障害物がないこと
- 事前にスクリーンタイプを正しく設定してください。自動画面調整を実行したあとにスクリーンタイプを変更すると、補正前の状態に戻ります。

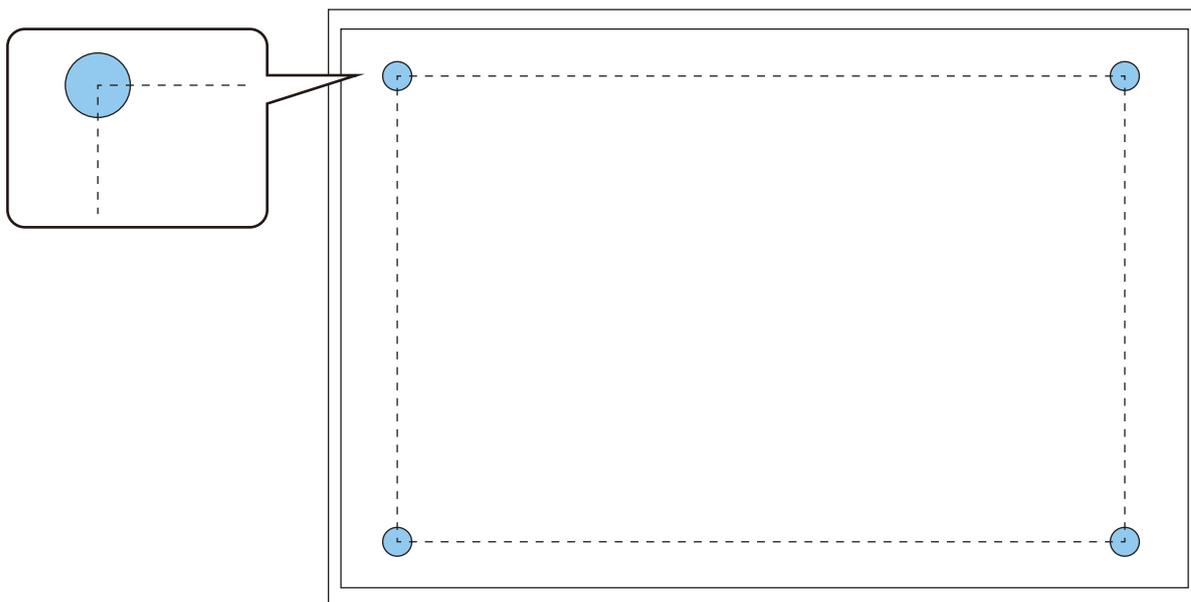
## 1 投写したい位置の四隅に、プロジェクターに同梱のコーナーマーカを貼りつける



- コーナーマーカは貼り直しできません。貼りつける位置に事前に印をつけておくことをお勧めします。
- 貼り直しが必要な場合は、プロジェクターに同梱のマグネットシートにコーナーマーカを貼りつけてお使いください。

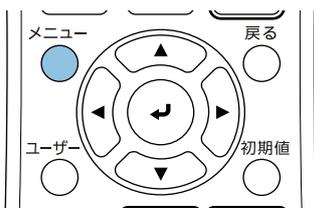


投写位置の角がコーナーマーカの中心に重なるように貼りつけます。

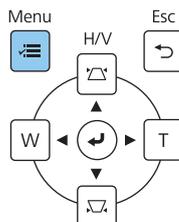


## 2 【メニュー】 ボタンを押す

リモコンの場合



操作パネルの場合

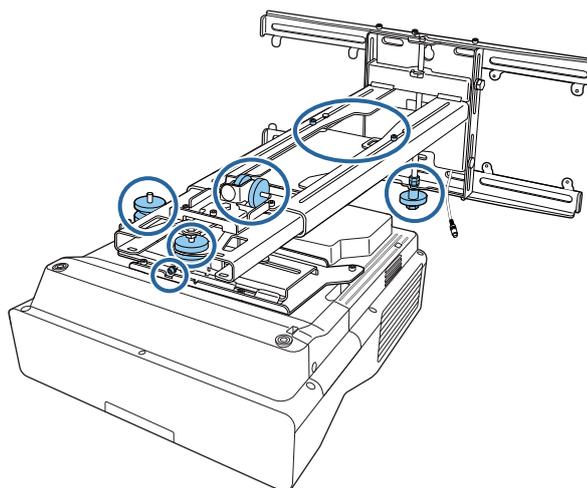


3 [設置] メニューの [自動画面調整] を選択する

よく使う項目	設定	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設定	セッティングプレート調整ガ...	
表示	縦置き	しない
動作	設置モード	フロント・上下反転
管理	自動画面調整	
ネットワーク	幾何学歪み補正	ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード	
インタラクティブ	Setting Assistant接続	
マルチプロジェクション	デジタルズーム	▼
メモリー	ELPCB02を接続する	オフ
節電	タッチユニット	
初期・全体設定	リモコン受光部	オフ
	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	

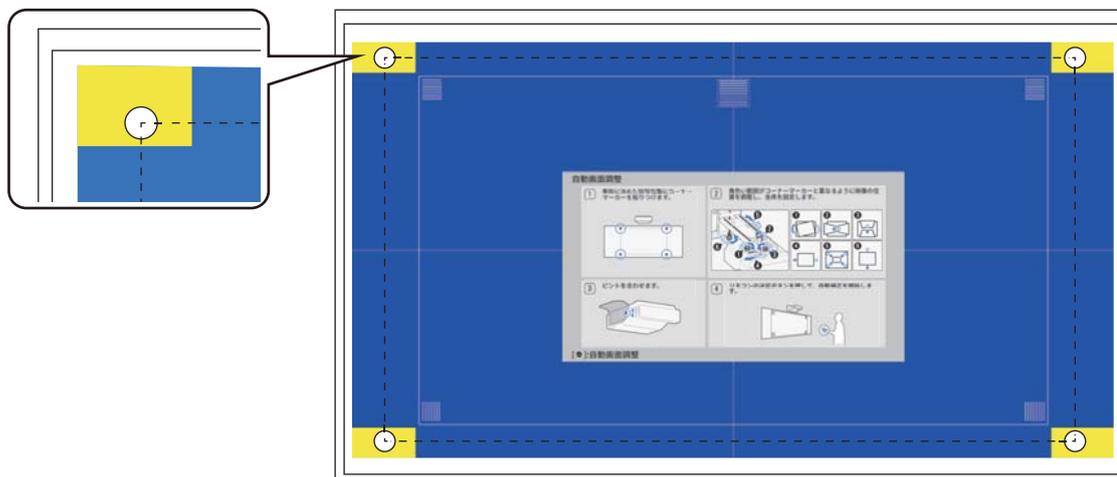
自動画面調整のガイド画面が表示されます。

4 すべての調整ダイヤル・調整ネジを緩める



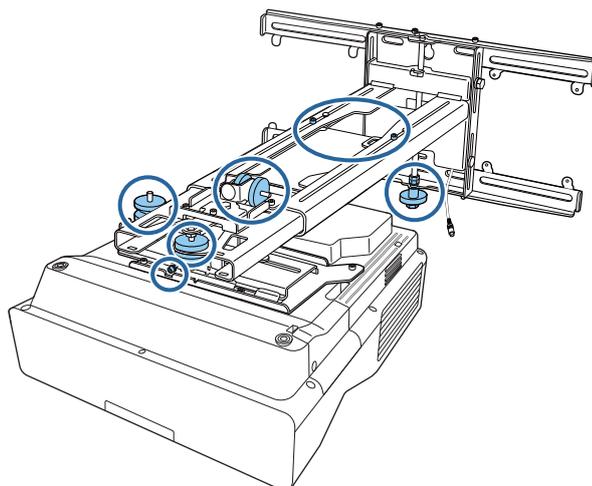
5 プロジェクターを動かして、ガイド画面の四隅にある黄色いエリアがコーナーマーカーに重なるように映像の位置を調整する

すべてのコーナーマーカーが黄色いエリアの中に収まっていることを確認してください。



6

位置が決まったら、手順4で緩めた調整ダイヤル・調整ネジを全て締める

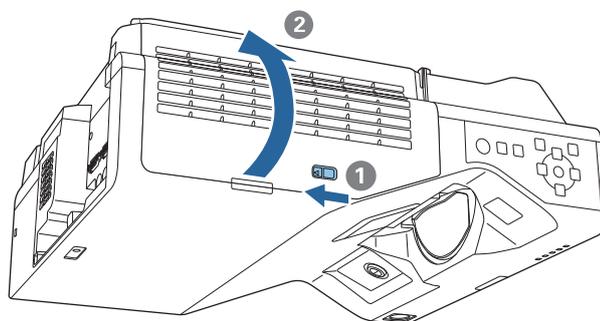


 警告

すべてのボルトやネジを完全に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。

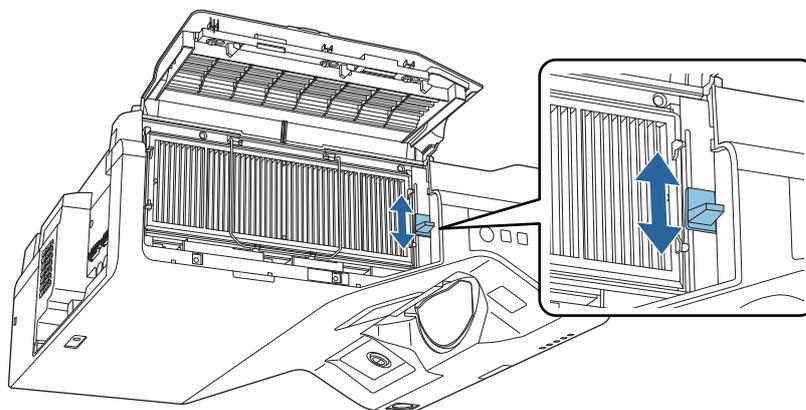
7

プロジェクターの側面にあるエアフィルターカバーを開ける



8

フォーカスレバーで大まかにピントを合わせる



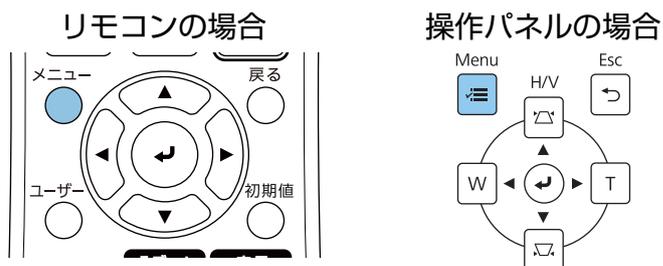
**9 【決定】 ボタンを押して、自動調整を開始する**

自動調整が終わったあと、さらに微調整を行う場合はQuick Corner ( p.81 ) をお使いください。湾曲補正やポイント補正を使うと、映像が自動補正前の状態に戻ります。

**■ セッティングプレート調整ガイドを使った手動調整**

ガイド画面に従って、映像の位置を調整します。

**1 【メニュー】 ボタンを押す**

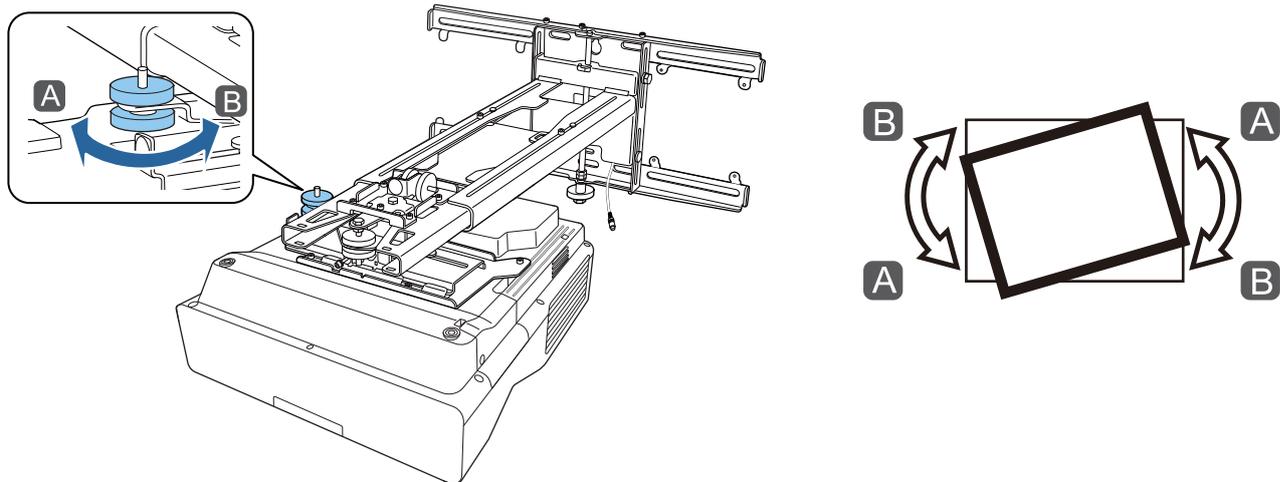


**2 【設置】 メニューの [セッティングプレート調整ガイド] を選択する**

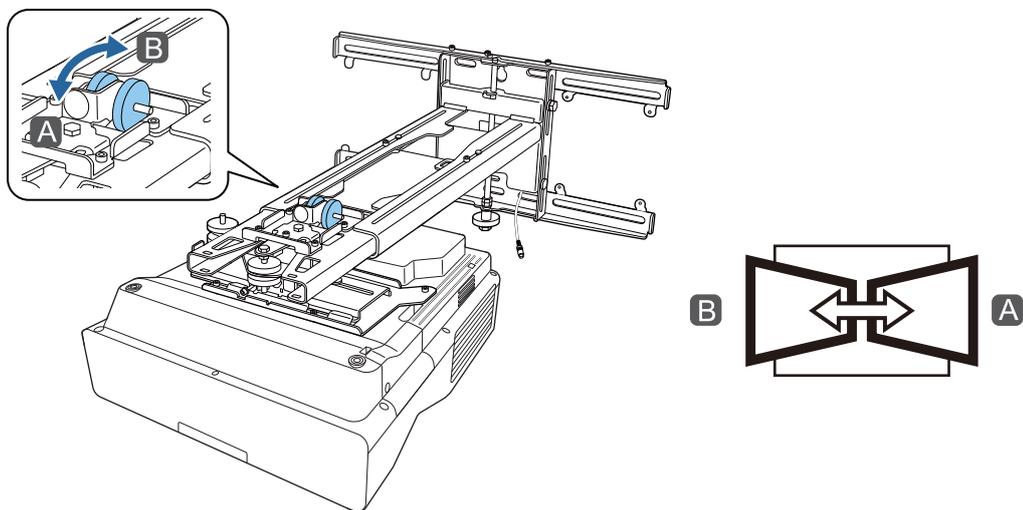
よく使う項目	設定
映像調整	固定設定 オフ
信号入出力	テストパターン
設定	セッティングプレート調整ガ...
表示	縦置き しない
動作	設置モード フロント・上下反転
管理	自動画面調整
ネットワーク	幾何学歪み補正 ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード
インタラクティブ	Setting Assistant接続
マルチプロジェクション	デジタルズーム
メモリー	ELPCB02を接続する オフ
節電	タッチユニット
初期・全体設定	リモコン受光部 オフ
	スクリーンタイプ 16:9
	高地モード オフ
	設置初期化
	表示

ガイド画面が表示されます。

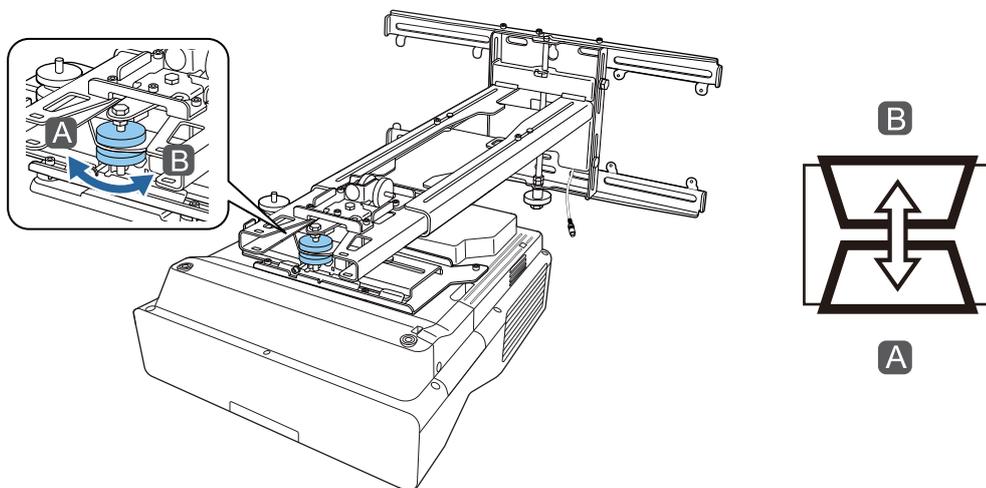
3 設置ガイド内 ① のダイヤルを回して水平ロールを調整する



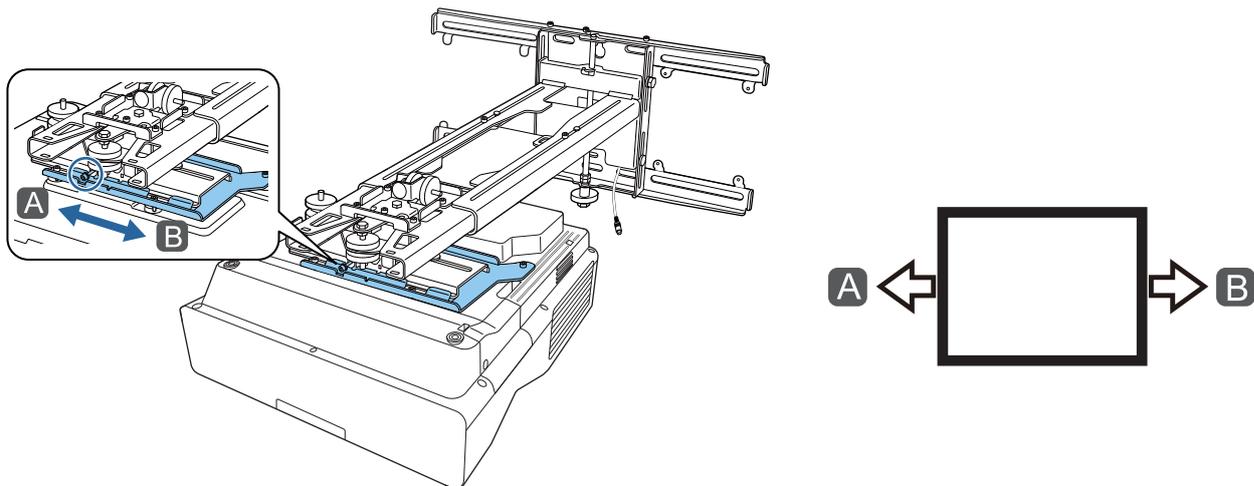
4 設置ガイド内 ② のダイヤルを回して水平回転を調整する



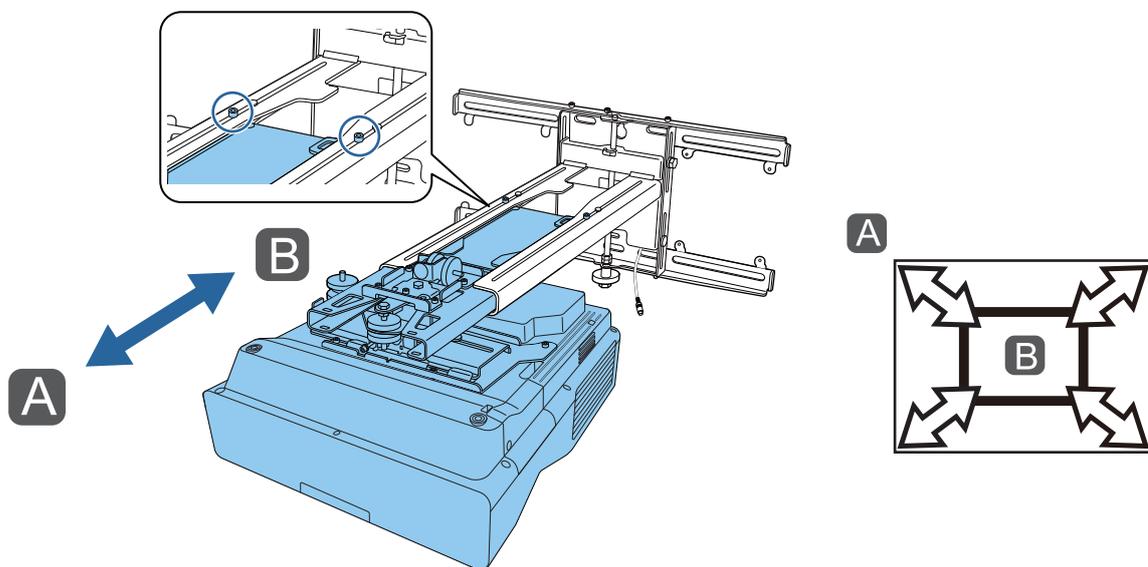
5 設置ガイド内 ③ のダイヤルを回して上下チルトを調整する



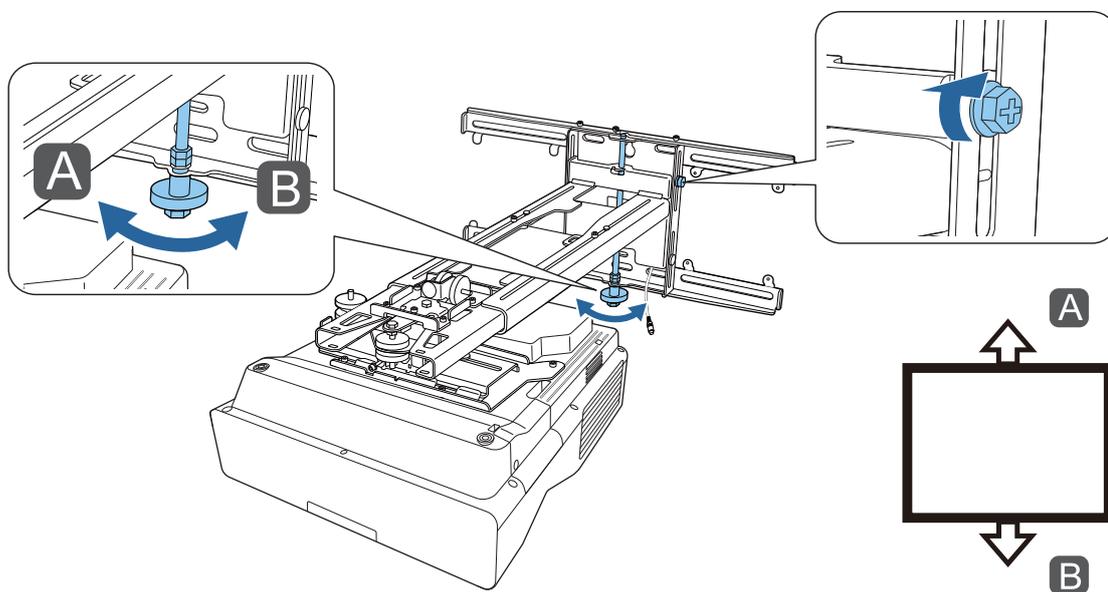
6 M4ボルトを緩めてから、水平スライドを調整する



7 M4ボルト (2本) を緩めてから、前後スライドを調整する



8 M6ボルトを緩めてから、上下スライドを調整する

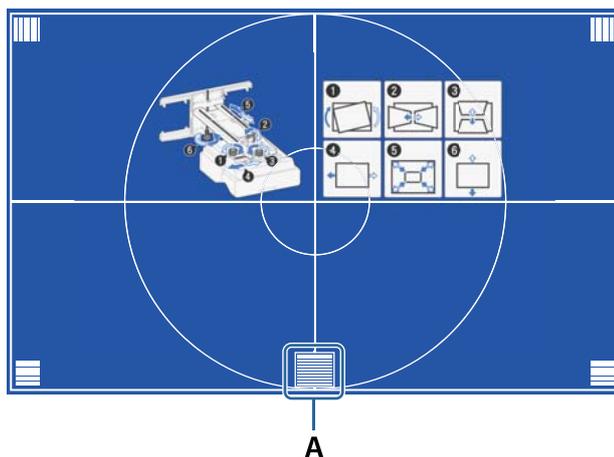


9 手順3から手順8で緩めたネジやボルトを締め直す

 警告

すべてのボルトやネジを完全に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。

10 下図Aのピントが合うようにフォーカスを調整する



11 調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して、ガイド画面を消す

■ プロジェクターメニューを使った調整

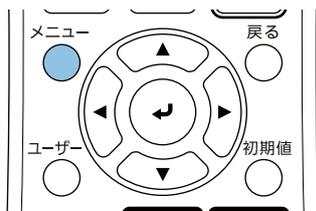


- 調整した値は、[幾何学歪み補正] メニューの [メモリー] から保存できます。
- 事前にスクリーンタイプを正しく設定してください。補正を行ったあとにスクリーンタイプを変更すると、補正前の状態に戻ります。

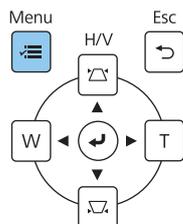
湾曲補正

1 【メニュー】ボタンを押す

リモコンの場合



操作パネルの場合



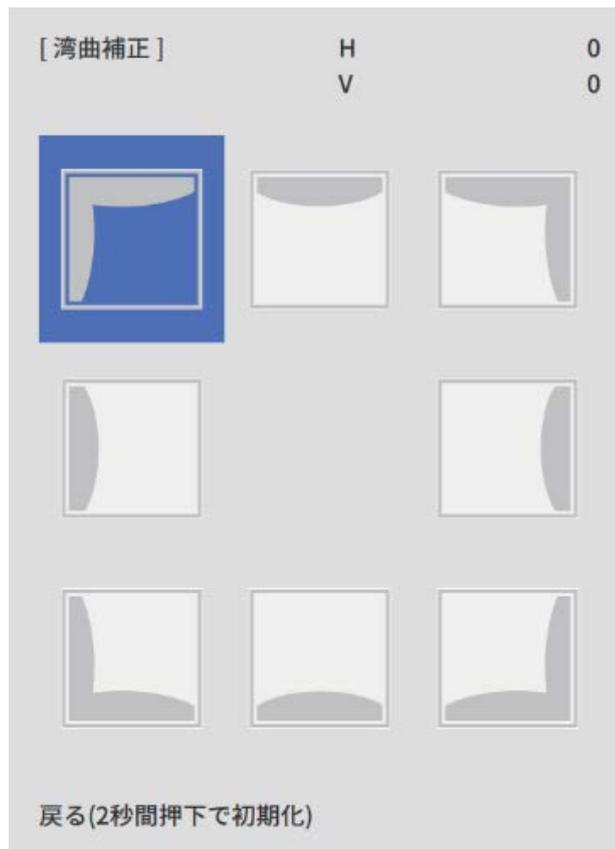
2 [設置] メニューの [幾何学歪み補正] を選択する

よく使う項目	設定	
映像調整	固定設定	オフ
信号入出力	テストパターン	
設定	セッティングプレート調整が…	
表示	縦置き	しない
動作	設置モード	フロント・上下反転
管理	自動画面調整	
ネットワーク	幾何学歪み補正	ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード	
インタラクティブ	Setting Assistant接続	
マルチプロジェクション	デジタルズーム	▼
メモリー	ELPCB02を接続する	オフ
節電	タッチユニット	
初期・全体設定	リモコン受光部	オフ
	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	

3 [湾曲補正] を選択する

[幾何学歪み補正]	戻る
タテヨコ台形補正	
Quick Corner	
✓ 湾曲補正	
ポイント補正	
アプリで自動補正	
メモリー	

4 補正する辺を選択して調整する

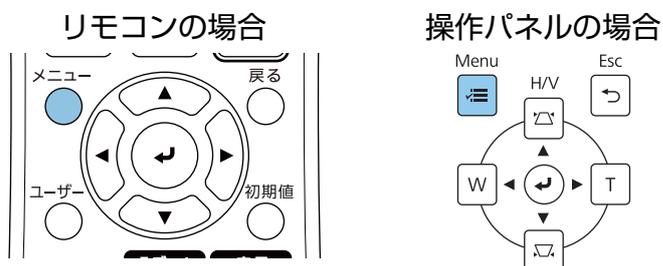


調整できない範囲に達したときは、「これ以上調整できません。」というメッセージが表示されます。

5 調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して終了する

Quick Corner

1 【メニュー】ボタンを押す



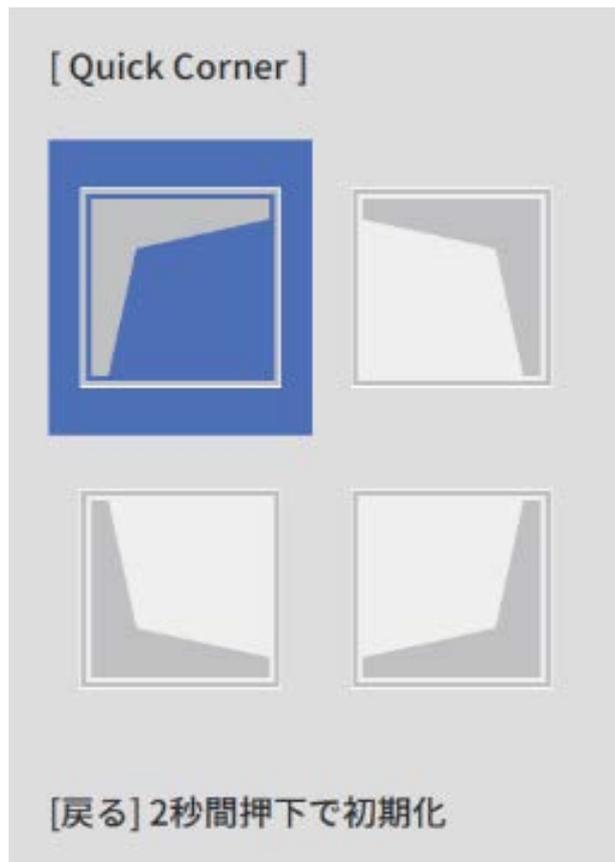
2 [設置] メニューの [幾何学歪み補正] を選択する

よく使う項目	設定	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設定	セッティングプレート調整が…	
表示	縦置き	しない
動作	設置モード	フロント・上下反転
管理	自動画面調整	
ネットワーク	幾何学歪み補正	ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード	
インタラクティブ	Setting Assistant接続	
マルチプロジェクション	デジタルズーム	▼
メモリー	ELPCB02を接続する	オフ
節電	タッチユニット	
初期・全体設定	リモコン受光部	オフ
	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	

3 [Quick Corner] を選択する

[幾何学歪み補正]	戻る
タテヨコ台形補正	
✓ Quick Corner	
湾曲補正	
ポイント補正	
アプリで自動補正	
メモリー	

4 補正する辺を選択して調整する



調整できない範囲に達したときは、[これ以上調整できません。] というメッセージが表示されます。

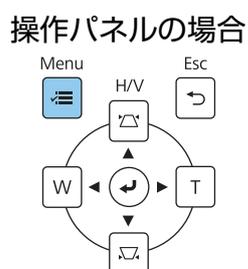
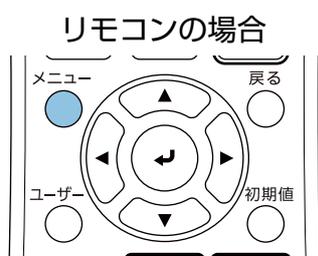


辺の調整中、リモコンの【1】【3】【7】【9】ボタンで補正する辺を切り替えられます。

5 調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して終了する

ポイント補正

1 【メニュー】ボタンを押す



2 [設置] メニューの [幾何学歪み補正] を選択する

よく使う項目	設定	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設定	セッティングプレート調整が…	
表示	縦置き	しない
動作	設置モード	フロント・上下反転
管理	自動画面調整	
ネットワーク	幾何学歪み補正	ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード	
インタラクティブ	Setting Assistant接続	
マルチプロジェクション	デジタルズーム	▼
メモリー	ELPCB02を接続する	オフ
節電	タッチユニット	
初期・全体設定	リモコン受光部	オフ
	スクリーンタイプ	16:9
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	

3 [ポイント補正] を選択する

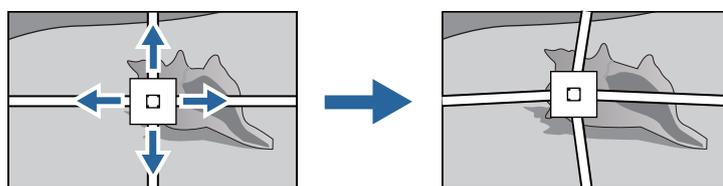
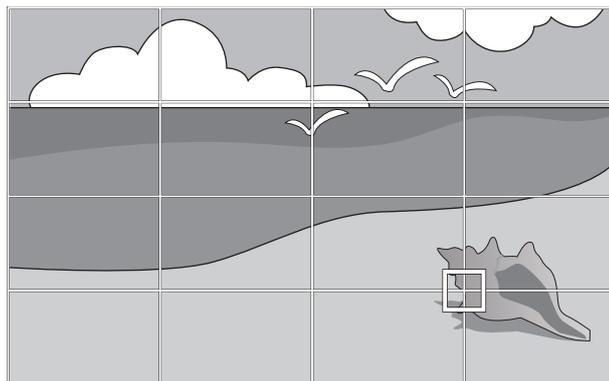
[ 幾何学歪み補正 ]	戻る
タテヨコ台形補正	
Quick Corner	
湾曲補正	
✓ ポイント補正	
アプリで自動補正	
メモリー	

4 [ポイント(タテ)] および [ポイント(ヨコ)] を選択して、グリッド数を設定する

[ポイント(タテ)]	戻る
3	
5	
✓ 9	
17	
33	

[ポイント(ヨコ)]	戻る
3	
5	
✓ 9	
17	
33	

5 補正するポイントを選択して調整する

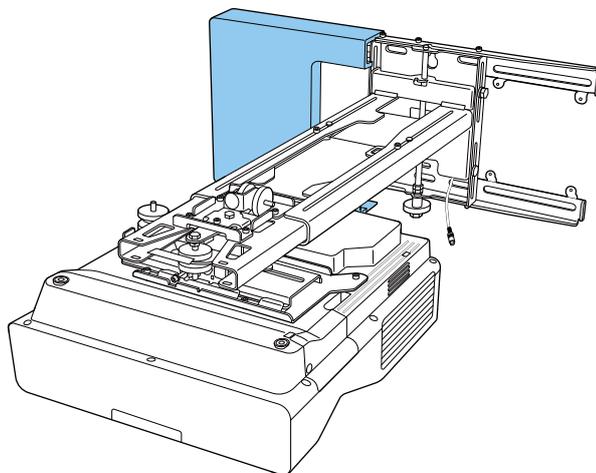


 グリッドが見えにくいときは、[パターン色] でグリッドの色を変更します。

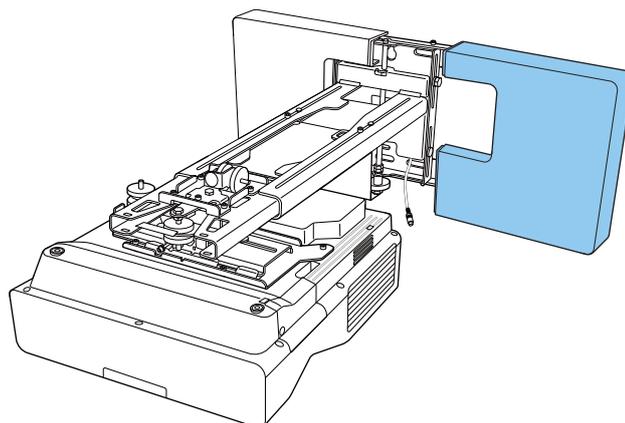
6 調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して終了する

## カバーの取り付け

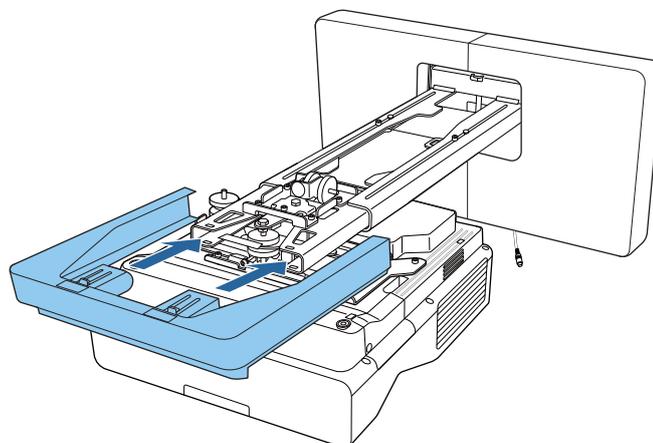
1 左側のウォールプレートカバーを取り付ける



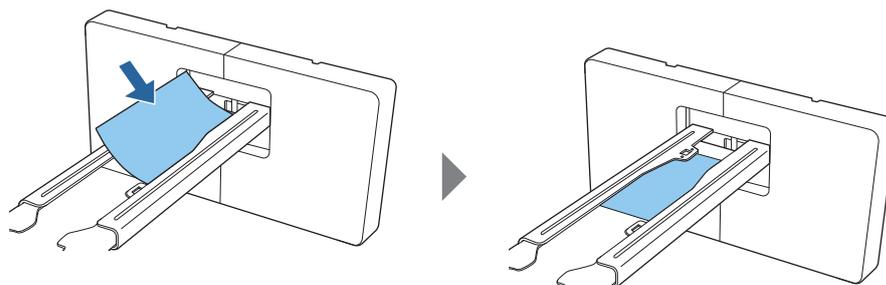
2 右側のウォールプレートカバーを取り付ける



3 エンドキャップをセッティングプレートにはめ込む



アームの空洞が気になるときは、同梱の目隠しシールを貼り付けてください。

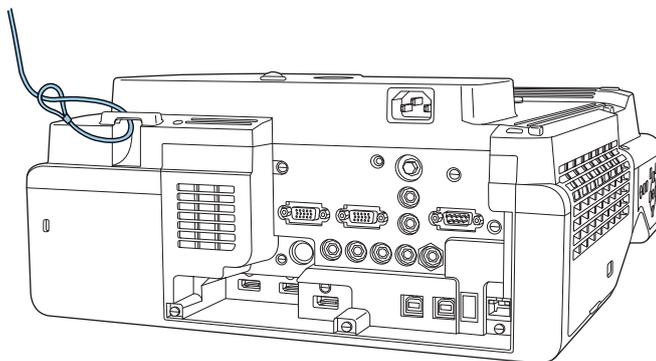


## セキュリティーケーブルの取り付け

必要に応じて、以下のいずれかの方法でセキュリティー対策を行ってください。

- 市販の盗難防止用ワイヤーロックを取り付ける

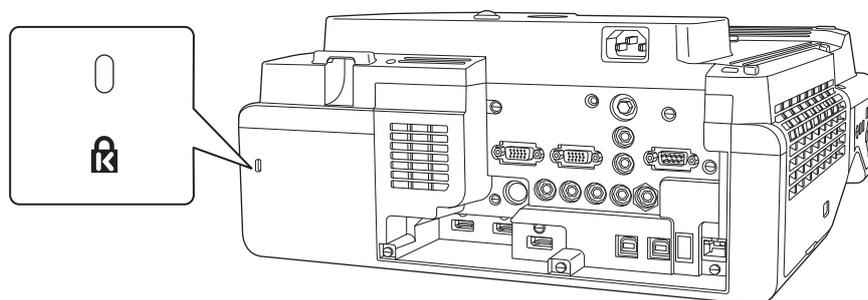
プロジェクターとセッティングプレートそれぞれのセキュリティーケーブル取り付け部にワイヤーを通して施錠してください。



- Kensington社製のセキュリティーワイヤーを取り付ける

Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティーロットが搭載されています。マイクロサーバーセキュリティーシステムについての詳細は、以下をご覧ください。

<http://www.kensington.com/>



## ペンスタンドに関するご注意

### 警告

心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、ペンスタンドに近づかないでください。また、ペンスタンドを取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。

マグネットの磁力が強力なため電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。



### 注意

磁気カードなどの磁気記憶媒体や、コンピューター、電子腕時計、携帯電話などの精密電子機器をペンスタンドに近づけないでください。

マグネットの磁力が強力なためデータの破損や故障の原因となる可能性があります。



ペンスタンド背面のマグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。取り付ける際にマグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようにご注意ください。

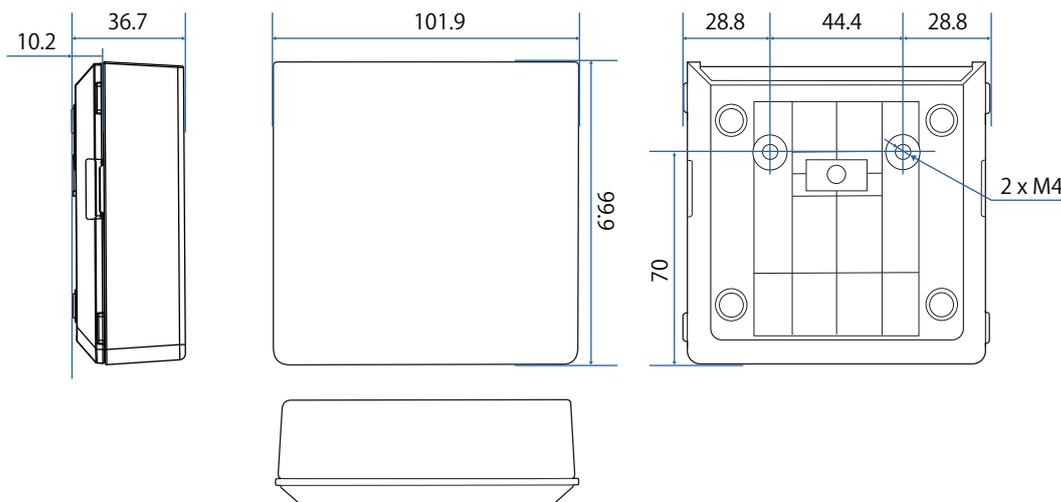


## ペンスタンド仕様

項目	仕様
ペンスタンド質量	約93g

### 外形寸法

[単位 : mm]

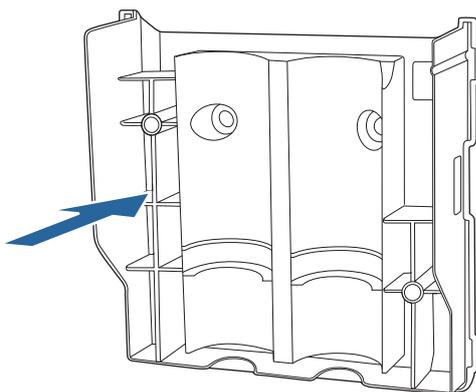


## ペンスタンド取り付け手順

ペンスタンドはマグネットまたは市販のM4ネジで固定します。

### マグネットで固定する場合

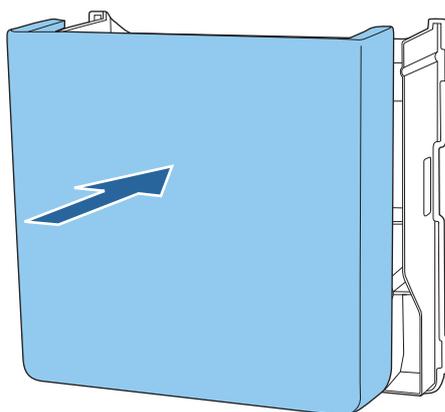
- 1 取り付け位置を確認して、マグネットで固定する



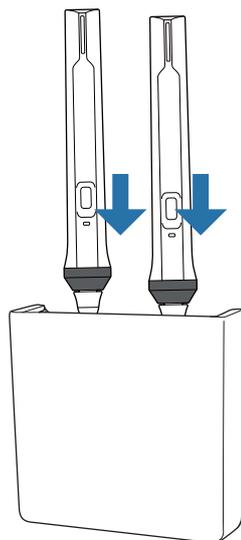
#### ⚠ 注意

マグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。マグネットと設置面の上に指や体の一部をはさまないようにご注意ください。

- 2 カバーを取り付ける

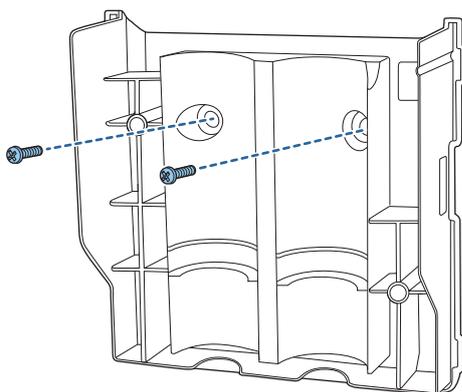


3 インタラクティブペンを収納する



ネジで固定する場合

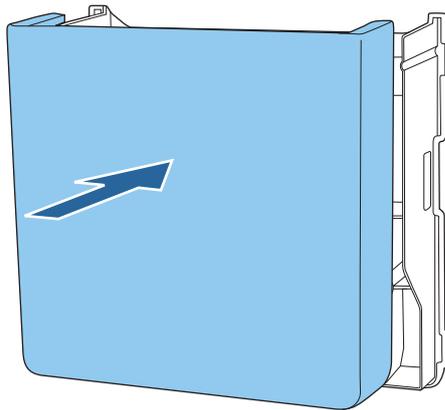
1 取り付け位置を確認して、市販のM4ネジ（20mm×2本）で固定する



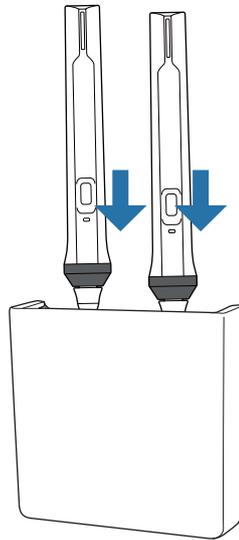
 警告

- 取り付け面に対してネジが斜めにならないように固定してください。
- ペンスタンドが確実に固定されていることを確認してください。

2 カバーを取り付ける



3 インタラクティブペンを収納する



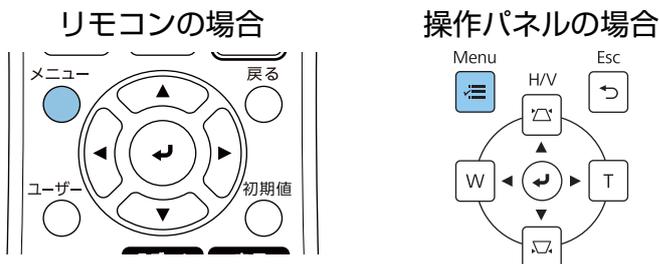
# インタラクティブペンの位置合わせ

ペン位置合わせを行う前に、プロジェクターの映像調整を済ませてください。

ペン位置合わせは、[自動ペン位置合わせ] と [手動ペン位置合わせ] の2つの方法があります。  
 [自動ペン位置合わせ] で位置が合わない場合、[手動ペン位置合わせ] で位置合わせをします。  
 ( p.95)

## 手動ペン位置合わせ

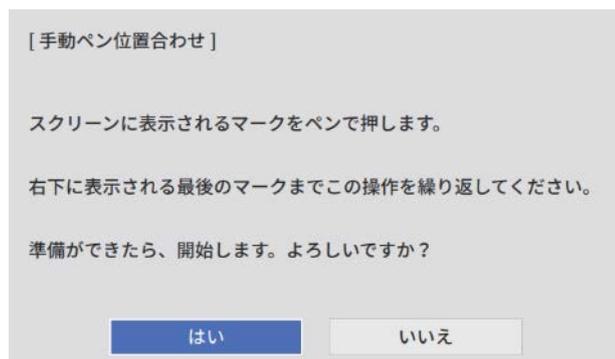
1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】 ボタンを押す



2 [ペン/指タッチ] メニューで [手動ペン位置合わせ] を選択する



3 画面の内容を確認して、[はい] を選択する

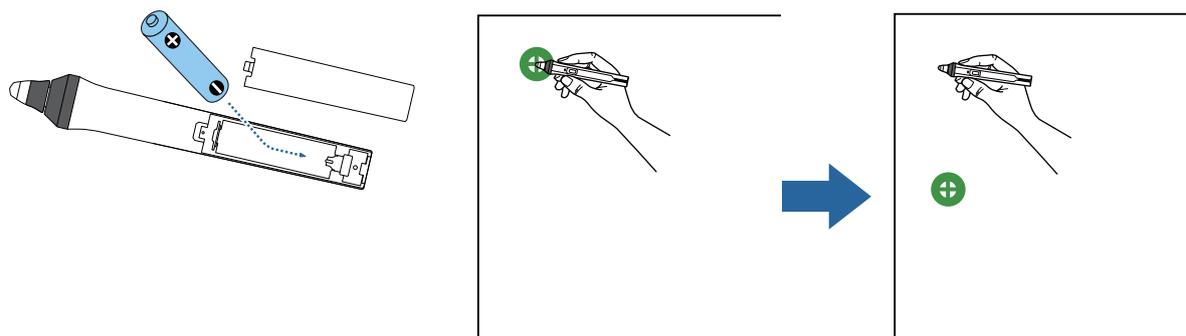


投写画面の左上に緑色のドットが表示されます。

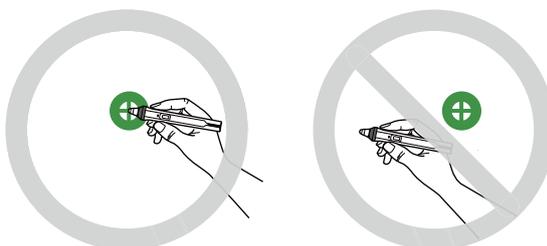
4

ドットを中心をインタラクティブペンのペン先で押す

ドットが消えて次の位置に移動します。



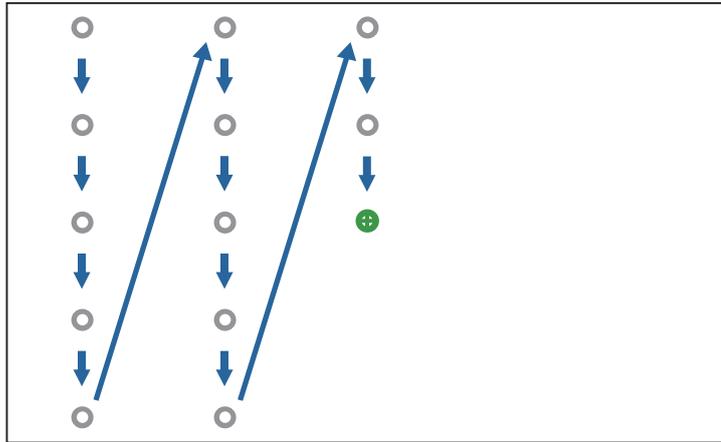
必ずドットを中心を押してください。中心以外を押すと位置ずれの原因となります。



5

すべてのドットが消えるまで、手順4を繰り返す

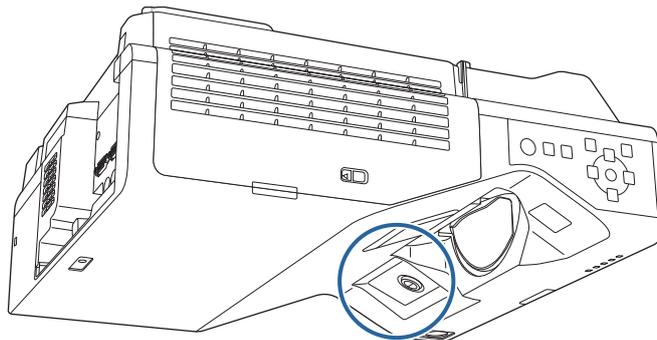
ドットはスクリーンの左上から右下に向かって、順番に表示されます。



すべてのドットが消えると、手動ペン位置合わせが完了します。



- インタラクティブペンとインタラクティブペン受光部（下図）との間に障害物がないことを確認してください。



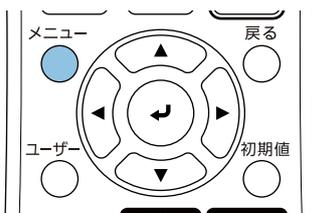
- 押す位置を間違えたときは、リモコンの【戻る】ボタンを押して1つ前のドットに戻ります。
- 中止するときは、【戻る】ボタンを2秒間押し続けます。

自動ペン位置合わせ

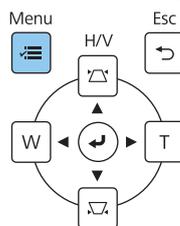
1

プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す

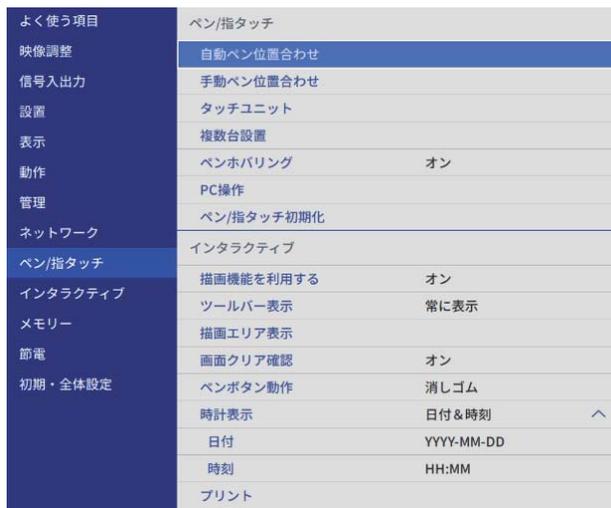
リモコンの場合



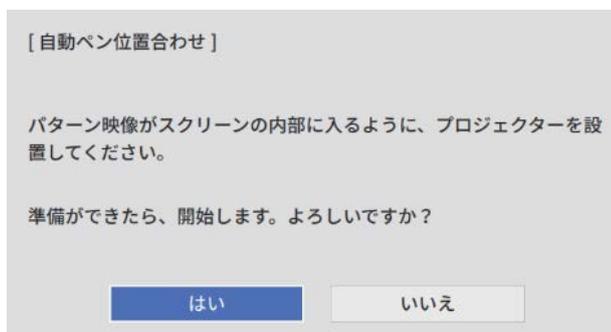
操作パネルの場合



2 [ペン／指タッチ] メニューで [自動ペン位置合わせ] を選択する



3 パターン映像が投写面に収まっていることを確認して、[はい] を選択する



自動的にペン位置合わせが始まります。



自動ペン位置合わせが失敗したときは、画面の指示に従って周辺環境を確認してください。または、[手動ペン位置合わせ] を行ってください。

## ☐ タッチユニットに関するご注意

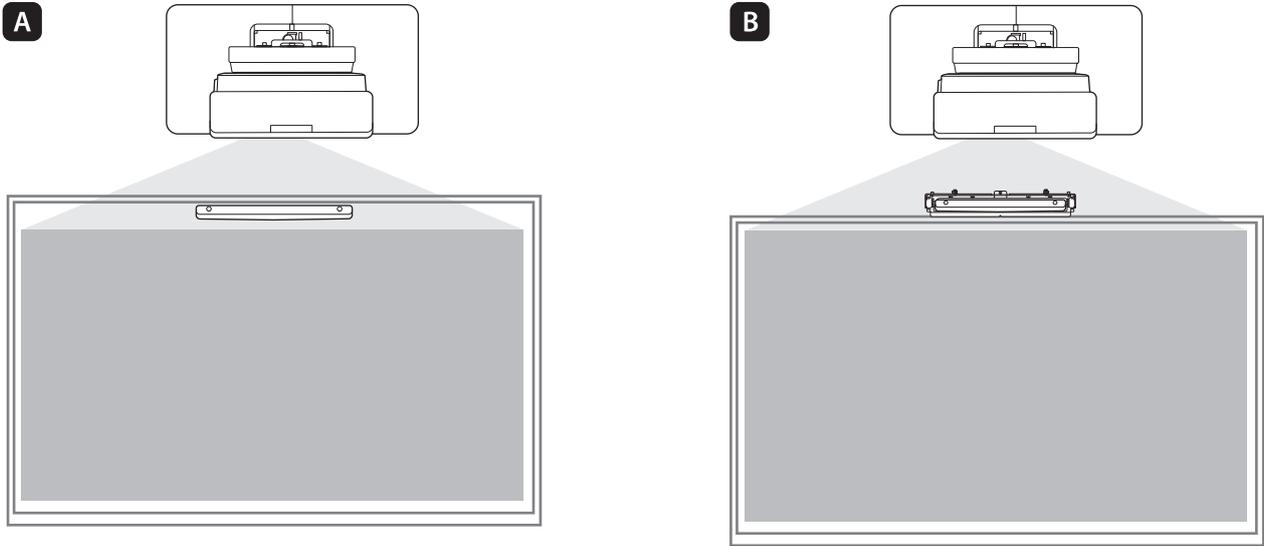
 警告	
<p>タッチユニットの分解・改造は絶対にしないでください。</p> <p>タッチユニットの内部には高出力のレーザー製品が組み込まれており、火災・感電・事故の原因となります。</p>	
<p>タッチユニットをEB-770Fi/EB-760Wi以外のプロジェクターや他の機器に接続しないでください。</p> <p>機器の故障や制限以上のレーザー光が放出される可能性があります。</p>	
<p>心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、タッチユニットに近づかないでください。また、タッチユニットを取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。</p> <p>マグネットの磁力が強力なため電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。</p>	
 注意	
<p>磁気カードなどの磁気記憶媒体や、コンピューター、電子腕時計、携帯電話などの精密電子機器をタッチユニットに近づけないでください。</p> <p>マグネットの磁力が強力なためデータの破損や故障の原因となる可能性があります。</p>	
<p>タッチユニット背面のマグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。取り付ける際にマグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようにご注意ください。</p>	
<p>タッチユニットを廃棄する場合は分解しないでください。</p> <p>国や地域の法令や条例に従って廃棄してください。</p>	

### 電波障害自主規制について

この装置は、一般財団法人VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術機器です。

## □ タッチユニットの設置場所

タッチユニットは取り付け先によって固定方法が異なります。



**A** : タッチユニットを投写面と同じ面に取り付けるときは、マグネット（タッチユニット内蔵）またはネジで固定します。

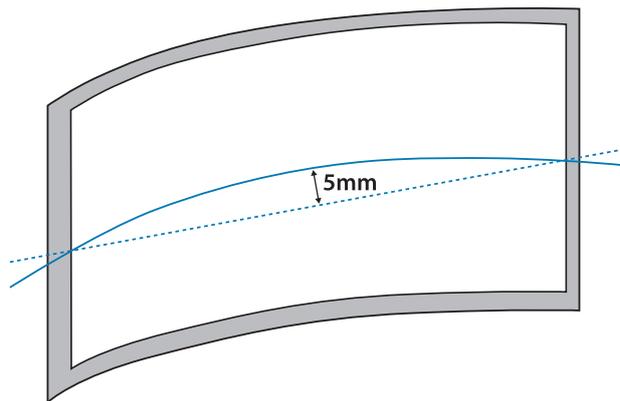
**B** : タッチユニットを投写面と異なる面に取り付けるときは、タッチユニット取り付け金具を使って固定します。

### ⚠ 注意

タッチユニットを使用するときは、スクリーンの正面側に映像を投写してください。リアスクリーンに投写した映像では指タッチ操作できません。



タッチユニットを設置する前に、設置面にそりやゆがみがなく平らで、スクリーン表面の凹凸が5mm以下であることを確認してください。



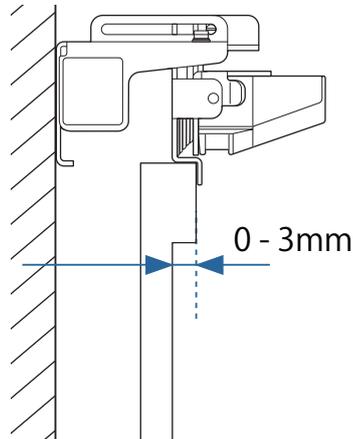
タッチユニット取り付け金具に関するご注意



スクリーンの周りに枠がある場合は、上枠の厚みが3mm以内であることを確認してください。



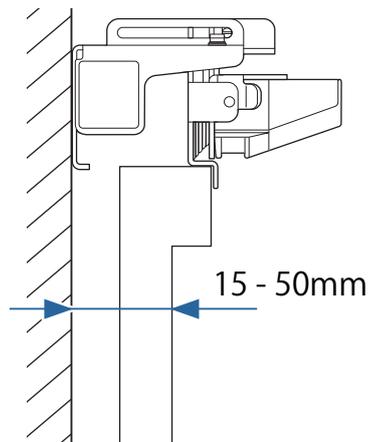
上枠の厚みが3mmを超えると、タッチユニットが正しく動作しません。



壁からスクリーン表面までの長さが50mm以内であることを確認してください。



50mmを超える場合は、タッチユニット取り付け金具を設置できません。



## レーザーに関するご注意

### 添付のラベルについて

タッチユニットは、JIS C 6802:2018に適合したクラス1レーザー製品です。

タッチユニットには、クラス1レーザー製品であることと、警告を示すラベルが貼られています。

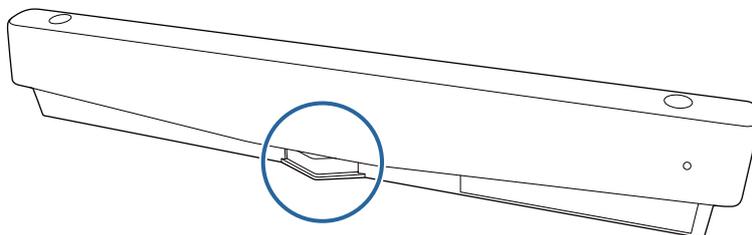


ラベルの内容は次のとおりです。

- クラス1レーザー製品
- 警告：ケースを開けないでください。内部には高出力レーザー製品が組み込まれています。
- 警告：
  - 注意：ここを開くとクラス3Bの不可視レーザー放射が出る
  - ビームの被ばくを避けること

### レーザー照射口

レーザー光は、タッチユニットの背面にあるレーザー照射口から照射されます。



- 光源出力：最大 285W
- 波長：932 - 952nm

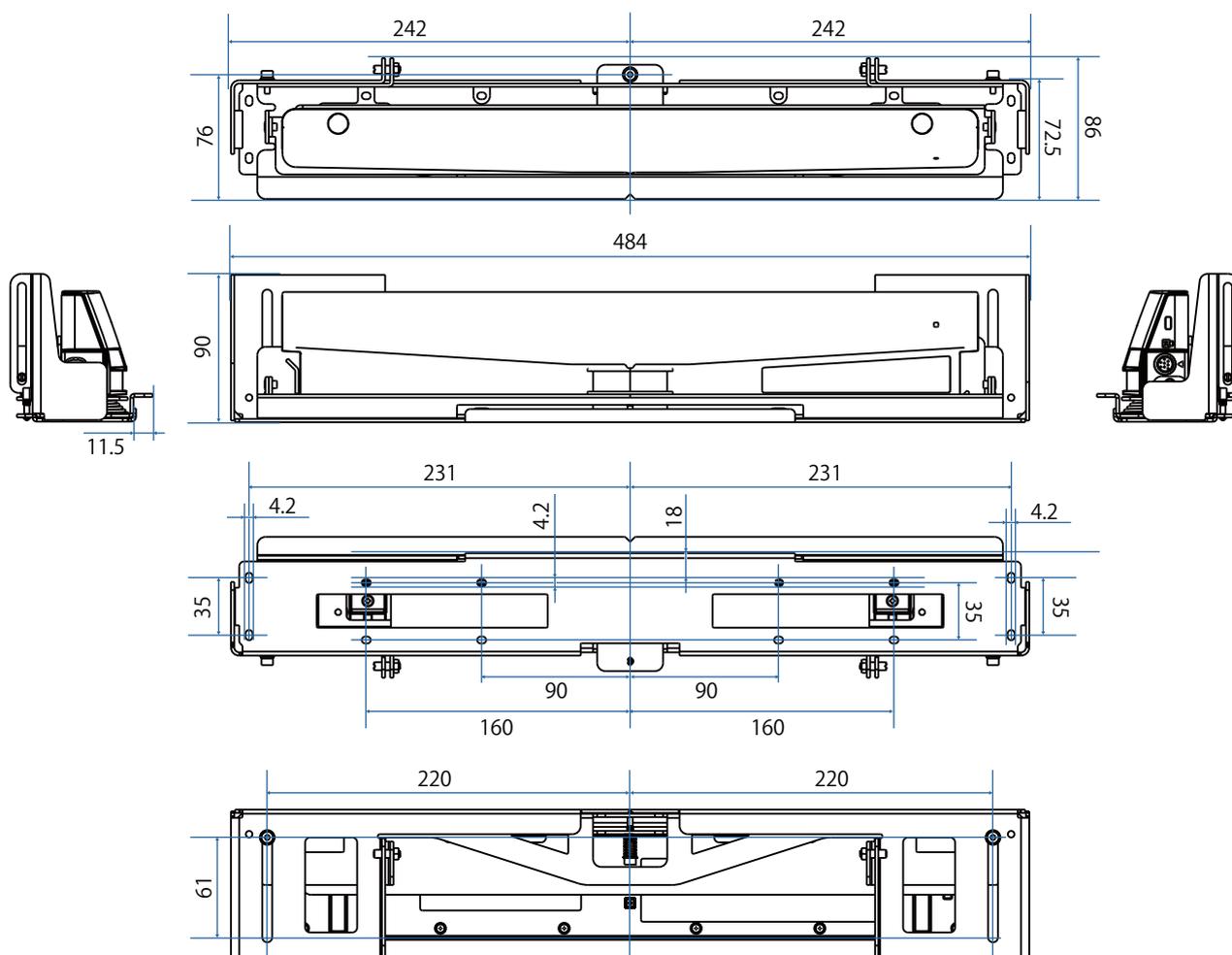


## □ タッチユニット取り付け金具仕様

項目	仕様
タッチユニット取付金具質量	約1.8kg
耐荷重	約8.8kg

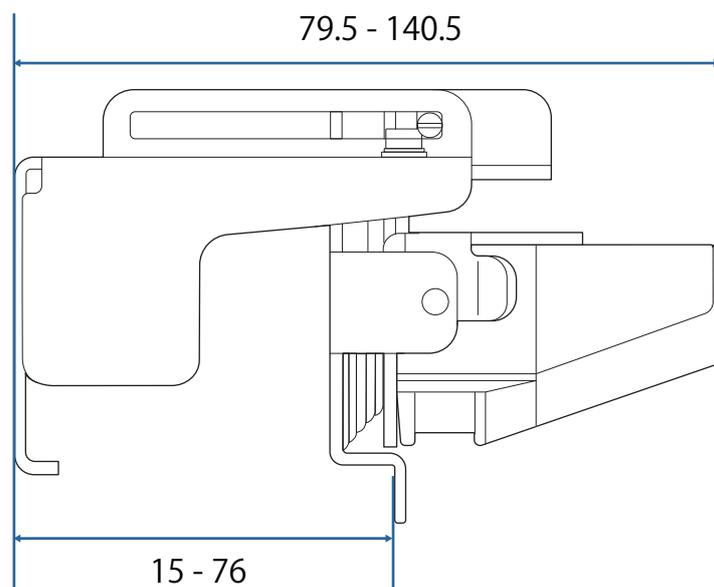
### 外形寸法

[単位 : mm]



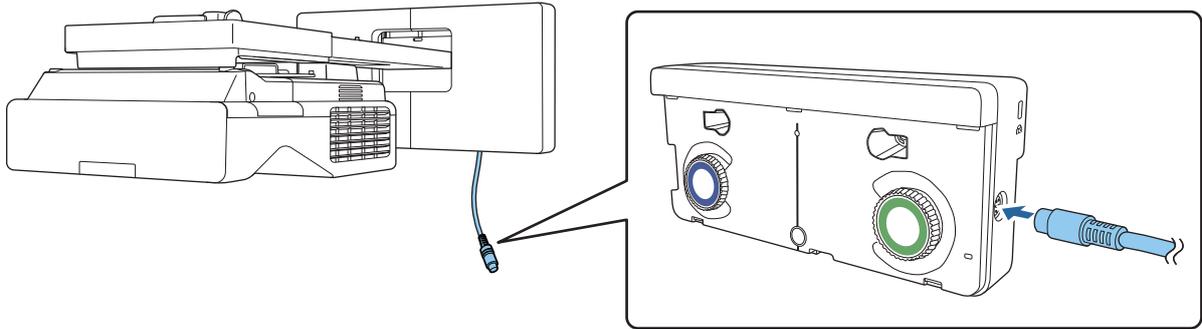
調整範囲

[単位 : mm]



## 旧モデルのタッチユニットをお使いのときは

付け替える前の旧モデルのプロジェクターと一緒に使用していたタッチユニットは、接続し直して使用できます。



接続後は、以下の手順でセットアップしてください。

- 1 タッチユニットの電源を入れる (☞ p.116)
- 2 レーザーの角度を調整する (☞ p.117)
- 3 指タッチ位置合わせを行う (☞ p.131)



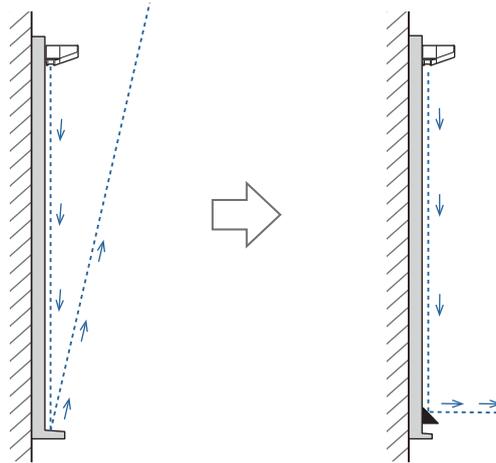
投写面に赤外線ディフレクターを貼りつけている場合は、剥がさずにそのままお使いください。

## □ タッチユニット取り付け手順

### 赤外線ディフレクターを取り付ける

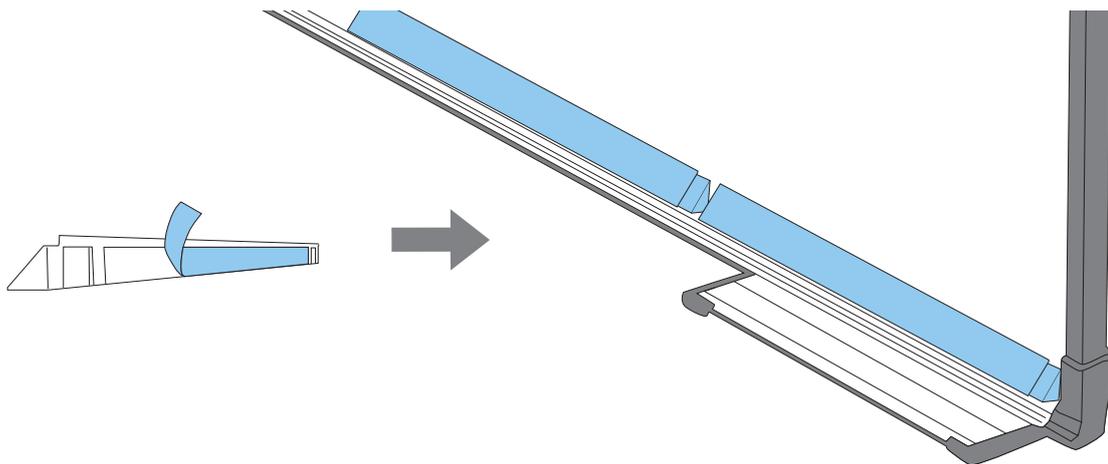
投写面の下部にフレームやトレイなどの障害物があるときは、赤外線ディフレクターを貼りつけてください。

障害物があると下図のようにレーザーが反射して、指の位置が正しく検出されないことがあります。



- 既に赤外線ディフレクターを貼り付けてある場合は、剥がさずにそのままお使いください。
- 同じ壁面に複数台のタッチユニットを設置するときも、赤外線ディフレクターなどの仕切りを設置してレーザーの反射対策をしてください。詳しくは「複数台のタッチユニットを近くに設置するときは」 p.15をご確認ください。

#### 1 障害物のある位置に、赤外線ディフレクターを貼りつける



### ■ 赤外線ディフレクターの必要本数

投写画面の下部いっぱいには赤外線ディフレクターを貼り付けるときに必要な本数は以下の表を確認してください。

赤外線ディフレクターが不足する場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。

EB-770Fi

アスペクト比	画面サイズ (型)	赤外線ディフレクターの必要本数
16:9	60～ 63	5
	64～ 75	6
	76 ～ 88	7
	89 ～ 100	8
4:3	49～ 55	4
	56 ～ 68	5
	69 ～ 82	6
	83 ～ 96	7
	97 ～ 100	8
16:10	56 ～64	5
	65 ～ 77	6
	78 ～ 90	7
	91 ～ 100	8
16:6	56 ～ 58	5
	59 ～ 70	6
	71 ～ 82	7
	83 ～ 94	8
	95 ～ 105	9
	106 ～ 110	10
21:9	57 ～ 59	5
	60 ～ 71	6
	72 ～ 83	7
	84 ～ 95	8
	96 ～ 107	9
	108 ～ 110	10

EB-760Wi

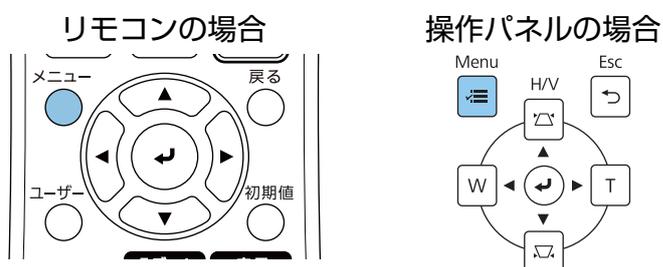
アスペクト比	画面サイズ (型)	赤外線ディフレクターの必要本数
16:10	58 ～ 64	5
	65 ～ 77	6
	78 ～ 90	7
	91 ～ 100	8
4:3	60 ～ 68	5
	69 ～ 82	6
	83 ～ 96	7
	97 ～ 100	8

アスペクト比	画面サイズ (型)	赤外線ディフレクターの必要本数
16:9	53 ~ 63	5
	64 ~ 75	6
	76 ~ 88	7
	89 ~ 100	8

## タッチユニットを取り付ける

### ■ 取り付け金具を使わずに投写面に取り付ける場合

1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す



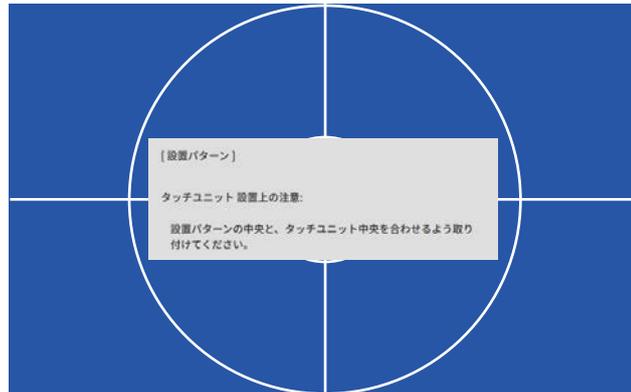
2 【設置】メニューで【タッチユニット】を選択する

よく使う項目	設定	
映像調整	固定設定	オフ
信号入出力	テストパターン	
設定	セッティングプレート調整ガ...	
表示	縦置き	しない
動作	設定モード	フロント・上下反転
管理	自動画面調整	
ネットワーク	幾何学歪み補正	ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード	
インタラクティブ	Setting Assistant接続	
マルチプロジェクション	デジタルズーム	▼
メモリー	ELPCB02を接続する	オフ
節電	タッチユニット	
初期・全体設定	リモコン受光部	オフ
	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	

3 [設置パターン] を選択する



投写画面に設置パターンが表示されます。

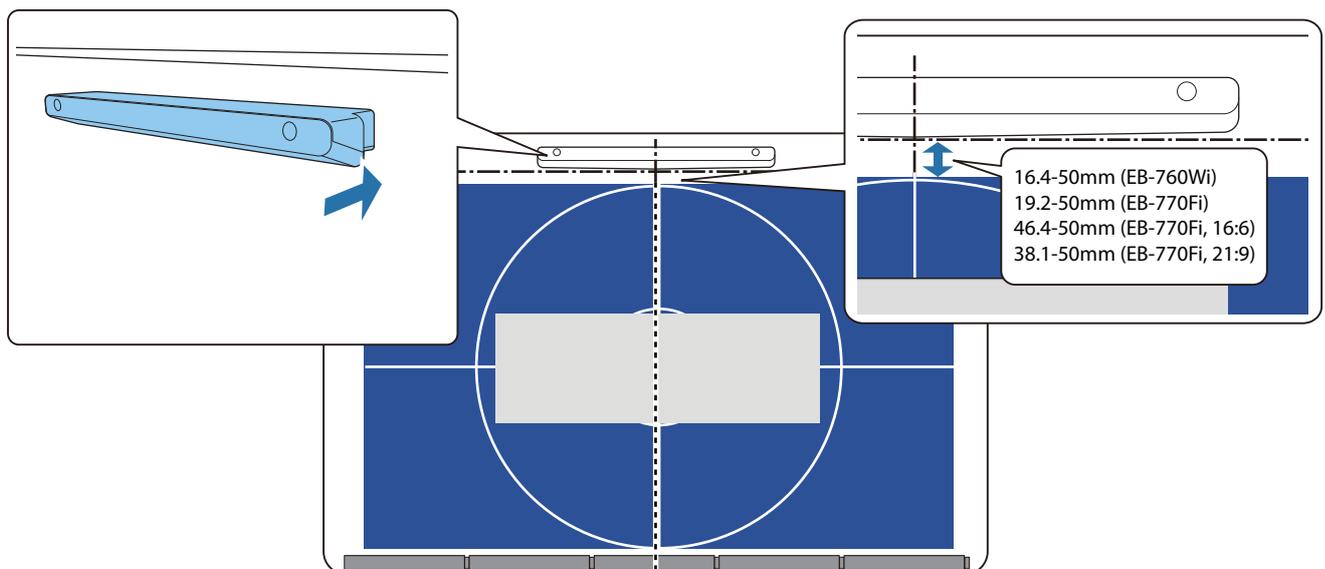


4 マグネットが使える面に取り付ける場合は、取り付け位置を確認してタッチユニットをマグネットで固定する

マグネットが使えない面に取り付ける場合は、次の手順へ進んでください。

**!** 注意

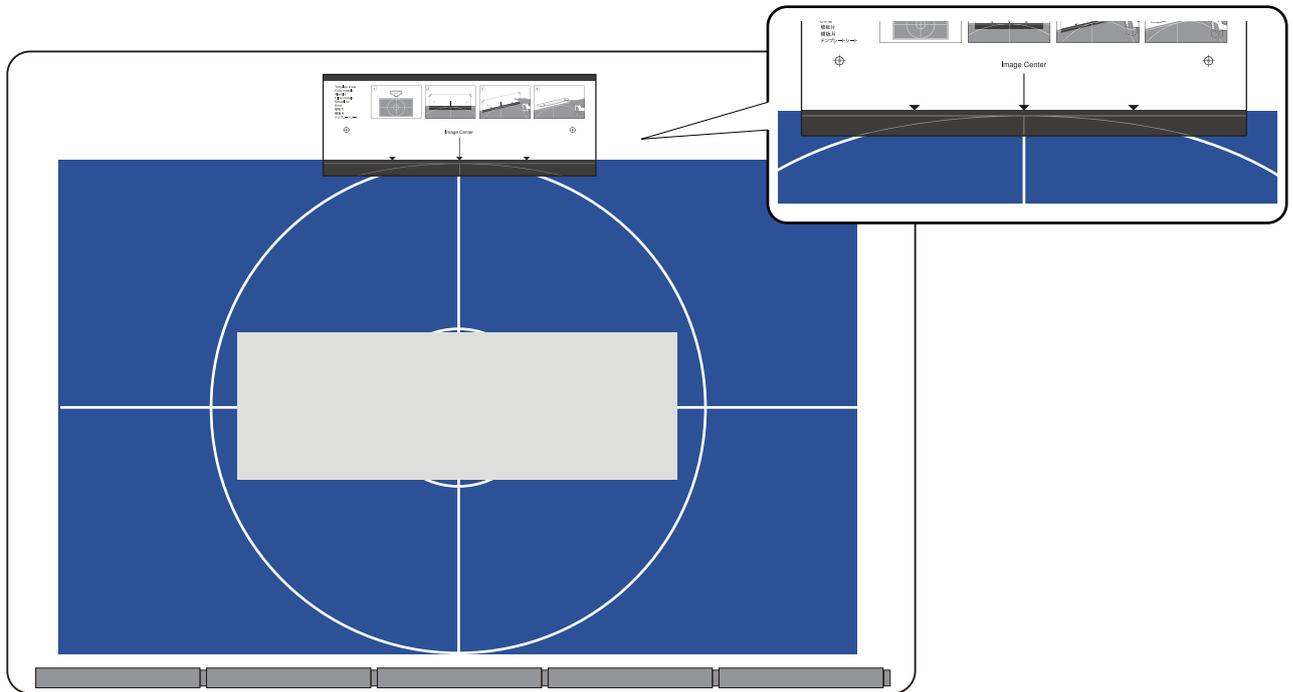
マグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。マグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようにご注意ください。



固定できたら、「タッチユニットの電源を入れる」 [p.116](#)へ進んでください。

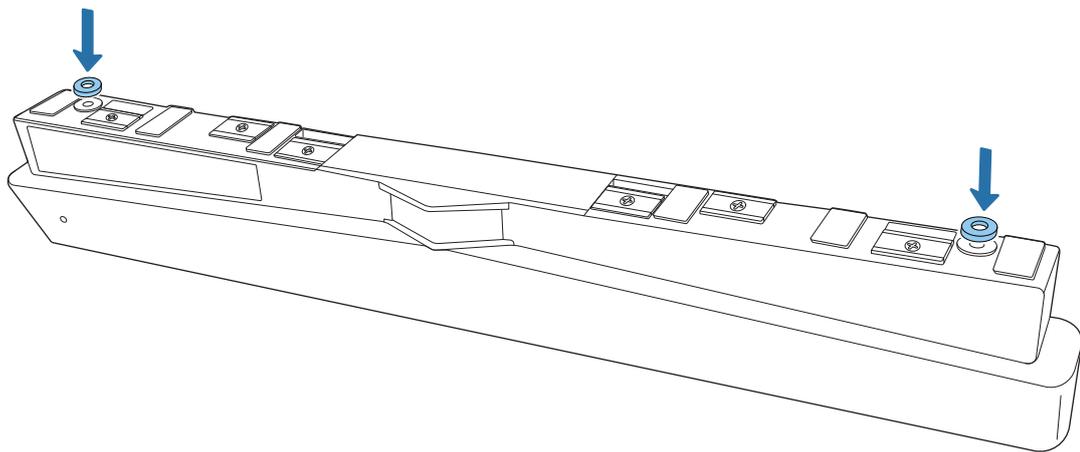
**5** マグネットが使えない面へ取り付ける場合は、タッチユニットの取り付け位置にテンプレートシートを貼る

下図のように、テンプレートシートの下側を設置パターンに重ねて貼りつけます。

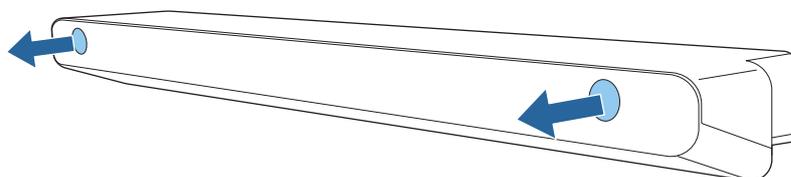


**6** 設置面に穴を開け、テンプレートシートを取り外す

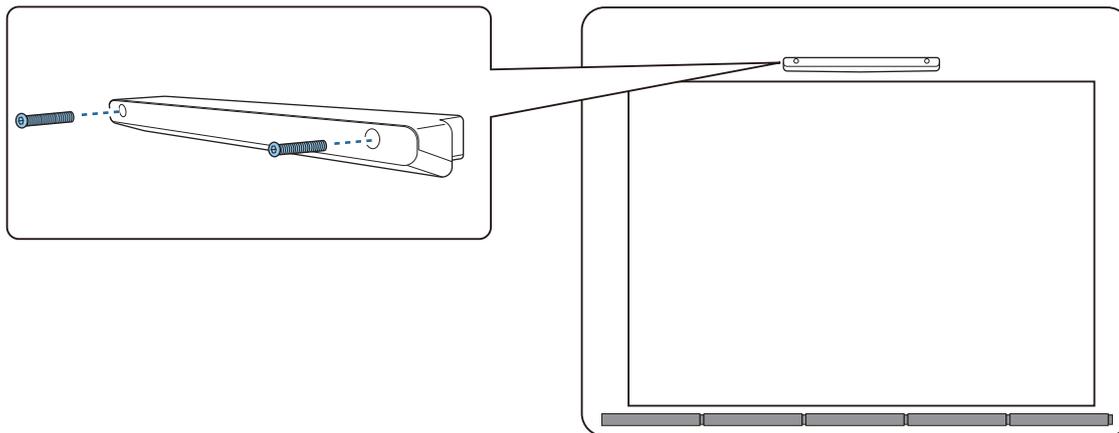
**7** タッチユニット背面のネジ穴に、同梱のスペーサー（2個）を貼りつける



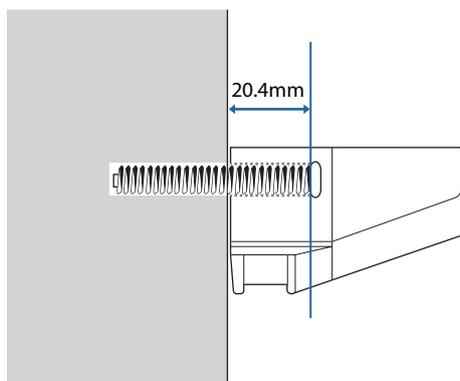
**8** タッチユニット前面のゴムキャップ（2個）を取り外す



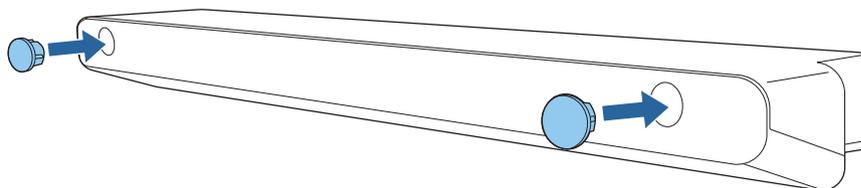
9 市販のM4ネジ (2本) でタッチユニットを固定する



タッチユニット内のネジ穴深さは以下のとおりです。

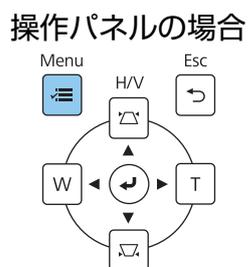
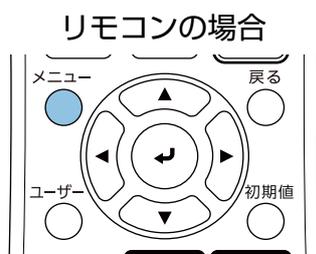


10 タッチユニット前面のネジ穴に、手順8で外したゴムキャップを取り付ける



■ 取り付け金具を使って投写面以外に取り付ける場合

1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す



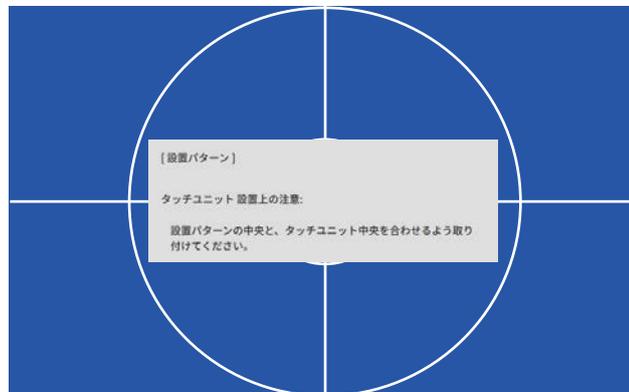
## 2 [設置] メニューで [タッチユニット] を選択する

よく使う項目	設定
映像調整	固定設定 オフ
信号入出力	テストパターン
設定	セッティングプレート調整が…
表示	縦置き しない
動作	設置モード フロント・上下反転
管理	自動画面調整
ネットワーク	幾何学歪み補正 ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード
インタラクティブ	Setting Assistant接続
マルチプロジェクション	デジタルズーム
メモリー	ELPCB02を接続する オフ
節電	タッチユニット
初期・全体設定	リモコン受光部 オフ
	スクリーンタイプ 16:9
	高地モード オフ
	設置初期化
	表示

## 3 [設置パターン] を選択する

[タッチユニット]	戻る
設置パターン	
電源	オフ
タッチ補正範囲	狭い

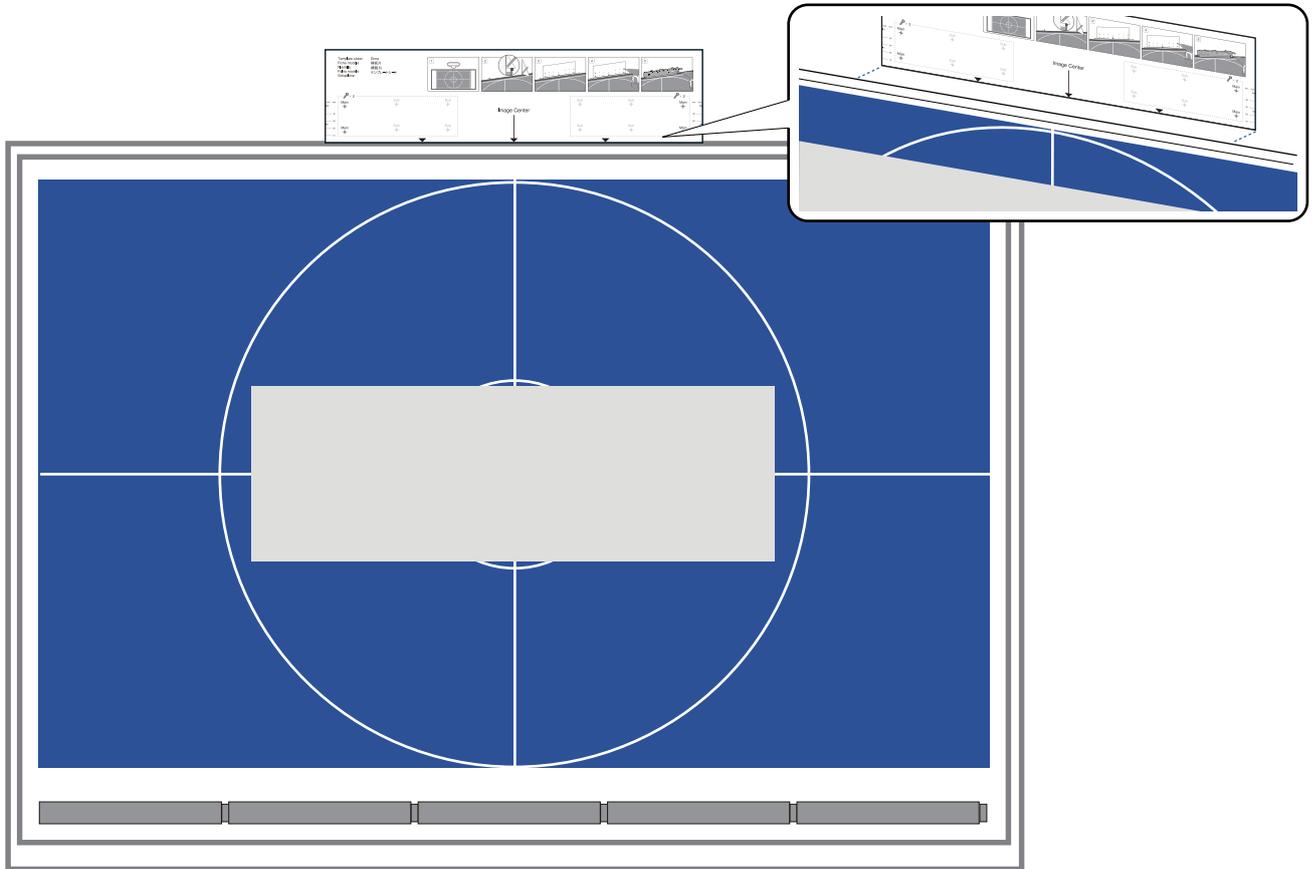
投写画面に設置パターンが表示されます。



**4** タッチユニット取り付け金具のテンプレートシートを貼る

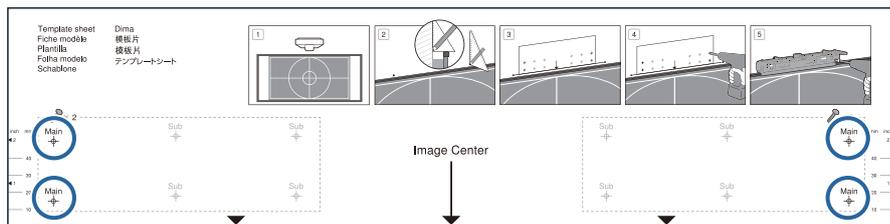
投写面上端とテンプレートシートの下端を合わせてください。

取付金具の設置面と投写面間にすき間がある場合は、事前に貼りつけ位置に目印の線などをひいておくことをお勧めします。

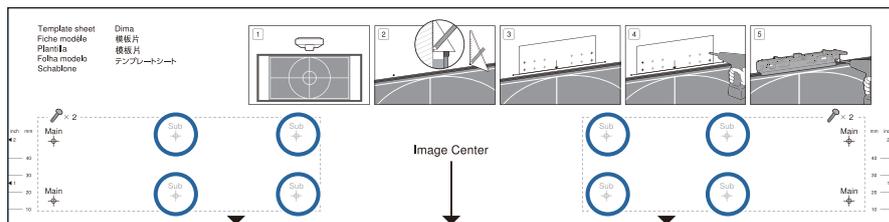


**5** 設置面に穴を開け、テンプレートシートを取り外す

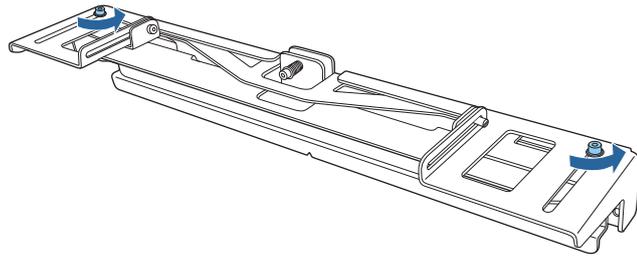
テンプレートシートにMainと記載されている箇所（4箇所）に穴を開けます。



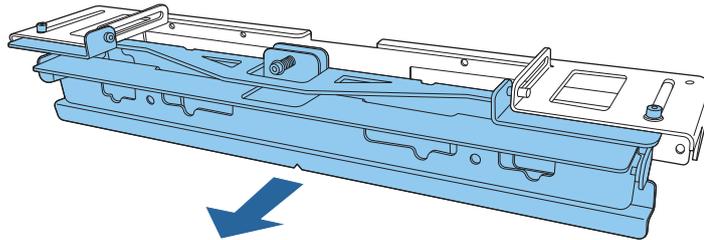
設置面の状況に応じて、Subと記載されている箇所でも固定できます。  
バランスのとれる4箇所（左右2箇所ずつ）に穴を開けてください。



6 取り付け金具の上部にあるネジ（2本）を緩める

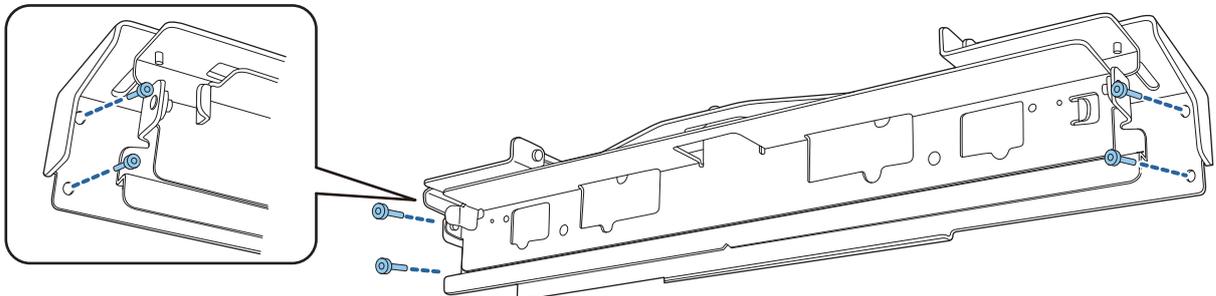


7 金具前面のパーツを前側いっぱいまでスライドさせる

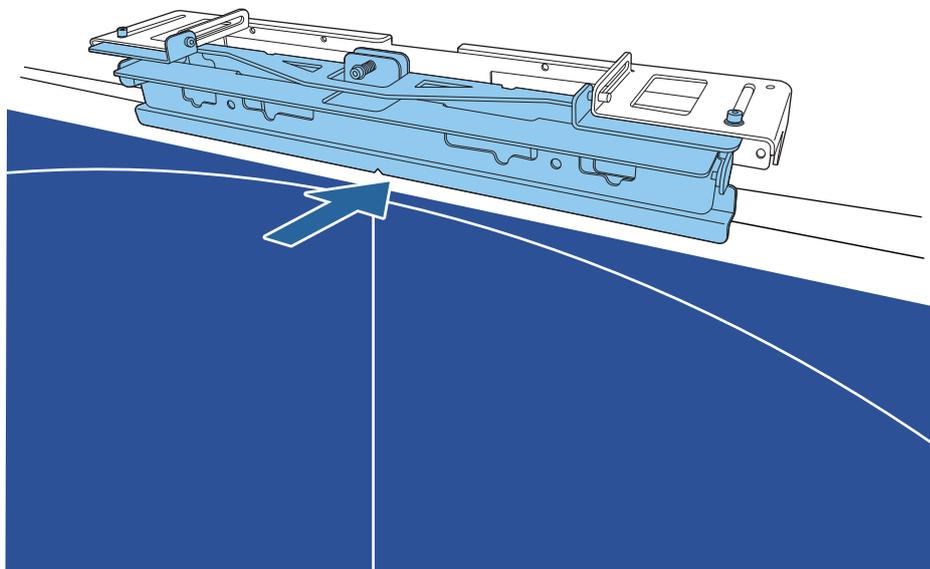


取り付け時にスライド部がずれないように、手順6で緩めた上部ネジ（2本）を軽く締め直してください。

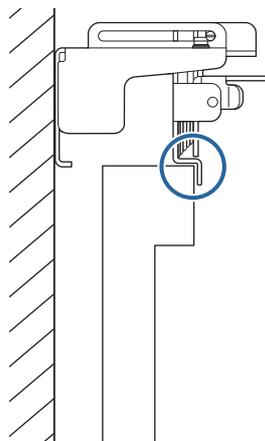
8 市販の直径3.8mm、全長45mm以上の木ネジ（4本）またはM4のアンカーボルト（4本）で取り付け金具を壁に固定する



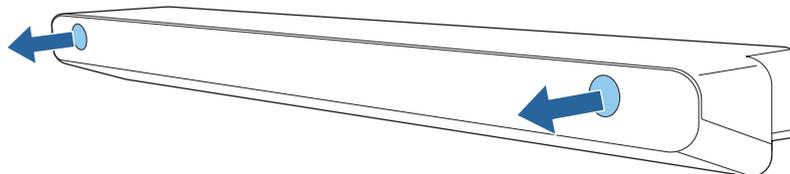
9 投写面に合うように取り付け金具をスライドさせる



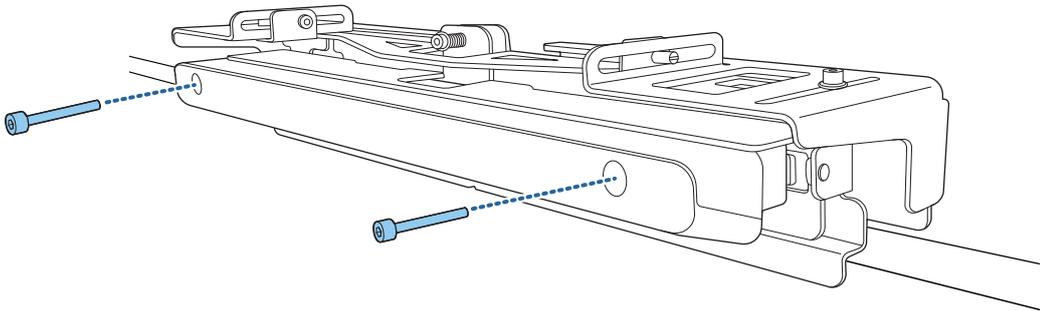
取付金具の下端が投写面に接するまでスライドさせます。



10 タッチユニット前面のゴムキャップ（2個）を取り外す



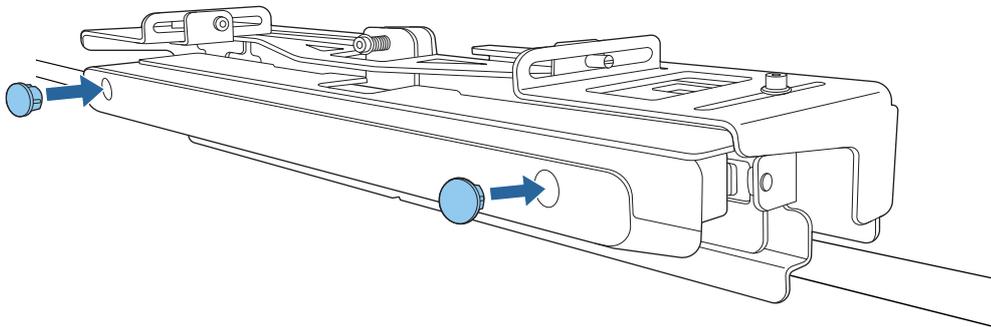
11 同梱のM4 x 25mmボルト (2本) で、タッチユニットを取り付け金具に固定する



**!** 注意

タッチユニットの裏面には強力なマグネットが付いています。タッチユニットと取り付け金具の間に手を挟まないようにご注意ください。

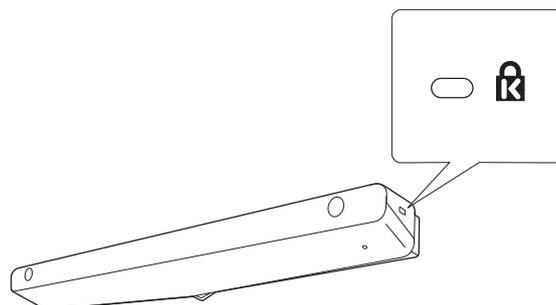
12 タッチユニット前面のネジ穴に、手順10で外したゴムキャップを取り付ける



### セキュリティーケーブルを取り付ける

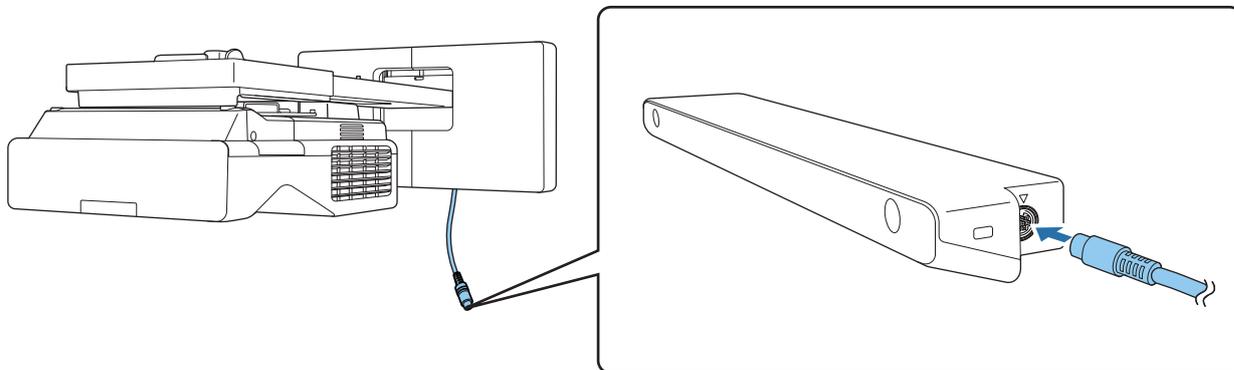
タッチユニットにはKensington社製のマイクロサーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティーロットが搭載されています。マイクロサーバーセキュリティーシステムについての詳細は、以下をご覧ください。

<http://www.kensington.com/>



## タッチユニットの電源を入れる

- 1 プロジェクターに接続したタッチユニット接続ケーブルを、タッチユニットのTCH端子に接続する



タッチユニット接続ケーブルは奥までしっかりと差し込んでください。ケーブルが奥まで差さっていないと、レーザーの角度調整時に旧モデルのタッチユニット向けのメニューが表示されることがあります。

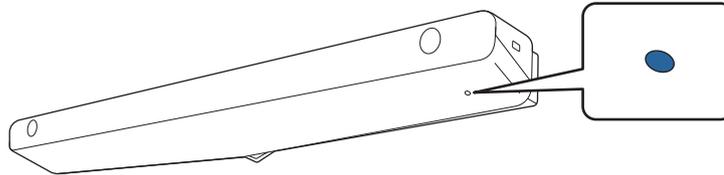
- 2 [設置] メニューで [タッチユニット] を選択する

よく使う項目	設定	
映像調整	固定設定	オフ
信号入出力	テストパターン	
設定	セッティングプレート調整ガ...	
表示	縦置き	しない
動作	設置モード	フロント・上下反転
管理	自動画面調整	
ネットワーク	幾何学歪み補正	ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード	
インタラクティブ	Setting Assistant接続	
マルチプロジェクション	デジタルズーム	▼
メモリー	ELPCB02を接続する	オフ
節電	タッチユニット	
初期・全体設定	リモコン受光部	オフ
	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	

### 3 [電源] を [オン] にする



タッチユニットの電源がオンになり、インジケータが青色に点灯します。

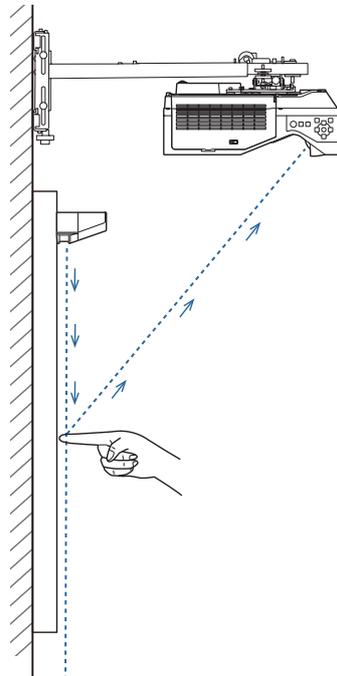


[電源] を [オン] に設定すると、次回からプロジェクターの電源をオンにしたときにタッチユニットの電源も自動的にオンになります。

## レーザーの角度を調整する (タッチユニット自動調整)

タッチユニットから赤外線レーザーがカーテン状に照射されます。投写面に触れた指に赤外線レーザーが反射し、反射した座標をプロジェクターの赤外線カメラが認識することで指の位置を検出します。

プロジェクターが指の位置を正しく検出できるように、タッチユニットから照射されるレーザーの角度を調整します。



レーザーがスクリーンに対して平行に照射されていないと、指タッチ操作に反応しなかったり、指の位置がずれたりします。

レーザーがスクリーンに対して平行でない場合

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 投写面に指でタッチしても、指の位置が検出されることがあります。</li> <li>• 投写面に指が触れていない場合でも指が触れていると検出され、意図しない指タッチ操作が行われることがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プロジェクターで検出される指の位置と、実際に投写面に触れている指の位置がずれ、意図した通りに指タッチ操作ができないことがあります。</li> <li>• プロジェクターが指を検出したままの状態になり、クリックの動作を認識しないことがあります。</li> </ul>



レーザーの角度を調整する前に、インタラクティブペンの位置合わせが終わっていることを確認してください。

1

[設置] メニューで [タッチユニット] を選択する

よく使う項目	設定	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
<b>設定</b>	セッティングプレート調整ガ...	
表示	縦置き	しない
動作	設置モード	フロント・上下反転
管理	自動画面調整	
ネットワーク	幾何学歪み補正	ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード	
インタラクティブ	Setting Assistant接続	
マルチプロジェクション	デジタルズーム	▼
メモリー	ELPCB02を接続する	オフ
節電	<b>タッチユニット</b>	
初期・全体設定	リモコン受光部	オフ
	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	

2 [タッチユニット設置 (自動)] を選択する

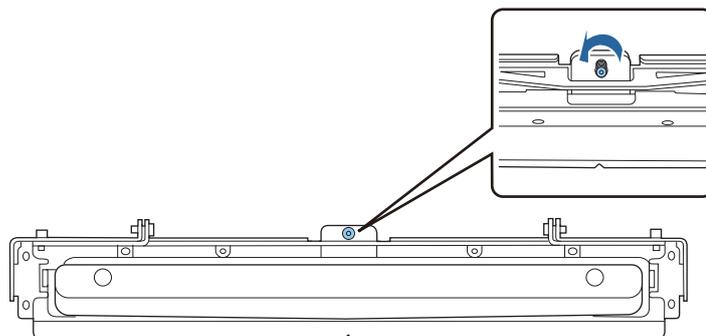


3 取り付け金具の有無を選択する

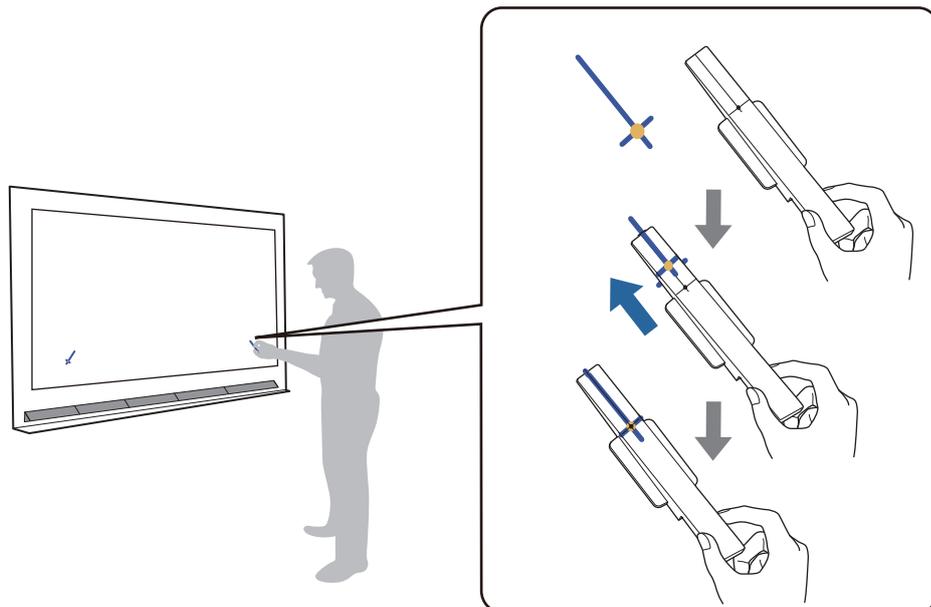


- 旧モデルのタッチユニットをお使いの場合は、以降の手順が異なります。画面の指示に従って操作してください。操作の詳細は、旧モデルのプロジェクター向けの『設置工事説明書』をご覧ください。
- ELPFT01を接続しているのに旧モデルのタッチユニット向けの画面が表示される場合は、タッチユニット接続ケーブルの接続を確認してください。

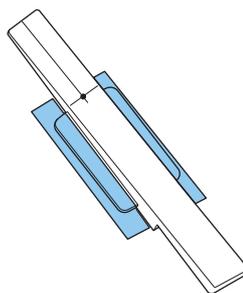
4 タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、タッチユニット取り付け金具上部の調整ネジを反時計回りいっぱいに戻す



5 投写画面のマーカースettings位置（2箇所）に、同梱のマーカースettingsを重ねて固定する



- マグネットが使えるスクリーン：マーカースettingsの底面をスクリーンに付けて固定します。
- マグネットが使えないスクリーン：同梱のテープで下図のように固定します。



 角度調整中は、マーカースettings以外のものを投写画面上に近付けないでください。投写画面上にマーカースettings以外のものがあると、角度調整がうまくできないことがあります。

6 【決定】 ボタンを押して、タッチユニット自動調整を実行する

 投写面によっては、自動調整に数分かかる場合があります。

7 [タッチユニットの調整が完了しました] とメッセージが表示されたら、投写面からマーカースettingsを取り外す

自動調整が失敗した旨のメッセージが表示されたときは、「自動調整に失敗したときは」 [p.122](#) をご確認ください。

- 8 画面に表示された (●) を指で押して、同じ位置に (●) が表示されるか確認する  
4つすべての (●) を押して確認してください。

画面	状態
	<p>指で触れている場所と、(●) が表示される場所が同じであれば、正しく調整されています。</p>
	<p>指で触れている場所と異なる場所に (●) が表示される場合は、操作パネルまたはリモコンを使って [あげる] を1回選択します。その後、もう一度 (●) を指で押して確認します。</p> <p>正しい位置に (●) が表示されるまで繰り返してください。</p>

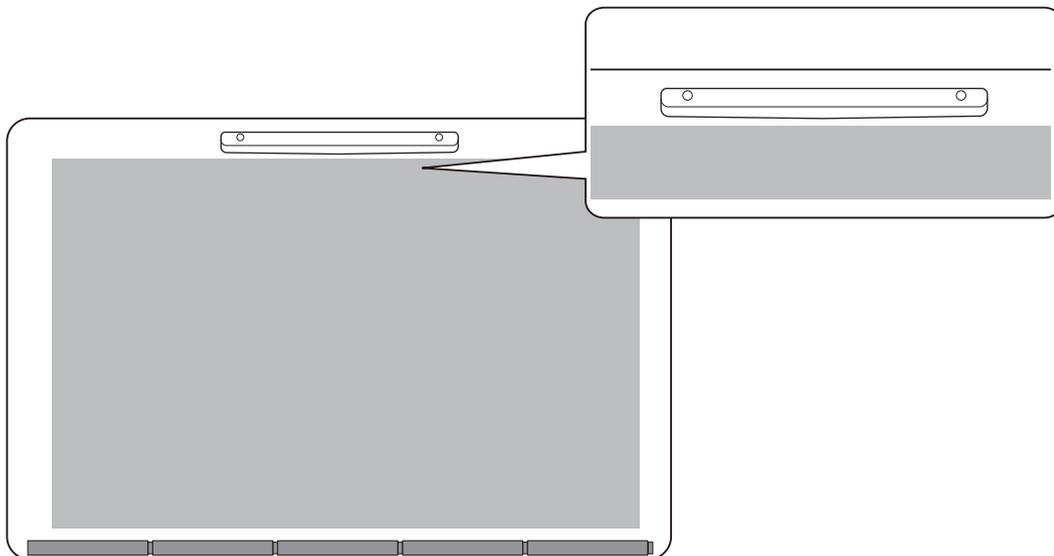
4箇所の (●) に触れてそれぞれ正しい位置に (●) が表示されるようになったら、調整は完了です。

「指タッチ操作の位置合わせ」 [p.131](#)へ進んでください。

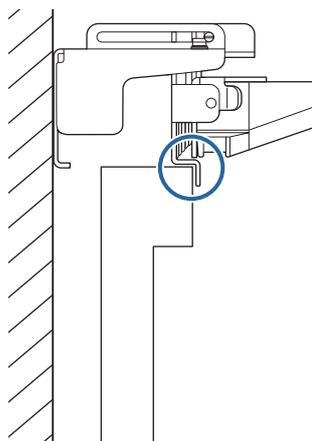
## ■ 自動調整に失敗したときは

### 1 タッチユニットの取り付け位置が正しいことを確認する

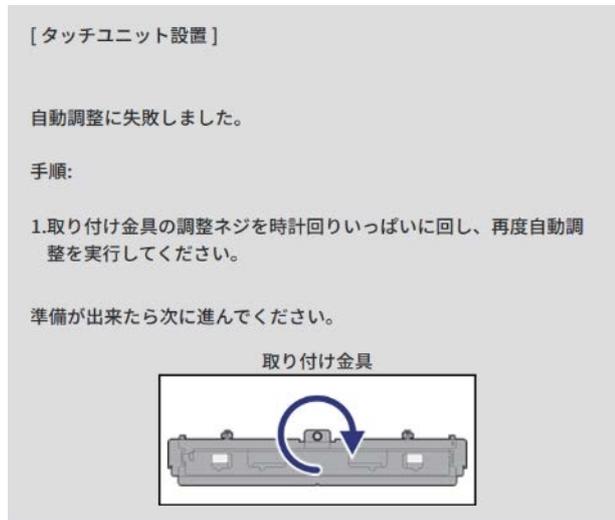
- タッチユニットと投写映像が平行になっていることを確認してください。



- タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、金具の下端が投写面のフチに隙間なく接していることを確認してください。



- 2** 表示されたメッセージを確認して、必要な対応を行う
- 以下の画面が表示されたときは、レーザーの角度を調整してから、再度自動調整を実行します。詳細は「レーザーの角度を再調整する」 [p.123](#)をご確認ください。



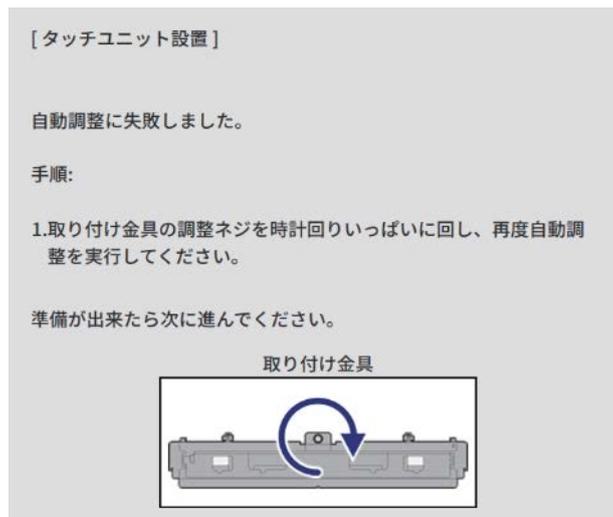
- 上記以外の画面が表示されたときは、画面に表示されている内容をすべて確認してください。すべて確認できたら、再度 [設置] メニューの [タッチユニット設置 (自動)] または [タッチユニット設置 (手動)] を実行してください。手動調整の詳細は、「レーザーの角度を手動で調整する」 [p.125](#)をご確認ください。



すべて確認しても問題が解決しない場合は、タッチユニット本体の故障の可能性がります。お買い上げの販売店へお問い合わせください。

## レーザーの角度を再調整する

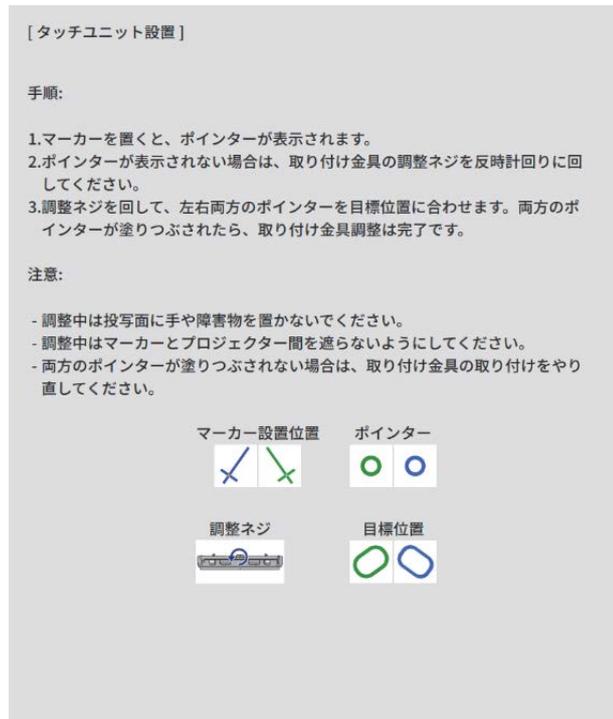
以下の画面が表示されたときの再調整方法を説明します。



1

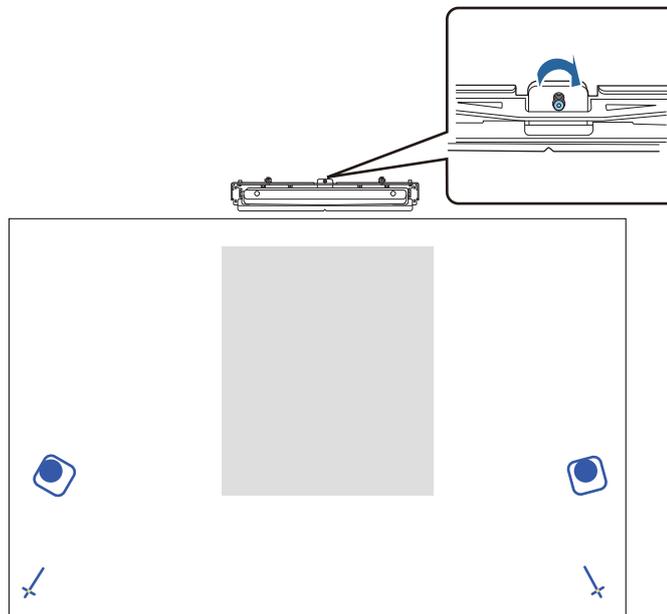
## 【決定】 ボタンを押す

以下の調整画面が表示されます。



2

## 調整ネジを時計回りに回して、左右のポインターを塗りつぶし状態にする



3

## 【決定】 ボタンを押して、タッチユニット自動調整を実行する

**4** 調整が完了して以下の画面が表示されたら、投写面からマーカを取り外す



自動調整が失敗した旨のメッセージが表示されたときは、「自動調整に失敗したときは」 [p.122](#)をご確認ください。

**レーザーの角度を手動で調整する**

[タッチユニット設置 (自動)] が失敗するときは、手動で調整します。

**1** [設置] メニューで [タッチユニット] - [タッチユニット設置 (手動)] を選択する

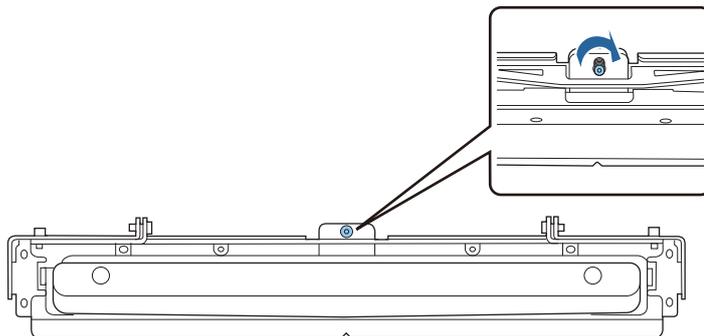


**2** 取り付け金具の有無を選択する

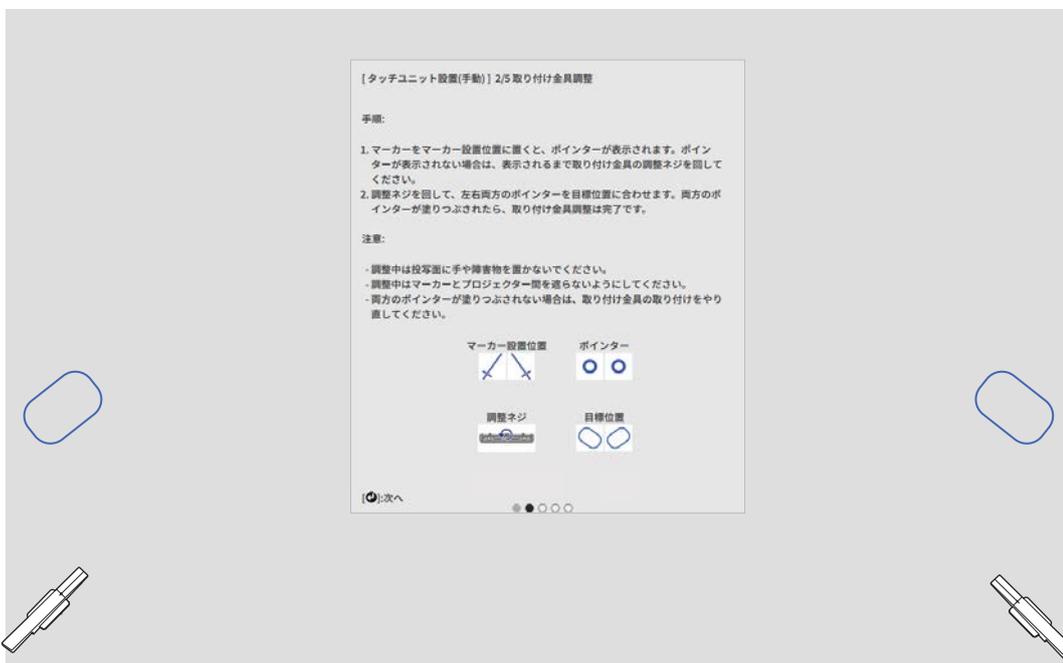


[取り付け金具を使わない] を選択した場合は、手順6へ進んでください。

- 3 タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、タッチユニット取り付け金具上部の調整ネジを時計回りいっぱい回す



- 4 タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、投写画面のマーカー設置位置（2箇所）に、同梱のマーカーを重ねて固定する



マーカーを固定すると、投写画面の左右にポインタが表示されます。

ポインタが表示されていない場合は、表示されるまでタッチユニット取り付け金具上部の調整ネジを回します。

5 タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、タッチユニット取り付け金具上部の調整ネジを回してポインターを動かして、目標位置に入れる



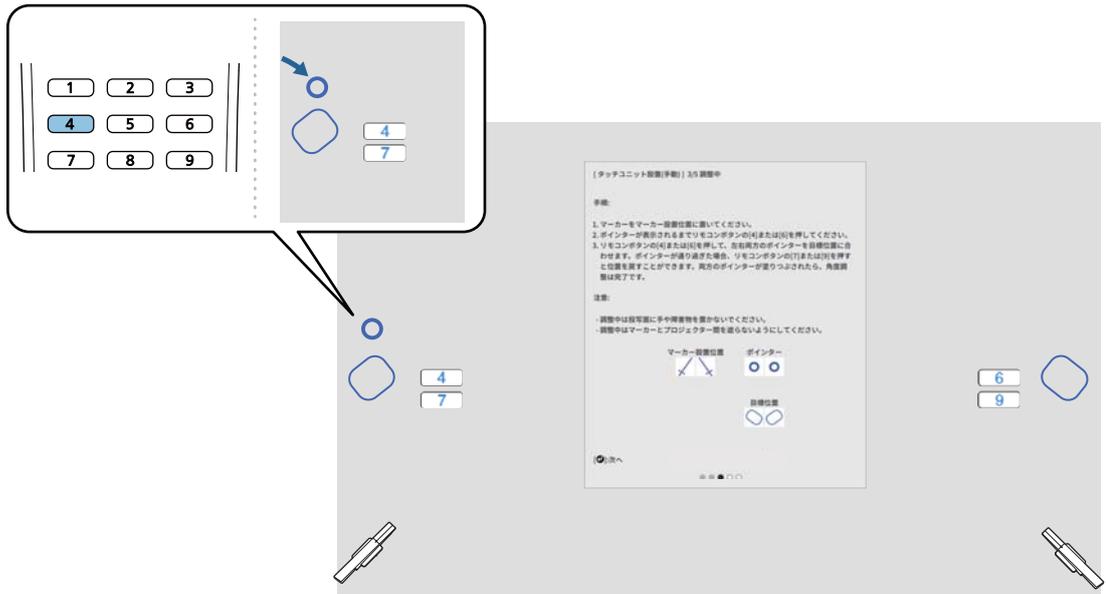
目標位置に入ると、ポインターは塗りつぶし状態（●）になります。

左右のポインターがそれぞれ塗りつぶし状態になったら、リモコンの【決定】ボタンを押します。

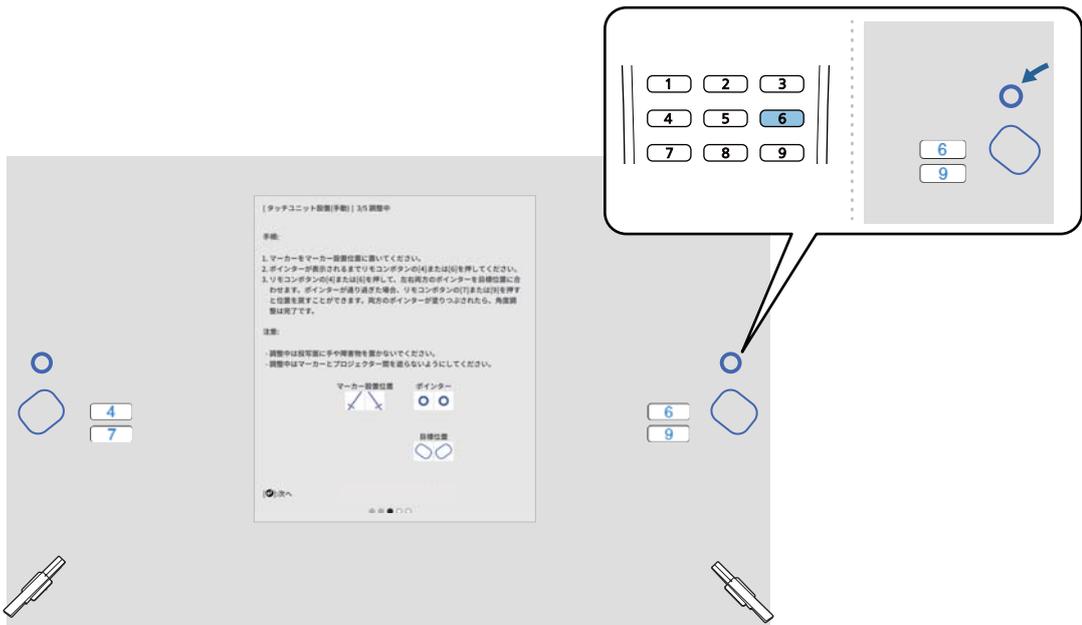
6 投写画面のマーカー設置位置（2箇所）に、同梱のマーカーを重ねて固定する



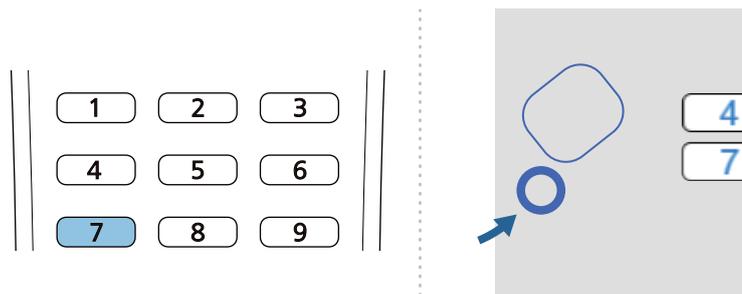
**7** 投写画面の左側にポインターが表示されるまで、リモコンの【4】ボタンを押す



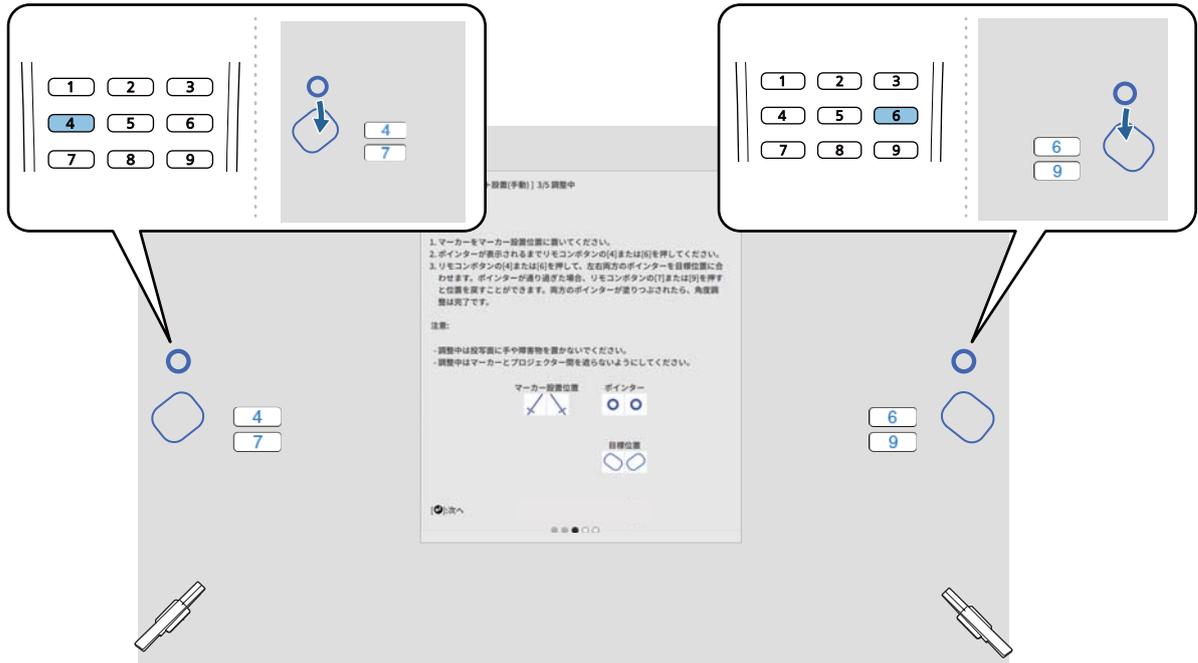
**8** 投写画面の右側にポインターが表示されるまで、リモコンの【6】ボタンを押す



 右側のポインターを動かしている間に左側のポインターが画面の外に出ってしまったときは、もう一度表示されるまでリモコンの【7】ボタンを押してください。



9 左右それぞれのポインターをリモコンの【4】または【6】ボタンで動かして、目標位置に入れる

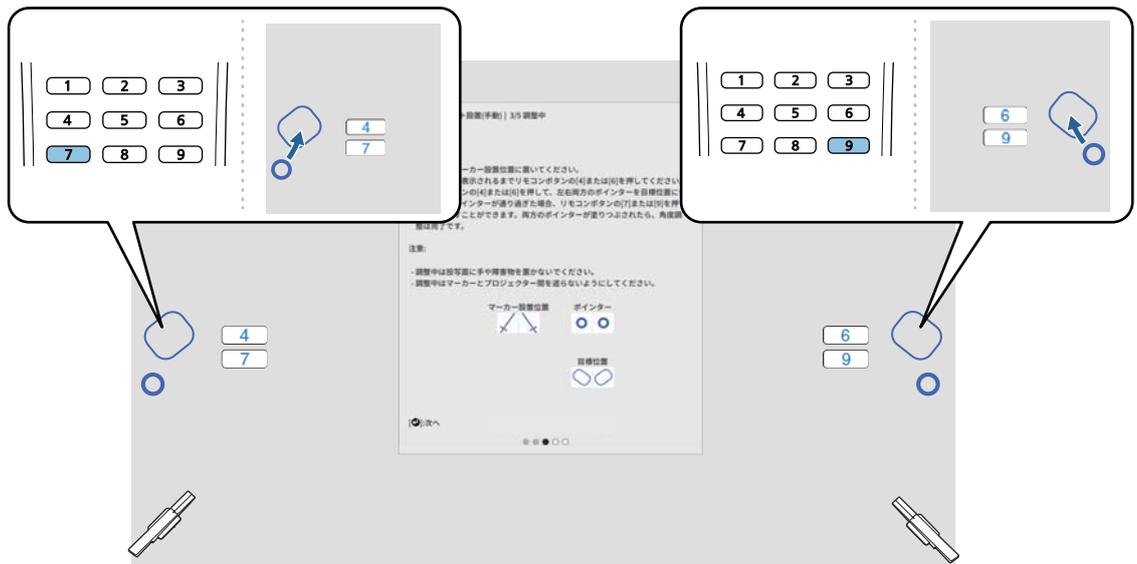


目標位置に入ると、ポインターは塗りつぶし状態（●）になります。

左右のポインターがそれぞれ塗りつぶし状態になったら、リモコンの【決定】ボタンを押します。

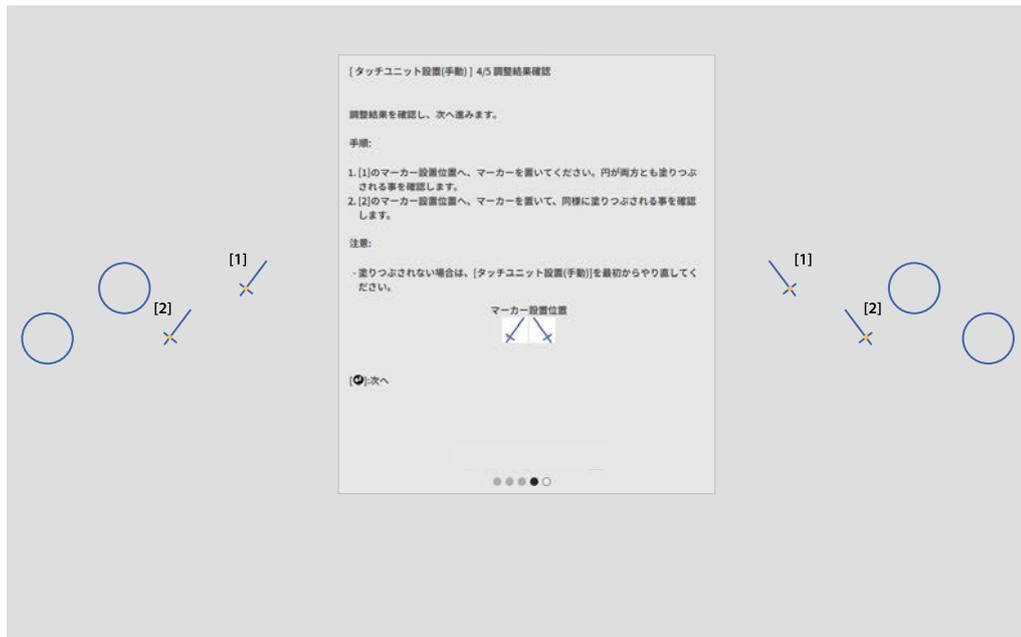


- 一方のポインターを動かすと、もう一方のポインターも少し動きます。ポインターの位置を確認しながら、左右それぞれのポインターを交互に少しずつ調整することをお勧めします。
- ポインターが目標位置を通り過ぎてしまったときは、リモコンの【7】または【9】ボタンでポインターを逆方向に動かします。



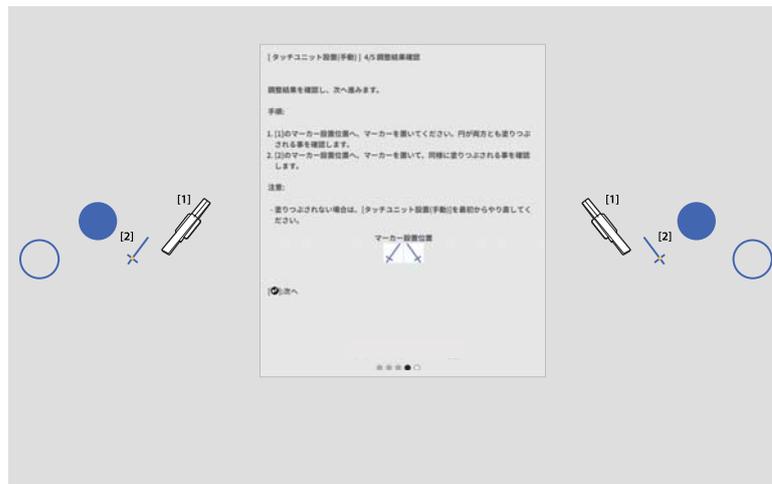
- ポインターを意図どおりに動かせなくなったときは、リモコンの【戻る】ボタンを押して手順6からやり直してください。

10 画面の指示に従ってマーカー設置位置にマーカーを置いて、調整結果を確認する

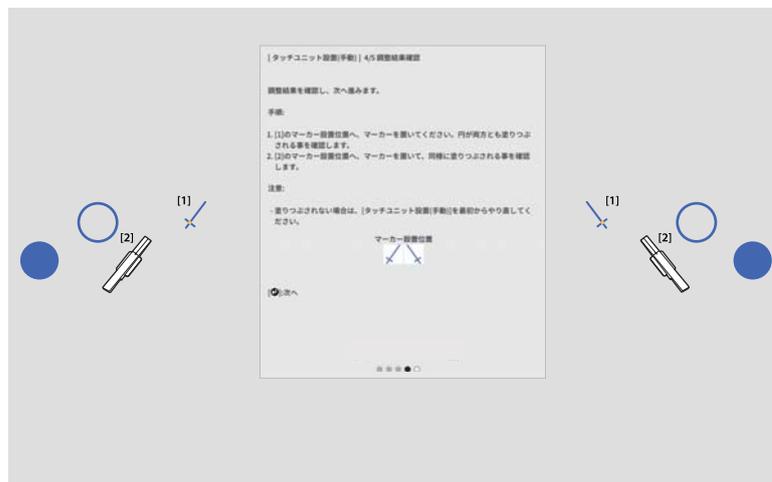


マーカー設置位置にマーカーを置いたときに、投写画面に表示されている円が塗りつぶされることを確認します。

[1]の位置にマーカーを置いたとき

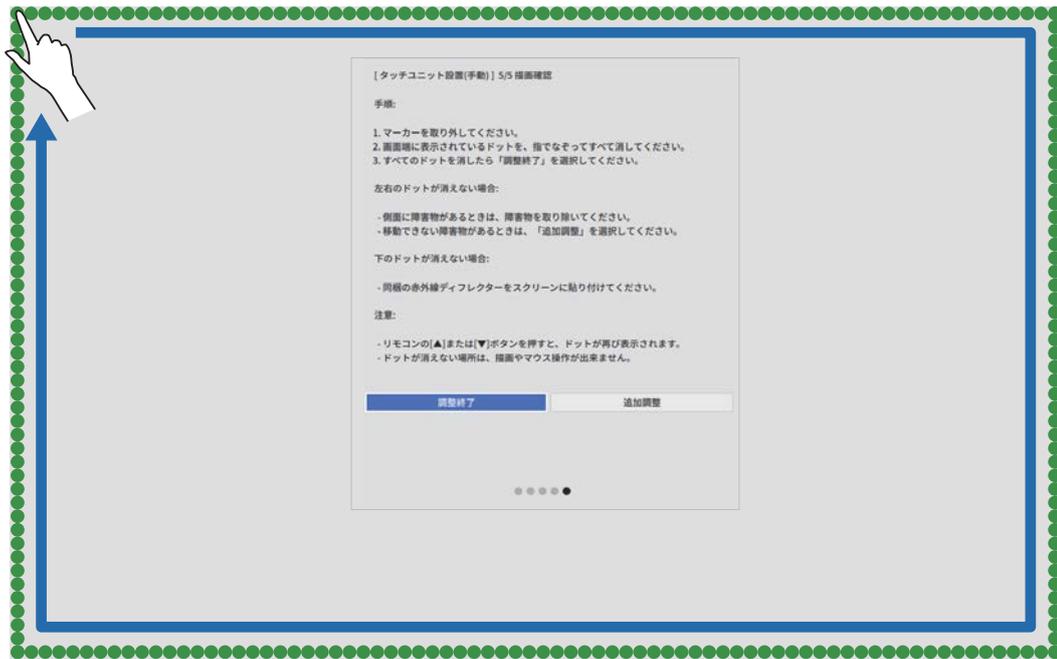


[2]の位置にマーカーを置いたとき



11

マーカーを取り外して、投写画面に表示されたドットを指でなぞって消す



ドットがすべて消えたら、[調整終了] を選択します。

「指タッチ操作の位置合わせ」 p.131へ進んでください。

一部のドットが消えないときは、[追加調整] を選択します。画面の指示に従って再度調整してください。

指タッチ操作の位置合わせ

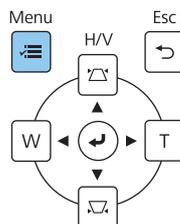
プロジェクターが指の位置をより正確に認識できるように、指タッチ位置合わせを行います。

1

プロジェクターの【メニュー】 ボタンを押す



操作パネルの場合



2 [設置] メニューで [タッチユニット] を選択する

よく使う項目	設定	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設定	セッティングプレート調整が…	
表示	縦置き	しない
動作	設置モード	フロント・上下反転
管理	自動画面調整	
ネットワーク	幾何学歪み補正	ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード	
インタラクティブ	Setting Assistant接続	
マルチプロジェクション	デジタルズーム	▼
メモリー	ELPCB02を接続する	オフ
節電	タッチユニット	
初期・全体設定	リモコン受光部	オフ
	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	

3 [指タッチ位置合わせ] を選択する

[ タッチユニット ]	戻る
設置パターン	
電源	オン
タッチユニット設置(自動)	
タッチユニット設置(手動)	
指タッチ位置合わせ	
タッチ補正範囲	狭い

4 [はい] を選択する

[ 指タッチ位置合わせ ]

注意: 調整中は投写面に手や障害物を置かないでください。

- スクリーンに表示されるマークを指でタッチします。
- マークが移動するまで指を離さないでください。
- 右下に表示される最後のマークまでこの操作を繰り返してください。

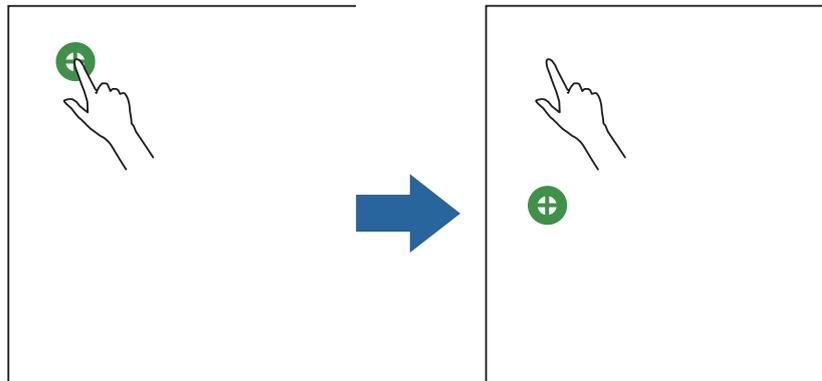
準備ができれば、開始します。よろしいですか？

はい      いいえ

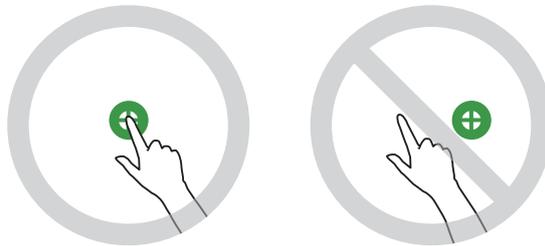
投写画面の左上にドットが表示されます。

5 表示されているドットを中心に指で押す

ドットが消えて次の位置にドットが表示されたら、指を離します。

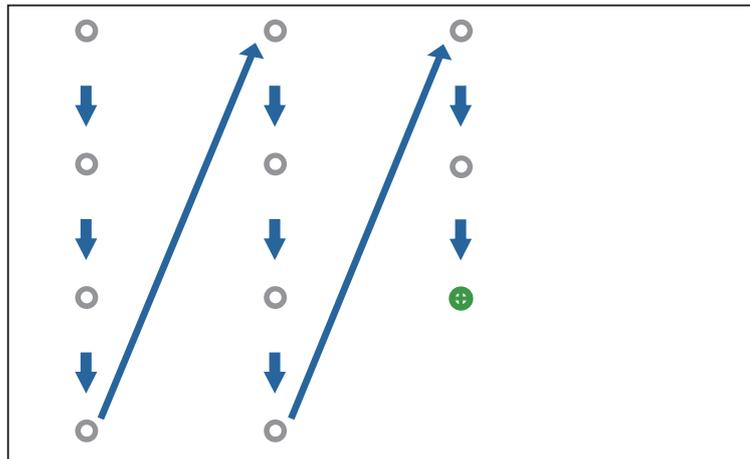


• 必ずドットを中心に押してください。中心以外を押すと位置ずれの原因となります。



• 手の甲など指以外の箇所が触れないようにしてください。

6 すべてのドットが消えるまで、手順5を繰り返す



すべてのドットが消えると、指タッチ位置合わせが完了します。



- 押す位置を間違えたときは、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押してください。1つ前のドットからやり直せます。2つ以上前のドットからやり直すことはできません。
- 指タッチ位置合わせを中止するときは、【戻る】ボタンを2秒間押します。
- すべてのドットが消えてから指タッチ位置合わせが完了するまで、数秒かかることがあります。

## 一括設定機能

1台のプロジェクターで設定したプロジェクターメニューの内容を、他の複数のプロジェクターに一括で設定できます（一括設定機能）。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。以下のいずれかの方法で設定します。

- USBメモリーを使って設定する。
- コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する。
- Epson Projector Managementを経由して設定する。

本書では、USBメモリーを使う方法とUSBケーブルを使う方法を説明します。

Epson Projector Managementを経由して設定する方法は、『Epson Projector Management 操作ガイド』をご覧ください。



- 以下の設定をコピーしたくないときは、[一括設定範囲] を [一部] に設定してください。
  - [パスワードプロテクト]
  - [信号入出力] メニューの [EDID]
  - [ネットワーク] メニュー
- プロジェクターの位置調整を行う前に一括設定を行ってください。一括設定機能では、幾何学歪み補正などの投写画面の調整値も反映されます。プロジェクターの位置調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
- 一括設定機能を使うと、登録してあるユーザーロゴも他のプロジェクターに反映されます。機密情報などをユーザーロゴとして登録しないでください。



### 注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

## USBメモリーを使って設定する

USBメモリーを使って一括設定を行う方法を説明します。



- FAT 形式でフォーマットしたUSBメモリーを使用してください。
- セキュリティー機能が付いているUSBメモリーでは、一括設定機能が利用できません。セキュリティー機能の付いていないUSBメモリーをお使いください。
- USBカードリーダーやUSBハードディスクでは、一括設定機能は利用できません。

## ■ 設定値をUSBメモリーに保存する

- 1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

2

## USBメモリーをプロジェクターのUSB-A端子に接続する



- USBメモリーは、プロジェクターに直接接続してください。USBハブを介してUSBメモリーを接続すると、設定値の保存が正常に行われなかったりすることがあります。
- 空のUSBメモリーを接続してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく保存できないことがあります。

3

## リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

On/StandbyインジケータとStatusインジケータが青色に、LaserインジケータとTempインジケータが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離してください。

On/Standby  ■

Status  ■

Laser  ■

Temp  ■

すべてのインジケータが点滅になると、一括設定ファイルの書き込みが始まります。

### 注意

- ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- ファイルの書き込み中は、プロジェクターからUSBメモリーを抜かないでください。USBメモリーを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、On/Standbyインジケータのみが青色に点灯します。

On/Standby  ■

Status  □

Laser  □

Temp  □

プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。



- 一括設定したファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列を追加してください。他のファイル名に変更すると、プロジェクターが正しく認識できないことがあります。
- 2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。

## ■ 保存した設定値を他のプロジェクターに反映する

1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケータがすべて消灯していることを確認する

2 一括設定ファイルを保存したUSBメモリーを、プロジェクターのUSB-A端子に接続する



USBメモリーには一括設定ファイル以外のデータを入れないでください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく反映できないことがあります。

3 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

On/StandbyインジケータとStatusインジケータが青色に、LaserインジケータとTempインジケータが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離してください。インジケータは約75秒点灯します。

On/Standby  ■

Status  ■

Laser  ■

Temp  ■

すべてのインジケータが点滅になると、設定値の書き込みが始まります。

### 注意

- 設定値の書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- 設定値の書き込み中は、プロジェクターからUSBメモリーを抜かないでください。USBメモリーを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、On/Standbyインジケータのみが青色に点灯します。

On/Standby  ■

Status  □

Laser  □

Temp  □

プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。

## コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する



一括設定機能の対応OSは以下のとおりです。

- Windows 8.1以降
- macOS 10.13.x以降

### ■ 設定値をコンピューターに保存する

1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケータがすべて消灯していることを確認する

2 コンピューターのUSB 端子とプロジェクターのUSB-B1 端子をUSB ケーブルで接続する

3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

On/StandbyインジケータとStatusインジケータが青色に、LaserインジケータとTempインジケータが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離してください。

On/Standby  

Status  

Laser  

Temp  

コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

4 リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイル (PJCONFDATA.bin) をコンピューターに保存する



一括設定ファイルのファイル名を変更するときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列を追加してください。他のファイル名に変更すると、正しく認識できないことがあります。2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。

**5** コンピューター上で「USBデバイスの取り出し」を行ってから、USBケーブルを抜く



Macをお使いの場合は、「"EPSON\_PJ"の取り出し」を行ってください。

プロジェクターの電源がオフになり、On/Standbyインジケータのみが青色に点灯します。

On/Standby 

Status 

Laser 

Temp 

**■ 保存した設定値を他のプロジェクターに反映する**

**1** プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケータがすべて消灯していることを確認する

**2** コンピューターのUSB 端子とプロジェクターのUSB-B1 端子をUSB ケーブルで接続する

**3** リモコンまたは操作パネルの【メニュー】 ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

On/StandbyインジケータとStatusインジケータが青色に、LaserインジケータとTempインジケータが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯したら、【メニュー】 ボタンを離してください。

On/Standby 

Status 

Laser 

Temp 

コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

**4** コンピューターに保存した一括設定ファイル (PJCONFDATA.bin) をリムーバブルディスクの最上位フォルダーにコピーする



リムーバブルディスク上に、一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをコピーしないでください。

**5** コンピューター上で「USBデバイスの取り出し」を行ってから、USBケーブルを抜く

 Macをお使いの場合は、「"EPSON\_PJ"の取り出し」を行ってください。

すべてのインジケータが点滅すると、設定値の書き込みが始まります。

**⚠ 注意**

設定値の書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、On/Standbyインジケータのみが青色に点灯します。

- On/Standby 
- Status 
- Laser 
- Temp 

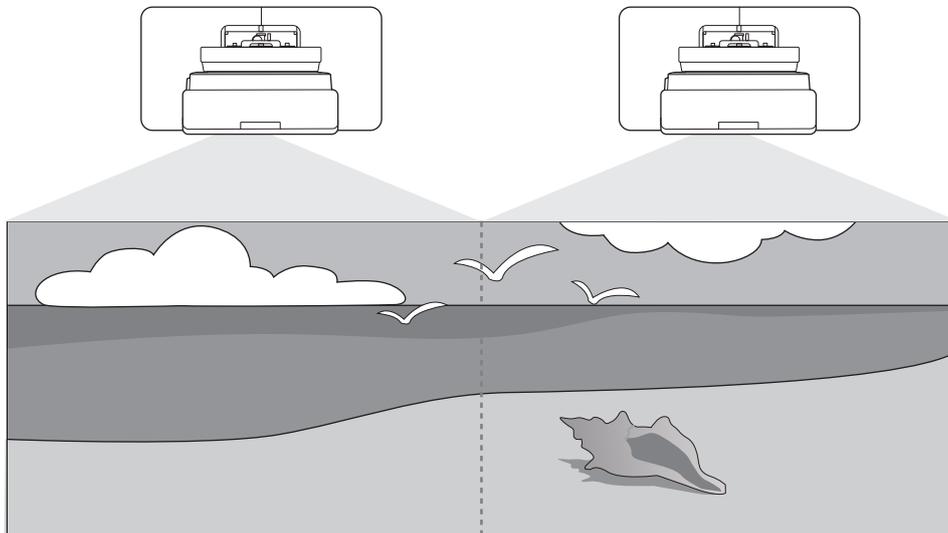
**設定がうまくいかないときは**

確認	対処法
<p>Laserインジケータ、Tempインジケータが、橙色に速く点滅していませんか？</p> <p>On/Standby </p> <p>Status </p> <p>Laser  </p> <p>Temp  </p>	<p>一括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーまたはUSBケーブルが正しく接続できていない可能性があります。USBメモリーまたはUSBケーブルを取り出し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。</p>

確認	対処法
<p>On/Standbyインジケータと Statusインジケータが青色に、 LaserインジケータとTempインジ ケータが橙色に、それぞれ速く点滅 していませんか？</p> <p>On/Standby </p> <p>Status </p> <p>Laser </p> <p>Temp </p>	<p>設定値の書き込みに失敗して、プロジェクターのファームウ ェアに異常が生じた可能性があります。ご使用をやめ、電源 プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお 問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。</p>

## ■ 本機を複数台並べて設置する (マルチプロジェクション)

複数台のプロジェクターを並べて設置して、1つの大きな画面を投写できます。



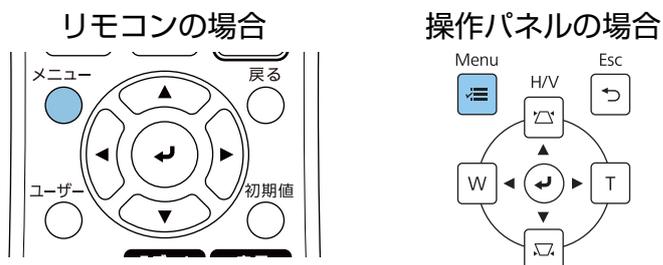
マルチプロジェクションを行うときは、以下の順番で接続や必要な設定を行います。

 マルチプロジェクションの設定を行うときは、プロジェクターメニューから [動作] - [スリープモード] を [オフ] にすることをお勧めします。

- 1 プロジェクターIDの設定 (☞ p.141)
- 2 マルチプロジェクションの映像設定 (☞ p.143)

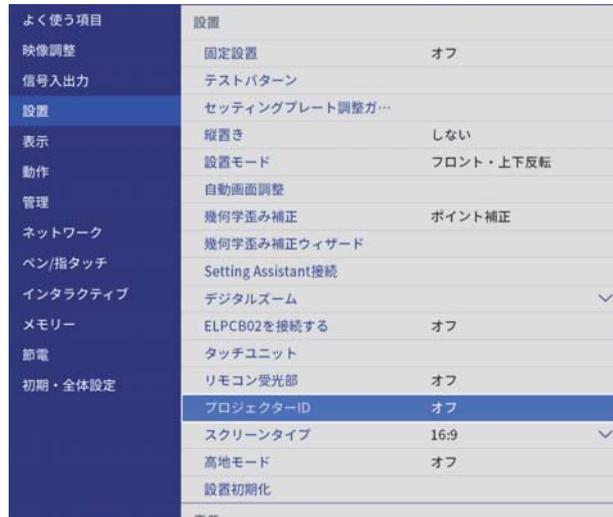
### プロジェクターID の設定

- 1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す



**2** 【設置】メニューで【プロジェクターID】を選択する

EB-770Fiをお使いの場合は、【マルチプロジェクション】メニューで【プロジェクターID】を選択します。



**3** 対象のプロジェクターに設定するID番号を選択する



**4** 【戻る】ボタンを押してメニューを終了する

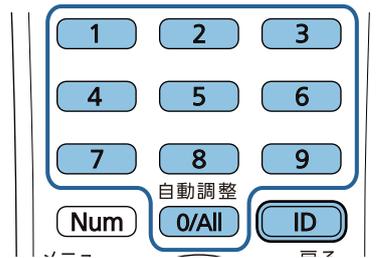
残りのプロジェクターについて、手順1～4を繰り返します。

**5** 操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】ボタンを押す



投写画面上に現在のID番号が表示されます。

6 【ID】 ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクターIDと同じ数字のボタンを押す



選択したIDが設定されたプロジェクターのリモコン操作が有効になります。



- [プロジェクターID] を [オフ] に設定しているときは、リモコンで選択したID設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
- リモコンでIDを0に選択したときは、プロジェクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- 複数のリモコンを同時に操作すると、赤外線の影響により意図しない動作となることがあります。

## マルチプロジェクションの映像調整

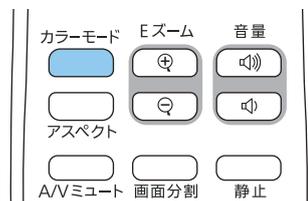


プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写開始後、30分以上経ってから映像の調整を行ってください。

## EB-770Fiをお使いの場合

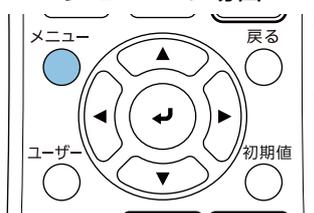
1 プロジェクターの電源をオンにする

2 リモコンの【カラーモード】ボタンを押して、カラーモードを【マルチプロジェクション】に設定する

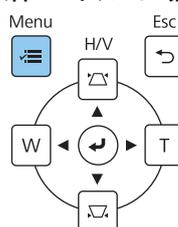


3 【メニュー】ボタンを押す

リモコンの場合



操作パネルの場合



**4** [マルチプロジェクション] メニューで、必要な設定を行う

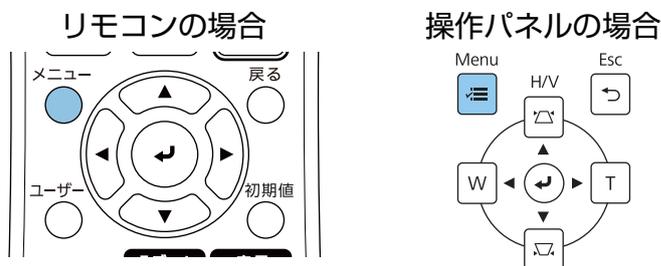
設定方法の詳細はプロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

[タイリング]	プロジェクターの台数と位置を設定します。
[幾何学歪み補正]	映像の形状を補正します。
[エッジブレンディング] [黒レベル調整]	映像のつなぎ目や映像が重なった部分を目立たないように調整します。
[表示倍率]	映像の拡大率と切り出し位置を設定します。
[光源モード]	映像全体の明るさを合わせます。[カスタム] を選択して、一番暗いプロジェクターを基準に [明るさレベル] を調整してください。
[ユニフォーミティー] [カラーマッチング] [RGBCMY]	映像全体の色が均一に見えるように、プロジェクターごとの映像の色味を調整します。

**■ EB-760Wiをお使いの場合**

**1** プロジェクターの電源をオンにする

**2** 【メニュー】 ボタンを押す



**3** 下記の各メニューから、必要な設定を行う

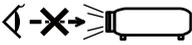
設定方法の詳細はプロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

[映像調整] - [カラーモード] (リモコンの【カラーモード】 ボタンを押して実行します)	映像全体の色が均一に見えるように、各プロジェクターで同じ項目を選択します。
[動作] - [光源明るさ制御] - [光源モード]	映像全体の明るさを合わせます。[カスタム] を選択して、一番暗いプロジェクターを基準に [明るさレベル] を調整してください。
[管理] - [ユニフォーミティー] [映像調整] - [RGBCMY]	映像全体の色が均一に見えるように、プロジェクターごとの映像の色味を調整します。

## 安全規格対応シンボルマークと説明

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

シンボルマーク	対応規格	意味
	IEC60417 No.5007	電源 ON 電源への接続を示す。
	IEC60417 No.5008	電源 OFF 電源からの切り離しを示す。
	IEC60417 No.5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通电状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
	ISO7000 No.0434B IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
	IEC60417 No.5041	注意 (高温) 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
	IEC60417 No.6042 ISO3864-B3.6	注意 (感電危険) 感電 (電撃) の危険性がある機器・装置であることを示す。
	IEC60417 No.5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。
	IEC60417 No.5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラス及びマイナス電極の接続を示す。
	---	
	IEC60417 No.5001B	電池(一般) 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
	IEC60417 No.5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
	---	
	IEC60417 No.5019	保護接地 障害発生時の電撃 (感電) 保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
	IEC60417 No.5017	アース Ⓧ の使用が明示的に要請されない場合の接地 (アース) 端子であることを示す。

シンボルマーク	対応規格	意味
	IEC60417 No.5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。
	IEC60417 No.5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
	IEC60417 No.5172	クラスⅡ機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスⅡ機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
	ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
	ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
	---	プロジェクター動作中の投写窓覗きこみ禁止を示す。
	---	プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。
	ISO3864 IEC60825-1	注意(レーザー放射) 製品上に注意が必要なレベルのレーザー放射部があることを示す。
	ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
	IEC60417 No.5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
	ISO3864 IEC60417 No.5057	注意(可動部品) 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
	IEC 60417-6056	注意(可動ファンのブレード) 保護規定上、可動ファンのブレードから離れなければならないことを示す。
	IEC 60417-6043	注意(鋭利な角) 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを示す。
	--	プロジェクター動作中の投写窓覗きこみ禁止を示す。
	ISO7010 No. W027 ISO 3864	警告、光放射(UV、可視光、IRなど) 光放射の近くにいるときは、目や肌に負傷を与えないように注意することを示す。
	IEC60417 No.5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気機器・装置であることを示す。



## 商標について

Mac、macOSは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

© 2023 Seiko Epson Corporation

2025.2 Rev.05